

生活クラブ運動グループ
2021 年度版
福祉事業実績報告書
(2020 年度実績)

2021 年 12 月

参加型システム研究所・参加型福祉研究センター

2021 年度版 生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告書・目次

I. 2020 年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告 p 3

1. 2020 年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績

1) 調査概要

- (1) 目的
- (2) 調査の基本設計
- (3) 調査の概要
 - ① 福祉事業実績調査
 - ② 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)調査
 - ③ 居場所・サロン調査
 - ④ コミ・オブ福祉の地域連携等に関する調査

2) 生活クラブ運動グループ福祉事業実績

p 6

- (1) 全体状況
- (2) 介護保険事業の事業種別内訳
- (3) 地域密着型事業の状況
- (4) 訪問系事業並びに家事介護サービス(自主事業)の状況
- (5) 利用者状況
- (6) 運営状況
- (7) 生活支援サービス(自主事業)の状況
- (8) 子育て支援事業の状況
- (9) 課題整理

2. 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)調査

p 14

- 1) 調査概要
- 2) 訪問型サービスの概要
- 3) 通所型サービスの概要
- 4) 実施団体よりコメント
- 5) 課題整理

【資料】2020 年度厚労省調べ 県内 11 自治体の介護予防生活支援サービス実施状況(2019 年度実施分)

3. 居場所・サロン調査

p 19

- 1) 調査概要
- 2) 大きかったコロナ禍の影響
- 3) 開催状況
 - (1) 開催目的
 - (2) 運営主体
 - (3) 常設型の居場所・サロン
 - (4) 開催場所
 - (5) スタッフの体制等

4) 課題整理

【資料】実施団体からのコメント～コロナ禍でも工夫して活動しました～

4. コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査

p 25

- 1) 調査概要
- 2) 生活クラブ運動グループ間や他団体、市民ボランティア等との地域連携
- 3) 政策提案活動について
- 4) 課題整理

5. 日本生活協同組合連合会並びに神奈川県内 6 生協と生活クラブ運動グループとの実績比較

p 29

- 1) 日本生協連
- 2) 県内 6 生協
- 3) 生活クラブ運動グループ
- 4) 課題整理

II. 2022 年度福祉事業・活動計画の検討にあたって—提言—

p 33

●生活クラブ運動グループが連帯し、

“全員参加の持続可能な「福祉社会」” を実現しよう！

<資料編>

p 37

1. 2020 年度総合事業に関する調査のまとめ（訪問事業・通所事業）他
2. 2020 年度生活クラブ運動グループ「居場所・サロン」調査のまとめ
3. 2020 年度コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査のまとめ
4. 2020 年度総合事業に関する調査票
5. 2020 年度居場所・サロン場調査票
6. 2020 年度コミ・オブ福祉の地域連携に関する調査票

I. 2020 年度生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告

1. 調査概要

1) 目的

- (1) 生活クラブ運動グループ諸団体の 2020 年度福祉事業実績の取りまとめを行い、その現状と趨勢、変化、特徴などを整理・分析し、提言等を通じて会員団体による参加型福祉事業の全体像を把握することをめざします。
- (2) 生活クラブ運動グループ諸団体による参加型福祉は、制度事業とあわせて自主事業である生活支援サービス（コミ・オブ福祉）を展開していることが最大の特徴です。高齢化の進展と公的制度の限界がますます顕著になっていく中で、多様な生活福祉ニーズが増加していくことは必至です。生活クラブ運動グループによる福祉事業の現状と課題を整理し、会員団体による対応策の検討に寄与していくことをめざします。
- (3) 取りまとめた事業実績は「報告書」として冊子化し、運営委員会をはじめ当研究所理事会、運動グループの会議やフォーラム等において、参加型福祉の現状と課題の共有化を図ります。また、広報紙（「オプティマム」）、ホームページ等を通じて情報発信し、共有化を図るとともに当研究所の研究活動等での基礎資料として活用を図ります。

2) 調査の基本設計

(1) 調査の対象組織

生活クラブ生協、福祉クラブ生協、いきいき福祉会、W.Co 連合会の 4 団体を対象として調査しました。「居場所・サロン」、「総合事業」、「コミ・オブ福祉の地域連携」調査は、W.Co 協会を加えるとともに、「居場所・サロン」調査はWE21 ジャパンにも協力依頼して実施しました。

(2) 調査対象期間

2020 年 4 月～2021 年 3 月までの 2020 年度実績について調査

(3) 調査の基本フレーム

- ①事業種別調査（保育・子育て支援含む）
- ②総合事業調査
- ③居場所・サロン調査
- ④コミ・オブ福祉の地域連携に関する調査
- ⑤日本生活協同組合連合会並びに神奈川県内 6 生協との実績比較

3) 調査の概要

(1) 福祉事業実績調査

目 的：調査対象の事業を、制度事業、コミ・オブ福祉事業、障害福祉サービス、子育て関連事業に区分し、特にコミ・オブ福祉事業に着目し全体像の把握に努めました。

対 象：生活クラブ生協、福祉クラブ生協、（社福）いきいき福祉会、W.Co 連合会の 4 団体。

事業業種数：対象とする事業所を全て網羅しました。福祉クラブ生協は家事介護 W.Co の設立や行政委託事業の実施が 2 事業から 10 事業所に増えたこと、デイサービスの単位事業所数を修正したことによるものです。いきいき福祉会は障害福祉サービス事業所の統合がありました。W.Co 連合会の保育、食事、家事介護 W.Co の脱退・解散等はありませんが、

事業所数が増加しているのは、保育 W.Co の事業数の修正によるものです。合計 384 業種です。

<事業業種数>

	生活クラブ生協	福祉クラブ生協	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計
2014年度	19	126	32	206	383
2015年度	19	127	30	199	375
2016年度	20	130	33	170	353
2017年度	23	142	34	175	374
2018年度	22	144	34	178	378
2019年度	22	142	32	175	371
2020年度	22	153	31	178	384

*事業により介護保険、自主事業等に分かれているため延べ事業所数

集約方法：生活クラブ生協、(社福)いきいき福祉会は、各組織の本部を通じて集約。福祉クラブ生協は総代会資料等を基に本部を通じて集約、W.Co 連合会は「2020 年度版神奈川ワーカーズ・コレクティブ実態調査」データを用いました。

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)調査

目的：総合事業は、各自治体(保険者)による実施事業には差異があり、介護予防をはじめ、より柔軟なニーズへの対応を目指すことが総合事業のそもそもの本旨ですが、「現行相当」以外のサービスについては自治体の実施状況にバラツキが大きく、特に「住民主体による支援」の神奈川県内 33 自治体の取組みは、訪問型サービス B は 11、通所型サービス B も 11、その他生活支援サービスについては 3 自治体のみでした(厚労省 2020 年度調査)。運動グループにおいても総合事業の多様なサービスのうち、「住民主体による支援」はそもそも取組んでいる自治体が少ないことからほとんど進んでいません。一般介護予防の「通いの場」については体操教室などに取組んでいるので、その実態を把握しました。

対象：生活クラブ生協、福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会、在宅福祉 W.Co (家事介護、デイサービス、移動 W.Co)、W.Co 協会

集約方法：生活クラブ生協、福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会は、各組織の本部を通じて集約。W.Co 組織、W.Co 協会はメールにて集約。

送付数：全 66 組織を対象に調査しました。

(3) 居場所・サロン調査

目的：今回も引き続き居場所の広がりや活動内容等について継続的に実施状況を把握して、市民によるたすけあい・支えあい活動の促進につなげていくことを目的として調査しました。2020 年度調査では、W.Co 連合会での脱退等から実施数の減少はありましたが、生活クラブの居場所アソシエーション支援基金を活用した 16 のアソシエーションからの回答があり、回答があった 120 の企画のうち 55%が内容の変更や縮小、中止をしていました。全体で 54 の団体・組織で、内容の変更や縮小も含めて 69 の企画が行われていました。

対象：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会、在宅福祉関連(居宅介護支援事業除く)及び生活文化部門 W.Co、W.Co 協会に加えて、今回は生活クラブ生協のアソシエーション支援基金を活用した団体およびデポー運営委員会の活動を対象としました。

*生活リハビリクラブ(生活クラブ)委託 W.Co の企画は、W.Co 連合会の実績に含む。

集約方法：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会、生活クラブ生協については、各組織の本部を通

じて集約。W.Co 組織、W.Co 協会はメールにて集約。

送付数と回収数：全 109 組織に送付し、91 組織から回答。そのうち W.Co は 89 組織に送付し 71 組織から回答を得ました。福祉クラブ生協は 1 カウントとしています。

(4) コミ・オブ福祉の地域連携等に関する調査

目的：生活クラブ運動グループ諸団体では、参加型福祉の事業活動をもとに、地域に根ざした支えあい・たすけあいのしくみをいかに豊富に生み出していくことができるかを課題としています。2019 年度実績調査から、回答項目に会議やイベント等の活動連携やボランティアの受け入れなどの項目ごとに記載できるようにし、より具体的な活動連携の現状把握ができるようにしました。2020 年度はコロナ禍の影響で運動グループ団体間や他団体と連携して行うイベント等が多く中止せざるを得ない状況がありましたが、多様化・個別化する地域ニーズに対応するにはさらなる運動グループによる地域連携を生み出し、地域へのメッセージ力を強めていくことが課題となっています。コミオブ福祉を中心とした地域連携等の活動の実態を把握し、さらなる活動につなげていくことを目的として実施しました。

対象：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会、在宅福祉関連の W.Co(居宅介護支援除く)、と暮らしまち W.Co の一部、W.Co 協会

集約方法：福祉クラブ生協、(社福)いきいき福祉会については、各組織の本部を通じて集約。W.Co 組織、W.Co 協会はメールにて集約。

送付数と回収数：送付数は 92 組織、うち 83 組織から回答。

2. 生活クラブ運動グループ福祉事業実績

(1) 全体状況

<団体事業種別実績一覧>

<表1> (単位:円)

大分類	データ項目	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計	構成比	前年比
福祉事業計	利用者人数	1,288	7,057	1,646	2,647	12,638	78.1%	84.2%
	メンバー数	297	1,951	425	1,545	4,218	89.1%	84.0%
	事業高(円)	561,337,000	1,352,662,939	1,704,124,582	1,377,669,220	4,995,793,741	86.0%	99.0%
	前年比	107.6%	100.8%	104.4%	89.0%	99.0%		
	構成比	11.2%	27.1%	34.1%	27.6%	100.0%		
子育て関連事業	利用者人数	29	441	—	3,071	3,541	21.9%	133.8%
	メンバー数	27	235	—	253	515	10.9%	99.0%
	事業高(円)	67,121,000	49,062,656	—	700,235,932	816,419,588	14.0%	99.8%
	前年比	96.4%	98.2%	—	100.3%	99.8%		
総計	利用者人数	1,317	7,498	1,646	5,718	16,179	100.0%	91.6%
	メンバー数	324	2,186	425	1,798	4,733	100.0%	85.4%
	事業高(円)	628,458,000	1,401,725,595	1,704,124,582	2,077,905,152	5,812,213,329	100.0%	99.1%
	前年比	106.3%	100.7%	104.4%	92.5%	99.1%		
	構成比	10.8%	24.1%	29.3%	35.8%	100.0%		

*メンバー数:生活クラブ、福祉クラブ、W.Co連合会はW.Coメンバー数、いきいき福祉会はアルバイト・派遣を含む職員数

*子育て関連事業の利用者人数は認可保育、認可外月極保育利用者 *構成比:総計に占める割合

- ① 2020年度の生活クラブ運動グループ年間総事業高は約58.1億円であり、昨年の58.6億円を約5千万円下回り、前年比99.1%となりました。事業種別構成比は、福祉事業86%、子育て関連事業14%と前年と変わりません。
- ② 福祉事業では、W.Co連合会を除いて実績を順調に伸ばしました。W.Co連合会は脱退(1W.Co)や解散(6W.Co)があったため、制度事業、自主事業とも大幅減となりました。
- ③ 子育て関連事業では保育園の定期利用者数は増えていますが、事業高はほぼ前年維持です。コロナ禍の外出自粛のため一時預かり等、子育て支援の利用が多少減少したことが考えられます。生活クラブ生協は2019年度実績に2018年度分の茅ヶ崎市からの補助金清算分(270万円)が事業高に計上されていたため、2020年度実績が昨年度を下回りました。

<福祉事業種別内訳>

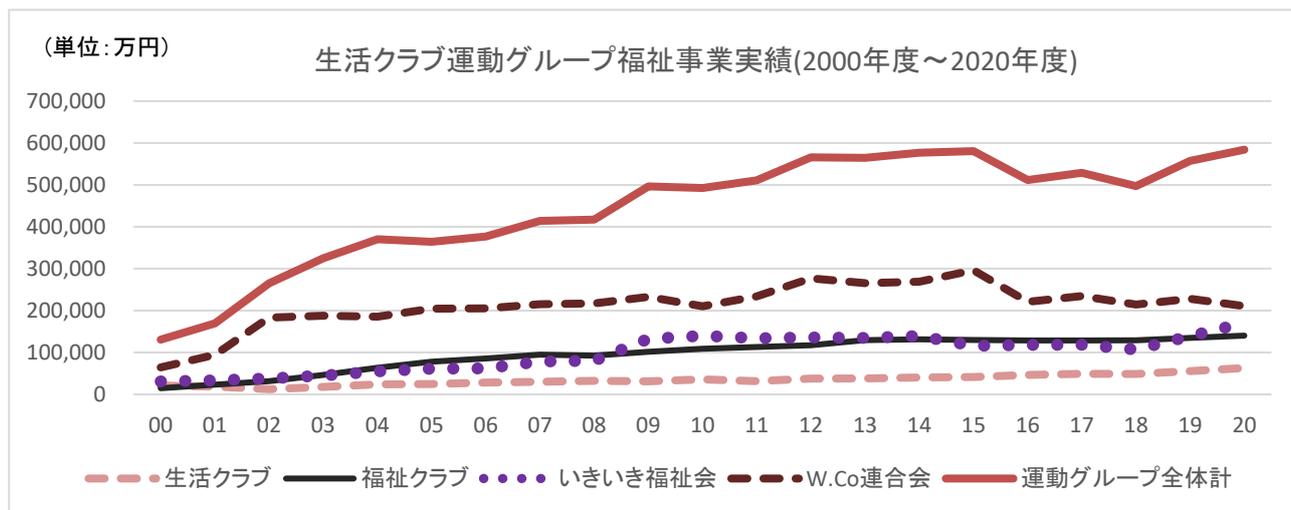
<表2> (単位:円)

大分類	データ項目	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計	構成比	前年比
介護保険・行政委託事業	利用者人数	1,288	3,092	1,617	1,980	7,977	63.1%	91.9%
	メンバー数	297	1,255	414	1,545	3,511	83.2%	109.2%
	事業高(円)	561,337,000	904,637,893	1,675,784,582	800,412,047	3,942,171,522	78.9%	102.0%
	前年比	107.6%	101.1%	105.5%	93.1%	102.0%		
自主事業(制度外事業)	利用者人数		3,912	26	437	4,375	34.6%	72.4%
	メンバー数	実施なし	696	11	制度事業と重複	707	16.8%	57.1%
	事業高(円)		428,591,046	22,922,000	483,108,300	934,621,346	18.7%	87.8%
	前年比		101.1%	58.9%	80.3%	87.8%		
障害福祉サービス	利用者人数		53	3	230	286	2.3%	98.3%
	メンバー数		訪問介護を含む	訪問介護を含む	訪問介護を含む	—	—	—
	事業高(円)		19,434,000	5,418,000	94,148,873	119,000,873	2.4%	102.7%
	前年比		83.7%	87.6%	109.0%	102.7%		
大分類	データ項目	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co連合会	合計	構成比	前年比
福祉事業計	利用者人数	1,288	7,057	1,646	2,647	12,638	78.1%	84.2%
	メンバー数	297	1,951	425	1,545	4,218	89.1%	84.0%
	事業高(円)	561,337,000	1,352,662,939	1,704,124,582	1,377,669,220	4,995,793,741	97.7%	99.0%
	前年比	107.6%	100.8%	104.4%	89.0%	99.0%		

- ④ 福祉事業年間総事業高は約50億円であり、内訳は介護保険・行政委託事業約39.4億円、自主事業(制度外)約9.3億円、障害総合支援事業約1.2億円です。福祉事業の総事業高は運動グループ全体で前年比99%でした。事業種別構成比は、介護保険・行政委託事業78.9%、自主事業18.7%、

障害福祉サービス 2.4%です。小規模多機能居宅介護事業の伸長(138%)により、生活クラブ生協が前年比 107.6%となりました。小規模多機能居宅介護事業は福祉クラブ生協(147%)でも実績を伸ばしています。

- ⑤ いきいき福祉会は同 104%と、特別養護老人ホームの事業がけん引しています。
- ⑥ 自主事業では、いきいき福祉会の実績が前年比 59%なのは、藤沢市の老人福祉センターで開設している「なぎさ食堂」がコロナ禍で休止していること、3ヶ所のサポートハウス事業の実績がすべて減少していることが要因です。
- ⑦ 障害福祉サービスでは、福祉クラブ生協、いきいき福祉会で前年実績を下回りました。W.Co の実績は 109%と伸長しました。



(2) 介護保険事業の事業種別内訳 (行政委託事業及び障害福祉サービスを除く) <表3> (単位:円)

生活クラブ運動グループ	居宅サービス	施設サービス	地域密着型事業	福祉用具	合計	構成比	前年比
生活クラブ	354,275,000	—	168,004,000	—	522,279,000	14.2%	108.9%
福祉クラブ	567,300,000	—	258,938,000	53,155,723	879,393,723	23.8%	101.1%
(社福)いきいき福祉会	156,121,000	1,272,567,000	81,172,000	—	1,509,860,000	40.9%	100.9%
神奈川W.Co連合会	570,395,189	—	205,840,729	—	776,235,918	21.0%	94.2%
合計	1,648,091,189	1,272,567,000	713,954,729	53,155,723	3,687,768,641	100.0%	100.5%
前年比	69.2%	136.7%	225.9%	132.1%	100.5%		
構成比	44.7%	34.5%	19.4%	1.4%	100.0%		

* 居宅サービス:訪問介護・通所介護(総合事業含む)、居宅介護支援、短期入所

* 施設サービス:特別養護老人ホーム

* 地域密着型事業:小規模通所介護、グループホーム、認知症対応型通所、サテライト特養、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護

- ① 前年比で居宅サービスが 69.2%、地域密着型事業が 225.9%となっているのは小規模デイサービス(定員 18 人以下)を本来の地域密着型事業へと今回から修正したため。前年と同様の分類では居宅サービス 93.6%、地域密着型事業の小規模多機能居宅介護事業は 124%となります。
- ②生活クラブ、福祉クラブ、合わせて 3 つの小規模多機能居宅介護事業はいずれも登録者数が増え、事業高が伸長しました。しかし、訪問介護、通所介護は前年実績を下回わり、高齢者の利用自粛等、コロナ禍の影響が大きいと考えられます。一方で、小規模多機能居宅介護事業では前年実績を大きく伸ばし、訪問、通所、泊りを切れ目なく利用できるメリットが利用者に受け入れられてきたといえるのではないのでしょうか。
- ③特に、W.Co のデイサービスは訪問介護・家事介護事業所と併設しているところが 9 事業所のうち、

7ヶ所です。デイサービスは前年比 92%、訪問介護事業は 1 団体の解散があったとはいえ、前年比 76.4%と大幅に実績を下げており、W.Co 事業は厳しさを増していることが見えます。

- ④ 居宅サービスと小規模多機能居宅介護事業を合わせて介護保険事業全体の約 64%を占めており、地域での在宅生活を支える参加型福祉事業の特徴が現れています。
- ⑤ いきいき福祉会の施設サービス(特養)は、前年(129.1%)に引き続き前年比 136.7%と大きく伸長しました。

(3) 地域密着型事業の状況

<表 4> (単位:円)

	生活クラブ	福祉クラブ	W.Co	いきいき福祉会	合計	前年比
地域密着型通所介護(小規模デイ)	117,342,000	207,377,000	205,840,729		530,559,729	97.8%
小規模多機能	50,662,000	51,561,000			102,223,000	154.9%
グループホーム				33,578,000	33,578,000	99.6%
定期巡回				36,104,000	36,104,000	99.6%

- ① 定員 18 人以下の地域密着型通所介護事業は、生活クラブが 5 事業所のうち 3 事業所、福祉クラブが 10 事業所のうち 8 事業所、W.Co が運営する 9 つの通所介護事業はすべて地域密着型事業です。生活クラブでは前年比 100%、福祉クラブでは同 102%でしたが、W.Co 事業所は同 92%と厳しい状況です。
- ② 小規模多機能居宅介護事業は、生活クラブが 1、福祉クラブが 2 事業所を運営しています。福祉クラブの 1 事業所を除いて 2 事業所が前年実績から大きく伸長しました。

(4) 訪問系サービス事業高と時間数

<表 5>

サービス分類		実績(円)	前年比	構成比	制度外事業と制度事業の内訳	実績(h)	前年比	構成比	制度外事業と制度事業の内訳	時間当たり単価(円)
家事介護(自主)	家事介護(子育て支援)	108,291,539	86.5%	9.9%	9.9%	77,164	84.0%	23.9%	23.9%	1,403
介護保険(訪問)	訪問介護	859,730,434	108.8%	78.6%		209,808	101.5%	64.9%		4,098
障害福祉サービス	障害居宅介護	119,000,873	102.7%	10.9%	90.1%	32,807	78.9%	10.1%	76.1%	3,627
行政委託	家事介護(産後支援等)	6,563,225	88.2%	0.6%		3,455	87.6%	1.1%		1,900
合計		1,093,586,071	105.3%	100.0%	100.0%	323,234	95.5%	100.0%	100.0%	3,383

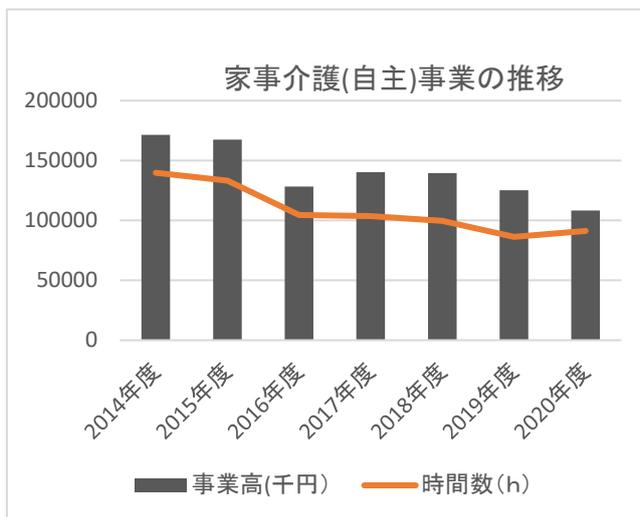
* 訪問系サービスは家事介護(自主・生活リハビリクラブW.Coを含む)、介護保険(介護給付・総合事業)、障害福祉サービス、行政委託(産後支援等)

- ① 訪問系サービスの総事業高は前年比 105.3%となりました。その内、自主事業(制度外)と制度事業(介護保険、行政委託、障害福祉サービス)の割合は 10 : 90 (前年は 12 : 88、一昨年は 14 : 86) 自主事業の割合の減少が続いています。活動時間の割合は 24 : 76 (前年は 26 : 74、一昨年は 29 : 71) と、こちらも制度事業の割合が高くなってきています。事業高もサービス時間も、年々制度事業の割合が高くなり、自主事業は低下を続けています。
- ② 2019 年度調査でも家事介護(自主)は前年を下回り、制度事業(介護保険、障がい福祉サービス、行政委託)が伸長しました。2020 年度はコロナ禍の影響は拭えませんが落ち込みが大きくなっています。今後もさらに財源不足を理由にした公的制度事業の利用抑制がすすむことが予測される中、地域の多種多様なニーズを受け止め、安心して暮らしていくための地域のたすけあいのしくみづくりが求められます。
- ③ 1 時間当りの報酬単価(事業高を時間で割った額)は、制度事業の訪問介護が 4,098 円(昨年は 3,823 円)、障害福祉サービスが 3,627 円(同 2,784 円)、行政委託(産後支援等)が 1,900 円(同 1,887 円)です。一方、自主事業の家事介護の実績も前年とほぼ変わりなく 1,403 円(同 1,451 円)です。自主事業のケアの事業高、時間数とも前年比 85%前後と大きく減少しました。

(5) 家事介護（自主事業）の7年間の推移

①今回調査の家事介護サービス（自主事業）は毎年、前年比が減少してきました。2020年度はさらにそれに拍車がかかりました。さまざまな要因が複雑に影響していると捉えられます。特にW.Coの家事介護(自主事業)は前年比76.4%と落ち込みました。2つのW.Coの脱退がありましたが、本人負担が基本1割の介護保険サービスに比べると単体W.Coの自主事業は自己負担額が多くなるため利用を抑制していることも要因の一つであると考えられます。また、W.Co内の担い手の高齢化や慢性的な人手不足が影響していることも確かです。

② W.Coに限らない福祉業界全体の人手不足は、私たちが地域で暮らし続けるために避けて通れない大きな課題です。



<表6>

家事介護(自主)事業の推移

年度	事業高(円)	前年比	時間数(h)	前年比
2014	171,430,819	—	139,749	—
2015	167,425,838	97.7%	133,217	95.3%
2016	128,294,076	76.6%	104,573	74.8%
2017	140,308,053	109.4%	103,545	74.1%
2018	139,419,263	99.4%	99,608	96.2%
2019	125,159,000	89.8%	86,284	86.6%
2020	108,291,539	86.5%	91,234	105.7%

(6) 利用者状況（利用者の登録データ集計）

<表7>

サービス分類	サービス種類	利用者登録人数 (3月末)	前年比	構成比	備考
自主事業 (制度外事業)	家事介護	1171	65.8%	8.3%	
	食事サービス	1061	82.8%	7.6%	
	移動サービス	2405	97.0%	17.1%	
	居場所	307	96.8%	2.2%	福祉クラブラエるびーサロン
	その他	63	100.0%	0.4%	成年後見等
	住まい生活支援	70	73.7%	0.5%	住まい支援(有料)
	賃貸事業	19	70.4%	0.1%	ケア付き住宅
	小計		5096	84.3%	36.3%
介護保険	訪問介護	2,582	94.5%	18.4%	
	通所介護	990	93.9%	7.0%	
	居宅介護支援	3,799	106.1%	27.0%	
	短期入所	112	96.6%	0.8%	
	施設サービス	201	106.3%	1.4%	特別養護老人ホーム
	地域密着事業	122	79.7%	0.9%	グループホーム、サテライト特養、認知症対応型通所介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護・看護
	地域支援事業	774	99.6%	5.5%	地域包括支援センター
福祉用具	0	#DIV/0!	0.0%	人数の入力無し	
障害福祉サービス	障害福祉サービス	291	100.0%	2.1%	
行政委託	行政委託	79	94.0%	0.6%	見守り、ささえあいセンター、就労準備支援
小計		8,950	99.7%	63.7%	
合計		14,046	93.5%	100.0%	

①利用者の割合は、自主事業約36.3%(前年は40.2%)、介護保険事業63.7%(同59.8%) (内、障害福祉サービスと行政委託2.8%) となっています。自主事業の利用者登録人数が減少しています。

②介護保険事業の居宅介護支援事業、施設サービスでは利用者登録が増加しましたが、他が減少して

いるため、トータルで前年を下回りました。

(7) 運営状況 (事業種別メンバー数)

<表 8 >

サービス分類	サービス種類	メンバー数(人)	前年比	構成比	備考
自主事業 (制度外事業)	家事介護	0	0.0%	0.0%	自主事業のみのW.Co
	食事サービス	363	95.5%	8.4%	
	移動サービス	600	102.4%	13.9%	
	居場所	36	112.5%	0.8%	福祉クラブラエるびーサロン
	その他	0	0.0%	0.0%	
	住まい生活支援	167	97.1%	3.9%	住まい支援(特養・有料)
	賃貸事業	4	100.0%	0.1%	ケア付き住宅
	小計	1170	94.5%	27.1%	
介護保険	訪問介護	1731	101.1%	40.1%	
	通所介護	737	97.1%	17.1%	
	居宅介護支援	183	94.8%	4.2%	
	短期入所	34	60.7%	0.8%	
	施設サービス	192	93.7%	4.4%	特別養護老人ホーム
	地域密着事業	148	70.1%	3.4%	グループホーム、サテライト特養、認知症対応型通所介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護・看護
	地域支援事業	28	164.7%	0.6%	地域包括支援センター
	福祉用具	50	98.0%	1.2%	
障害福祉サービス	障害福祉サービス	17	3.0%	0.4%	訪問介護と兼務
行政委託	行政委託	28	280.0%	0.6%	見守り、ささえあいセンター、就労準備支援
	小計	3148	83.2%	72.9%	
合計		4318	86.0%	100.0%	

- ① 2020年度のメンバー数(従事者)は全体で前年比 86%となり、自主事業、制度事業とも減少しました。家事介護 W.Co、食事サービス W.Co の解散、W.Co 連合会からの脱退、高齢化に伴う W.Co メンバーの減少などが要因です。
- ② 自主事業と介護保険等の制度事業のメンバー割合は、27:73 となり、前年の 25:75 から比べると自主事業の割合が高くなりました。移動手段確保の需要の高まりを反映し、移動サービス W.Co メンバーが増加しています。
- ③ サービス別で見ると、訪問系(訪問介護と障害福祉サービス)で活動するメンバーが 40.5%と 4割を占め、制度事業と家事介護(自主事業)を兼務しています。次いで通所事業 17.1%(前年 15.1%)、移動サービス 13.9%(前年 11.7%)となっています。

(8) 生活支援サービス(自主事業)の状況

<表 9 >

① 全体状況

i 自主事業(コミ・オ
プ福祉)の事業種別
実績内訳では、食事
サービスが約 4.7 億円
で全体の約 6 割を占
めています。次いで

移動サービス約 1.4 億円、家事介護約 1.05 億円と続きます。

ii 自主事業事業高はすべて前年を下回り前年比 92.1%です。食事サービスでは高齢者施設の食事サービス W.Co の解散によって減少しました。

中分類	小分類	事業高	前年比	構成比
自主事業 (単位:円)	家事介護	105,067,319	83.9%	14.3%
	食事サービス	474,014,744	94.6%	64.7%
	移動サービス	137,295,995	93.5%	18.7%
	居場所	1,586,000	59.6%	0%
	福祉用具	15,210,360	74.4%	2.1%
	合計		733,174,418	92.1%

- * 住まい生活支援、賃貸事業、成年後見事業は含まず
- * 移動サービスに行政委託事業、福祉タクシー券事業を含まず
- * 福祉クラブの居場所は、サロン事業のみ、福祉用具は自主事業のみ

②食事サービスの状況

<表10>

食事サービス (単位:円)	総事業高	総事業高内訳		配食数内訳			配食合計数	配食数前年比
		自主事業	行政委託	自主事業	行政委託	総合事業		
福祉クラブ	186,867,685	163,892,515	22,975,170	141,655	27,165	6,510	175,330	106.5%
W.Co連合会	287,147,059	279,340,869	7,613,894	91,662	9,108		100,770	82.3%
合計	474,014,744	443,233,384	30,589,064	233,317	36,273	6,510	276,100	96.2%
前年比	88.9%	88.5%	94.3%	114.8%	73.5%	—	96.2%	
構成比	100.0%	93.5%	6.5%	84.5%	13.1%	2.4%	100.0%	

- i 食事サービス(配食・施設食事提供・ケータリング・惣菜等)は17団体が実施しており、総事業高は約4.7億、その内、行政委託を受けている団体は福祉クラブで7団体、単体W.Co2団体です。受託事業高は約3千万円。
- ii 福祉クラブ生協では事業高(前年比104.7%)、配食数は総合事業における配食数の増加により(前年比106.5%)ともに伸長しましたが、単体W.Coでは自主事業、行政受託事業(配食)とも前年実績を大きく下回りました。2019年度は、自主事業(配食・施設食・惣菜等)が前年比109.2%と伸長しましたが、2020年度は高齢者施設の食事サービスW.Coの解散が大きく響きました。
- iii これまで土日を含めてすべての曜日に、2食から7食の夕食(または昼食)を要介護者等の高齢者へ届ける生活支援型食事サービス事業を実施していた川崎市も、2020年9月30日をもって新規受付を終了するなど、2015年度以降、行政委託による配食サービスが廃止になる自治体が増えています。他団体、他組織との連携を通して受託事業を伸ばしていくことが、今後の事業継続の一つの方法であると考えられます。

②移動サービスの状況

<表11>

移動サービス (単位:円)	総事業高	事業高内訳		福祉有償 運送件数	福祉有償運送 件数前年比
		自主事業	助成・補助		
W.Co連合会	118,128,241	101,566,006	11,562,475	43,933	93.1%
福祉クラブ	39,545,171	35,729,989	3,815,183	17,823	88.9%
合計	157,673,412	137,295,995	15,377,658	61,756	91.8%
構成比	100.0%	87.1%	9.8%		
前年比	99.2%	93.5%	125.9%	91.8%	

- i 移動サービスの実施団体は31(福祉クラブ16、W.Co15)で事業高は約1.6億円です。その内、家事介護やデイサービス事業に併設しているW.Coが4団体あります。行政の福祉タクシー利用券などの事業は福祉クラブの16団体、W.Co9団体の25団体が実施しています。
- ii コロナ禍の中で、福祉有償運送、お出かけ企画など自主事業の前年比は93.5%でした。
- iii 2019年度の実績7.7%より2.1ポイント上昇しましたが、助成・補助事業の総事業高に占める割合は、9.8%です。
- iv コロナ禍において外出や人との接触が制限される中でも、移動サービスは歩行困難者にとって通院などの際に欠かせない生活上必須の活動です。しかし、高齢化に伴う買い物支援などの必要性が叫ばれる中で、福祉有償運送を行う団体では、ドライバー不足や高齢化、持ち込み車両使用のリスク、事故時の損害補償や運営資金の問題が大きくなっています。
- v さらに市町村が設置する運営協議会(市町村が設置)は、利用対象者の制限や、福祉有償運送登録に必要な運営協議会の合意、更新手続の煩雑さなど課題が多く、参加団体は頭打ちだといえます。
- vi 介護保険法改正で市町村事業となった介護予防・日常生活支援総合事業に例示された訪問型サービスD(移動支援)も、道路運送法との関係性が難解なため進んでいない現状です(神奈川県では葉山

町と秦野市のみが実施)。移動支援ニーズが今後ますます大きくなってくると予測される中で、道路運送法関連の運用の見直しを働きかけていくことが重要になっています。

(9) 子育て支援事業の状況

<表 1 2 >

	保育・子育て支援事業種類	生活クラブ 1W.Co	福祉クラブ 12W.Co	W.Co連合会 17W.Co	計	構成比
認可	認可保育	1		3	4	6.2%
	小規模保育			2	2	3.1%
認可外	自治体認定保育			2	2	3.1%
	企業主導型保育		1	1	2	3.1%
	認可外保育			1	1	1.5%
・自治体補助事業 ・自主事業	一時保育・一時預かり	休止中	9	8	17	26.2%
	派遣保育		11	2	13	20.0%
	学童保育			7	7	10.8%
	学童一時保育			3	3	4.6%
	放課後等デイサービス			2	2	3.1%
	ひろば			9	9	13.8%
委託事業	子育て支援拠点			3	3	4.6%
事業所計		1	21	43	65	100.0%
2020年度事業高(円)		67,121,000	49,062,656	700,235,932	816,419,588	
事業高前年比		96.4%	98.2%	99.4%	99.1%	

①2015年度から子ども・子育て支援新制度がスタートし、保育事業では2017年度までに新たに40万人の受け皿の確保が掲げられました。新たに「地域型保育給付」を創設、「小規模保育」や「家庭的保育」、「居宅訪問型保育」などについても財政支援の対象となりました。

②また、在宅での子育て家庭を対象に「孤育て」を防いだり、地域のニーズに応じた多様な子育て支援を充実させるため、情報提供・助言等を行う利用者支援事業や、子育ての相談や親子同士の交流ができる地域子育て支援拠点、一時預かり、放課後児童クラブなど、市町村が行う事業を「地域子ども・子育て支援事業」として法律上に位置付け、財政支援を強化して、その拡充を図りました。

③それまで運営が不安定だった認可外保育やひろば事業にも基準に合わせて一定の財政支援が行われるようになり、生活クラブ運動グループでも子育て支援事業の多様化が進みました。コロナ禍においても、「親と子のつどいの広場」(補助事業)や子育て支援拠点(委託事業)などは、休止することなく利用者を受け入れています。新横浜オルタ館の親子ひろば「わっとほ一む」は自治体からの財政支援のない全くの自主事業ですが、対策しながらオープンしました。

(10) 課題整理

①福祉事業では、W.Co 連合会を除いて前年実績を伸ばしています。W.Co 連合会からの脱退や解散があったため、自主事業、制度事業とも減少した結果、運動グループ全体の事業高が前年比 99.1% となりました。

②生活クラブ運動グループ全体の福祉事業実績はこれまで多少のアップダウンはありながらも徐々に実績を伸ばしてきました。自主事業(制度外)は2014年度実績で約9億円から2018年度約10.3億円、2019年度10.6億円と徐々に実績を伸ばしてきたものの、2020年度はコロナ禍の影響が大きく、約9.3億円となりました。生活クラブ運動グループ全体の自主事業では各団体の年度ごとの実績の増減がある中でも約9億円~10億円強の実績をキープしています。

- ③市町村が指定・監督を行う地域密着型サービスのうち、小規模多機能居宅介護事業は、生活クラブ、福祉クラブも前年実績を伸ばしました。訪問、通所、泊りを切れ目なく利用できるメリットが利用者に受け入れられてきた反映ではないでしょうか。
- ④一方、定員 18 人以下の地域密着型通所介護事業は、生活クラブ 5 事業所のうち 3 事業所、福祉クラブ 10 事業所のうち 8 事業所、W.Co が運営する 9 つの通所介護事業はすべて地域密着型事業です。生活クラブでは前年比 100%、福祉クラブでは同 102%でしたが、W.Co 事業所は同 92%で厳しい状況です。概してデイサービスフロアが狭く密になりやすいため、高齢者の利用自粛等、コロナ禍の影響も大きいと考えられますが、介護事業所でありながら、人と人の距離が近く(物理的な距離だけではなく)、家庭的なよさをもつ小規模デイサービスを継続するため方策については、対応事例の共有化を進めるなどから生活クラブ運動グループ全体の課題としても考えていく必要があるのではないのでしょうか。
- ⑤待機児童問題や、少子化の課題が大きくクローズアップされるようになり、2015 年度からの子ども・子育て支援新制度以前には、特に在宅で子育てをサポートするために一時預かり事業に力を入れながらも財政難から解散する W.Co も多くありました。新たな制度が始まったことで子育て支援施策の整備が一定進んだ自治体もありますが、住む場所による子育て支援環境の違いは大きいのが現状です。
- ⑥運動グループの福祉事業の多くを担ってきた W.Co 数の減少(W.Co 連合会所属 W.Co 数)、メンバーの高齢化、人員不足等によって事業活動の継続が困難になる傾向が顕著になるなど厳しい状況が明らかになってきました。2020 年度、生活クラブ生協と W.Co 連合会による「W.Co という働き方を広げるキャンペーン実行委員会」や、W.Co 連合会が例年続けている「わくわくワークフェスタ」など W.Co の働き方を広げる活動に取組み、W.Co メンバーの拡大につながっています。コロナ禍の中で、W.Co という働き方を見直す動きもある中で、こうした連携した活動が重要になってくると思われます。
- ⑦住み暮らす自治体の現状や運動グループの主体状況を併せて把握しながら、より暮らしやすい地域づくりへ向け、生活クラブ運動グループ間の連携による活動づくりや政策提案活動などの充実が求められます。

2. 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)調査

1) 調査概要

①2020年度は、66の団体に調査票を送付しました。

<表13>

	生活クラブ	福祉クラブ	いきいき福祉社会	W.Co連合会	W.Co協会	計
送付団体数	6	21	5	33	1	66
訪問型実施事業数	8	38	1	36		83
通所型実施事業数	8	8	3	10	1	30
一般介護予防事業数	1		1	3		5
実施事業数計	17	46	5	49	1	118
前年実施事業数	14	44	4	46	1	109

②総合事業の実施事業数は、訪問型 83(80)事業、通所型 30(25)事業、一般介護予防事業 5(4)事業で、全 118 事業所と、9 事業所が増えています。

※()内は前年実績

2) 訪問型サービスの概要

<表14>

	事業所数	生活クラブ	W.Co連合会	福祉クラブ	いきいき福祉社会	利用人数	2019年度事業所数	2019年度利用人数	利用人数前年比
現行相当	51	6	23	21	1	1062	50	1045	101.6%
サービスA	29	2	10	17		138	28	184	75.0%
サービスB	1		1			2	1	2	100.0%
サービスD	1		1			15	1	19	78.9%
その他の生活支援サービス	1		1			4			
計	83	8	36	38	1	1,221	80	1,250	97.7%

- ①訪問型の実施事業数 83 のうち、「現行相当」は 51 で、全体の 61%を占めています。実施事業数が前年より 3 事業所が増え、利用人数が前年比 101.6%と微増しています。
- ②サービスA事業数は 29 で、前年と同じくヘルパー不足や利用対象者が少ないことから、利用者が大きく減少しました。
- ③サービスBは変わらず 1 事業所のみ(逗子市 W.Co こだま)です。神奈川県内で実施している自治体数は通所型サービスと同じく 11(2020 年度調査・厚労省)で導入は進んでいません。登録利用人数は前年と変わらず 2 名です。
- ④サービスDは、逗子市の移動サービス W.Co くるまやさんが葉山町の委託を受けて、住民主体型で運営するサロンへの送迎を行っています。サービス D を実施している県内の自治体は相変わらず 2 つ(葉山町、秦野市)しかなく、導入が進まない現状です。事業数の増減はなく、利用者数は 15 名でした。
- ⑤横浜市の W.Co にんじんつつじが丘ランチでは高齢者の栄養改善を目的とした住民主体型の横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(配食支援)を行っています。

3) 通所型サービスの概要

<表15>

2020通所型サービス

	事業所数	生活クラブ	W.Co連合会	福祉クラブ	いきいき福祉会	W.Co協会	利用人数	2019年度 事業所数	2019年度 利用人数	利用人数 前年比
現行相当	20	6	6	6	2		136	20	148	91.9%
サービスA	1	1					0	1	0	—
サービスB	5		2	2		1	27	5	35	77.1%
その他・一般介護 予防	6	1	4		1		45	4	45	100.0%
計	32	8	12	8	3	1	208	30	228	91.2%

- ①全体の事業所数は32でした。現行相当の実施は20事業所で、前年と変わりありませんが、利用者は91.9%にとどまり、減少しました。
- ②サービスA：実施は前年と変化なく1事業ですが、利用者はいません。
- ③サービスB：前年と変わらず5事業です。住民主体型のサービスBを導入している自治体が神奈川県内で11(2020年度調査・厚労省)しかなく、横浜市でも2020年度は新たな事業所の募集はありませんでした。登録利用者は27人と減少しました。コロナ禍の影響で休止したり、日数や人数を制限していることが要因です。
- ④一般介護予防等：実施は6事業です。
 - 茅ヶ崎市：生活クラブ(W.Coのびのび)／転倒予防教室(茅ヶ崎市委託事業)
 - 川崎市：W.Coメロディー／川崎市住民主体要支援者支援事業(川崎市委託事業)
 - 川崎市：W.Coばんじい(2事業)／川崎市住民主体要支援者支援事業(川崎市委託事業)
 - 逗子市：W.Coこだま／集いの場
 - 藤沢市：いきいき福祉会／「通いの場」介護予防教室(軽体操、脳トレ)
- ⑤調査の自由記述欄では、横浜市の通所型サービスBは「住民主体」とはいえ、参加する利用者のエリア(日常生活圏域の地域包括支援センターエリア)を限定するなど、制度事業(補助事業)であるがゆえの取組みにくさが見えます。

4) 実施団体よりコメント

- 逗子市「訪問型サービスB」を行うW.Coこだま：ニーズとのマッチングが難しくサービスにつながりにくい。内容はゴミ出しなど短時間でできる簡単なサービスが多く、そのために交通費が必要なスタッフを派遣すると「こだま」の自主事業よりも割高になるなど制度の使い勝手が悪い。
- 横浜市「その他の生活支援サービス(栄養改善)」を行うW.Coにんじんつつじが丘ランチ(横浜市)：実施団体側が総合事業の対象となる利用者を探すのは至難の業です。自治体からケアマネジャーや社会福祉士さんへの周知が足りていません。
- 横浜市「通所型サービスB」を行うW.Co協会(カフェぼらん)：通所型サービスの利用対象者のエリアが限定されているのが課題。参加している2人は後期高齢者だが、対象エリアでないためボランティアという位置づけで参加している。高齢者の福祉パスがある横浜市では、必ずしもケアプラザのエリアが通いやすい場所ではなく、人のつながりはエリア内に限らない。介護保険での運用ではなく、居場所事業として横浜市に予算を要望していきたい。
- W.Co ケアびーくる(大和市)：訪問型サービスDを取り入れるよう市に政策提案をしました。市の担当課との懇談では前向きな回答が得られたものの、現時点では実現していません。

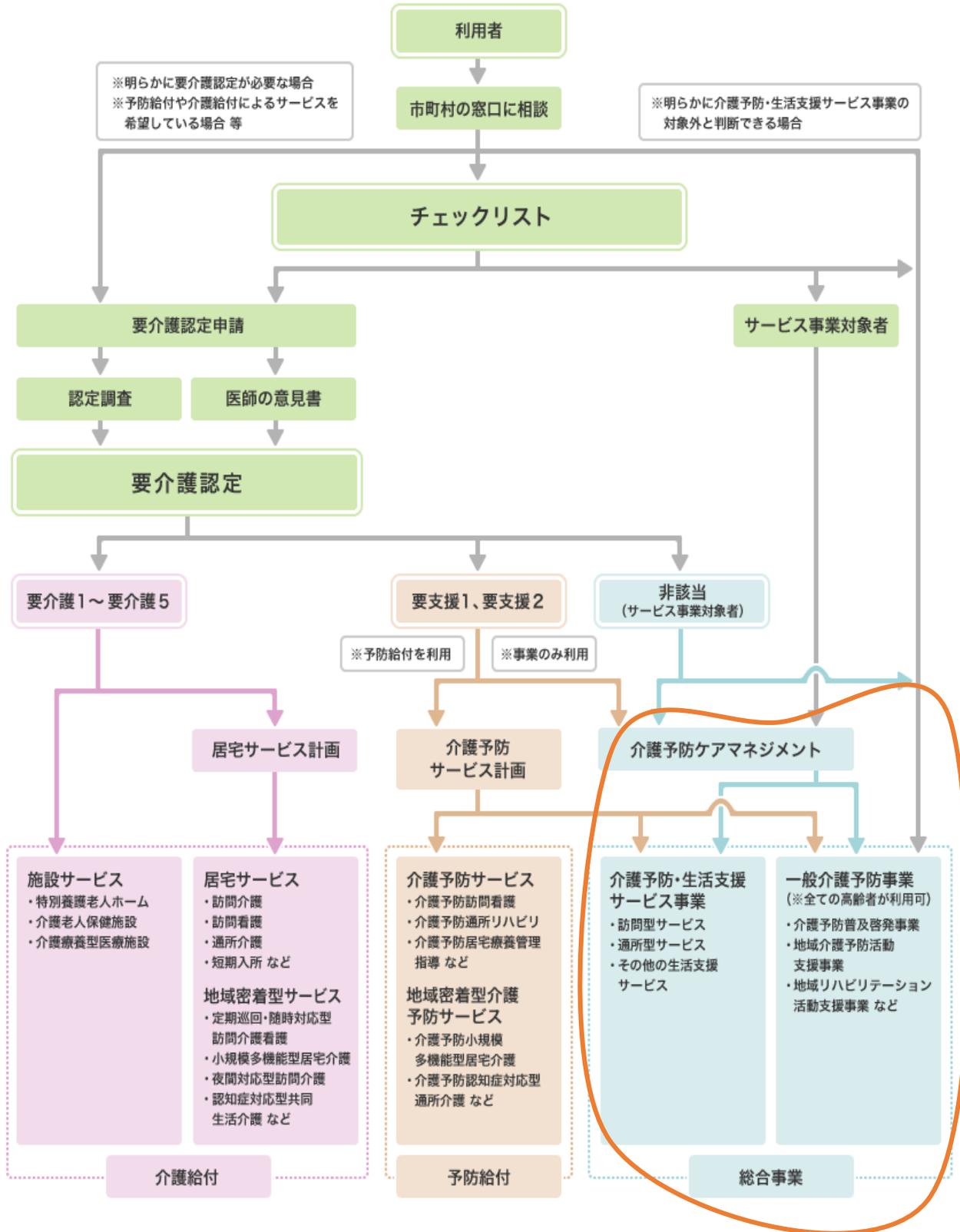
5) 課題整理

- ①今回の調査では、訪問型サービスでは生活クラブと福祉クラブが各2事業(現行相当、サービスA)

が増え、いきいき福祉会が事業統合で1減、W.Co 連合会が増減なしで、結果事業数 83 となり、3 事業が増えましたが、利用者数は減少しました。

- ② 厚労省の資料によると、介護保険サービスのうち、訪問介護は利用者全体の 4 割弱、通所介護では 6 割弱が利用していますが、軽度者は総合事業の訪問型サービス、通所型サービスの利用に限定されています。現在のところ総合事業実施以前の基準のまま行われている「現行相当」を行う事業所が訪問・通所を合わせて 63%を占め、利用者は 84%を占めています。今後の制度改定で「現行相当」のサービスが自治体の財政難を理由に継続しないことも考えられます。人員等の基準を緩和したサービス A を実施している事業所は訪問で 29 ありますが、利用者にも事業者にもメリットが少なく、利用者がいないと開店休業状態が続いています。
- ③ 総合事業の中でも訪問型サービス B、通所型サービス B は、住民相互の「支えあい・たすけあい」の充実を本旨とする介護予防事業ですが、今回の調査では、地域住民が主体となった取り組み（総合事業通所型サービス B、その他生活支援サービス・一般介護予防の「通いの場」）は、コロナ禍の影響もあり、前年とほとんど変わらず広がっていません。
- ④ 総合事業の実施がなかなか進まない中で、参加型福祉を基盤に“全員参加の持続可能な「福祉社会」”を地域に広げていくためには、住民主体の「サービス B」だけではなく、一般介護予防事業「通いの場」にも着目し、活用することによって市民参加による自主的な担い手であるアソシエーション(有償・無償)づくりを促進していきたいものです。ただ、「住民主体」としつつも、市民活動の多様性や柔軟性、自発性を活かすことのできない行政主導型の画一的な施策では、市民のニーズに充分対応できないことは明らかです。
- ⑤ 地域のニーズを拾えるのも、そこに住み暮らす W.Co や市民ならではできることです。自治体による総合事業や一般介護予防事業は、自治体ごとに実施状況の差異はありますが、自分たちが住む自治体がどのような施策を持っているのか、情報を集め、地域の中で情報交換していく必要があると考えます。後述するコミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査では、他団体や行政機関、政策提案などの活動が行われています。そういった場を活用し、市民参加の地域づくりを検討するための対応を急がれます。

介護保険制度のしくみ—介護予防・日常生活支援事業(総合事業)



(「埼玉県志木市ホームページ」より)

2019年度実施分 県内11自治体の介護予防・生活支援サービス実施状況表 (2020年厚生労働省調べ)

2021.9現在

介護予防・生活支援実施事業/自治体名		横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	厚木市	葉山町
訪問型サービス	①訪問介護現行相当	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②訪問型サービスA(緩和)	○	○	○		○	○	○	○		○	
	③訪問型サービスB(住民主体)	○(補助事業)		○(補助事業)	○	○	○(補助事業)			○	○(補助事業)	
	④訪問型サービスC(短期集中)	○			○	○		○	○			
	⑤訪問型サービスD(移動支援)											○
通所型サービス	①通所介護現行相当	○	○(5時間以上)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②通所型サービスA(緩和)		○(5時間未満)	○		○			○			
	③通所型サービスB(住民主体)	○(補助事業)	(広告・宣伝のみ)	○(補助事業)			○(補助事業)				○(補助事業)	○
	④通所型サービスC(短期集中)			○		○			○	○	○	○
その他の生活支援サービス	①栄養改善を目的とした配食	○(補助事業)		○		○						
	②住民ボランティア等が行う見守り	○(補助事業)										
	③自立支援に資する生活支援											
備考	【住民主体の活動】 活動費：年間60万円 通所型サービスB： 家賃など人数により 120～240万円		【住民主体の活動】 通所：1回あたり1,000円 訪問：買い物や散歩週 あたり1,000円 ゴミ出し週2回で1週あ たり1,000円 (通所・訪問とも)受け 入れ人数が3人を超え るとに1回500円上乗 せ								地区限定 訪問：500円×延べ 日数＋四半期に 15,000円 通所：500円×延べ 利用者数＋四半期 に20,000円	
一般介護予防事業	①介護予防把握事業									訪問面談支援		
	②介護予防普及啓発事業		いこい元気広場事業等	筋力向上トレーニング ・介護予防教室	運動機能向上のための教 室・栄養改善、認知症予防 の教室	健康チャレンジ(介護予防) 健康教室	運動・栄養・口腔ケア等 介護予防各種教室	健康講座・認知症予防講 座・認知機能アップ教室	転倒予防・介護予防 ・栄養教室・講演会	体力測定・介護予防 手帳・介護予防教室	運動教室・健康講座 ・転倒骨折予防教室	元気はつらつ教室・認知症 予防教室・介護予防運動教 室
	③地域介護予防活動支援事業	元気づくりステーション 事業等	通いの場(補助)	介護予防サポーター 養成講座	わいわいよこすか元気体操	通いの場(サロン)への専門 職を派遣	介護予防・健康づくりに関 するミニ講座の講師派遣	通いの場運営団体の支援・ 介護予防運動に取り組む団 体の活動助成	高齢者支援リーダー養成講 座、歌体操教室	サロン・ 通いの場支援	通いの場事業	貯金運動・ 通いの場事業
	④一般介護予防事業評価事業			生き生きシニア地域活 動補助金・ハートポイント						ニーズ調査		
	⑤地域リハビリテーション活動支援事業				サービス担当者会議や住民 運営の通いの場にリハビリ テーション専門職を派遣				サロンリハ・自宅リハ(講師 派遣)			
備考		1団体あたり、年間最 大30万円、2年間申請 可能			すべての65歳以上の 高齢者を対象に、健康 教室、健康相談の開 催。 住民主体の介護予防 に取組むサロンを支援	介護予防・健康づくり自 主活動団体へ補助金を 交付。運営費として月4回 活動の場合、月額10,000 円、月2～3回活動の場 合、月額5,000円を上限と して補助。						

3. 「居場所・サロン」調査

1) 調査結果概要

「居場所・サロン」調査は2015年度実績からW.Co 連合会所属 W.Co、福祉クラブ生協、W.Co 協会、いきいき福祉会を対象に行ってきました。そして2020年度実績調査から、生活クラブ生協の居場所アソシエーション支援基金を活用して活動する団体にも調査対象を広げました。調査概要は以下のとおりです。

2020年度調査では54の団体・組織が69企画(2019年度は47団体、110企画)を実施し、開催場所は64ヶ所(複数企画：前年は84ヶ所)でした。

※2020年度調査では、福祉クラブの地域協議会およびW.Co 単独での開催をそれぞれ実施団体数としました。2019年度調査までは福祉クラブ全体を1団体とカウントしました。

2) 大きかったコロナ禍の影響

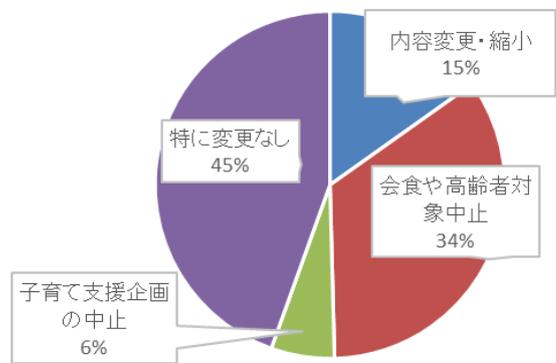
①回答があった120の企画のうち、コロナ禍のため、中止するところ(48企画)や人数や回数を縮小(18企画)しての開催が49%を占め、影響の大きさを表しています。

②高齢者対象や会食を伴う居場所・サロンは開催を中止にしたところが多くありました。逆に子育て支援や子どもを対象にしたところは内容を変更したり回数を減らしたりしたところ、特に変更なく開催したところが多くあります。

③W.Co 連合会のW.Co 解散2件(企画数計9)、W.Co 連合会からの脱退1、統合により居場所の廃止2企画、W.Co としての参加から個人参加となったところなどがありました。

④主に高齢者を対象にしたサロンを運営していた横浜市のW.Co は、コロナ禍のために行政からの助成金を返金しています。大和市でも子ども食堂支援事業がコロナで開催できなかった分を戻入れています。

コロナ禍による影響



3) 開催状況

(1) 開催目的

①開催目的を近隣や地域住民の「交流」としているところが42件(55%)です。今回の調査では生活クラブ居場所アソシエーション基金で支援を受けたアソシエーションを加えたことで、親子で参加する親子ひろばなどの「子育て支援」が17件(22%)、社会的な関心が高まっている子どもを対象にした子ども食堂や学習支援が8件(11%)、子育て支援が17件(22%)と、親子支援や子ども支援を目的とするところが33%と全体の3分の1を占めました。

②また、認知症の当事者やその家族の交流や相談を目的とした居場所も増えています。

※件数は、目的を複数にしているところが多く、合計76件と

開催目的



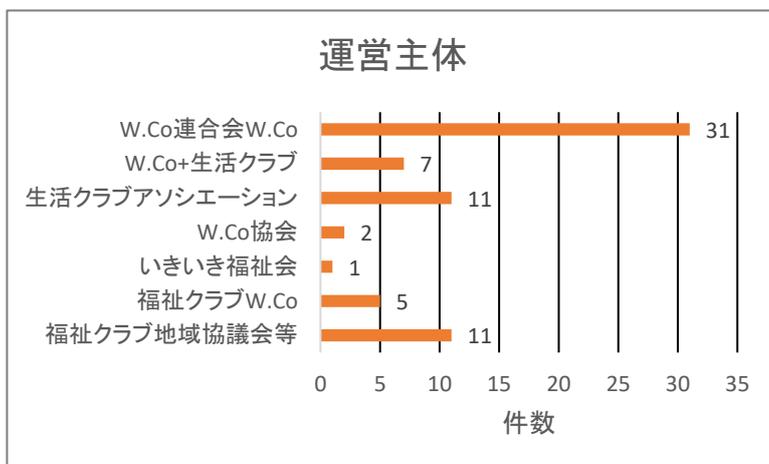
なり、全 69 企画とは整合しません。

③ コロナ禍でも子ども食堂や会食などは弁当や食品を配布する、学習支援に力を入れるなどに内容を変更したり、時間を短くしたりなどさまざまに工夫して行われています。【22 ページ参照】

(2) 運営主体

① 運営主体は 69 企画のうち、31 件は W.Co が運営しているものです。全体の 45% を占めます。

② 生活クラブ居場所アソシエーション支援基金の支援を受けたアソシエーションが運営する居場所も 11 企画 (15.9%) あり、それぞれ多様な活動を展開しています。親子や子どもを対象としたところが多いのが特徴です。



③ 生活クラブ生協関連では、高津センターを使って W.Co と組合員、地域の人たちも参加して子育て支援のイベントや、茅ヶ崎の「ぼかぼか運営会議」では、サロンなどの居場所や自治体委託の転倒予防教室を開催しています。

⑤ また、福祉クラブ生協は、「地域協議会」や「連絡会」等による開催が 11 企画あり、W.Co 主催による居場所を加えると全体で 16 企画 (23.1%) になります。

⑥ 単体 W.Co では、社協との共催、W.Co 同士やいきいき福祉会(法人)と W.Co との共催などがあります。W.Co ぱーとなーメンバーと市民のコラボで実施する“華の会”、藤沢のライフ&シニアハウス内で W.Co や生活クラブコモンズが(株)生活科学運営とともに運営委員会をつくり多様な企画運営を行っている藤沢市地域の縁側事業などがありますが、2020 年度は開催回数を制限しています。

⑦ 単体 W.Co 間や運動グループ内の連携を除くと、地域ケアプラザ(地域包括支援センター)、社協、地域活動支援センター、区役所などの公的機関や町会、地域の事業者(子育て・福祉)、ボランティアとの連携も行われていましたが、2020 年度は多くが中止となりました。

⑧ 昨年と同じく下記の 10 企画がコロナ禍でも、行政から委託を受けて活動しています。子育て支援関係の業務委託金額が全体の 95% を占めます。

< 表 1 6 >

組織名	企画名	委託元	委託金額
W.Coパレット	青葉区地域子育て支援拠点ラフル	横浜市	70,489,088
W.Co協会	反町カフェぼらん	横浜市(就労準備支援事業)	300,000
	居場所ぼらん		10,000
W.Coぱんじい	ぱんじいひろば	川崎市(住民主体による要支援者等支援事業)	7,700
	たまり場ぱんじい		132,000
W.Coメロディー	多世代の居場所メロディーココ	〃	70,000
W.Coキッズポケット	愛らんど久里浜(横須賀市子育て広場)	横須賀市	8,629,000
	愛らんど追浜(横須賀市の子育て広場)		13,407,000
いきいき福祉会	生活支援コーディネーター事業	藤沢市	4,350,000
生活リハビリクラブ茅ヶ崎	転倒予防教室	茅ヶ崎市	440,000
			97,834,788

(3) 常設型の居場所・サロン

①常設型(週4日以上)は、福祉クラブ生協のうえるびーサロンの3ヶ所を加えて、16企画です。

②<表14>にあるように常設型の企画は、自治体の委託事業や補助事業の割合が高く、約70%を占めています。委託金額の総額は、約1.2億円になります。ただし、川崎市のW.Coばんじい、W.Coメロディーの場合、総合事業の川崎市住民主体要支援者支援事業として行われており委託金額は「対象者1人1回1000円」という出来高払いです。

<表17>

名称	組織名	自主事業	補助・助成	自治体		自治体補助金・委託金額	備考
				補助事業	委託事業		
1 青葉区子育て支援拠点ラフル・ラフルサテライト	パレット				○	70,489,088	委託事業
2 親と子のつどいの広場びよびよ		○		○		6,603,265	補助事業
3 親と子のつどいの広場ぶーぶーしえすた		○		○		6,598,000	補助事業
4 反町カフェぼらん デイサロンぼこ	W.Co協会	○	○	○	○	1,800,000 300,000	補助事業 委託事業
5 ふれあい広場よつば	たすけあい戸塚	○	○			410,000	助成
6 コミュニティルームここ	たすけあい心	○	○	○		2,300,000	補助事業
7 親と子のひろばだっこ	ハッピーママプロジェクト	○		○		5,248,000	補助事業
8 みんなの居場所「はなもも」(2020年12月まで)	グループとも	○	○			—	—
9 多世代の居場所メロディーココ	メロディー	○	○		○	70,000	委託事業
10 愛らんど久里浜	キッズポケット				○	8,629,000	委託事業
11 愛らんど追浜					○	13,407,000	委託事業
12 ばらそる	ばらそる運営委員会			○		—	補助事業
13 福祉クラブうえるびーサロン	W.Co路	○				—	自主事業
14 福祉クラブピアノサロン	W.Coピアノ	○				—	自主事業
15 福祉クラブサロンde宙	W.Co宙	○				—	自主事業
16 藤沢市地域ささえあいセンターかるがも	いきいき福祉会			○		2,600,000	補助事業
		○			○	4,350,000	生活支援CN委託事業
計						122,804,353	

(4) 開催場所

①今回調査でも多くは自前(関連団体含む)施設を活用しています。その他は、ケアプラザ、町内会館や地域活動支援センター等の公共施設、近所の貸家・貸会場などで実施されています。公園を会場として太極拳等を行っているところもあります。組合員宅(交流)・施設の庭(園芸サークル)の活用も見られますが、大きな変化は見られず、貸会場等自前施設以外での開催は、全体の15%程度となっています。

(5) スタッフの体制等

①スタッフ体制も変化は見られず、特定のメンバーによって運営しているところが約半数です。次いで、「リーダー」、「全員交代」となっています。元メンバーや有志が関わり運営しているところも少数あります。

②ワーク代「なし」が約半数で、半数は分配金の対象となっています。交通費程度から、時間数に応じてなど、様々な考え方により運営されています。W.Coのワークの一環とするところ、コーディネーター(横浜市通所型サービスBや藤沢市地域支えあいセンターを受託しているいきいき福祉会)を配置して実施しているところもあります。

③居場所・サロンの運営に当たっては、ほとんど現 W.Co メンバーが関わり運営している一方で、地域の他団体やボランティアが関わっているところも少数あります。地域で持続性を持って居場所・サロンを運営し、地域に認知され開かれた場にしていくためにも、W.Co の元メンバーや地域のボランティアなど多様な人の参加が期待されます。

4) 課題整理

- ①生活クラブ運動の特徴は、活動等の中で気づいた地域のさまざまな課題を参加型で解決しようとする取組にあります。W.Co や組合員活動をとおして気づいた地域のさまざまな課題に向き合い、たすけあいや支えあいをすすめようと、居場所やサロン、会食会などの活動が県内各地で行われていましたが、運動グループ内でその全体像を把握しているところはありませんでした。参加型福祉研究センターは、2015 年度実績から運動グループ各団体の「居場所・サロン」活動の実態を把握することに努めてきました。
- ②2020 年度調査から、生活クラブ居場所アソシエーション基金の支援を受けたアソシエーションの活動についても把握することができ、さらに地域での活動が多様に広がっていることがわかりました。これまでは W.Co がデイサービスフロア等の空き曜日を活用して主に高齢者を対象にして開催してきたところが多くありましたが、2020 年度調査では親子支援や子ども支援を目的とするところが 33%と、全体の 3 分の 1 を占めました。
- ③ ただ、コロナ禍のため、開催を中止したり、変更・縮小したりするところも多くありました。高齢者を対象にしたサロンで横浜市社協の助成金を得て内容を変更して開催したところ、逆に開催できなかったため助成金を返金したところ、「子ども食堂」ができないため弁当配布としたところは大和市の補助の対象外となったところがある一方で、横浜市の補助事業を行う子育てひろば等には新型コロナウイルス感染防止対策事業補助費が補助されるなど、対応の違いも見えました。地域の人のつながりが途切れてしまうことを心配してお弁当を配ったり、外で絵本の貸し出しをしたり、密を避けて学習支援により力を入れるなどの工夫をしていることもわかりました。こういった活動を絶やさず、さらに広げていくための生活クラブ運動グループの連携した取り組みがいっそう求められます。
- ④ 国は、総合事業の「通いの場」を「介護予防」の受け皿とするため、2020 年度に自治体へのインセンティブ交付金を倍増(400 億円)しました。「通いの場」は 2019 年度時点では、神奈川県内で 5391 ヶ所で行われ、箱根町を除く全自治体(32)で、体操や茶話会、認知症予防、趣味の活動などが実施されていました。一方、総合事業住民主体のサービス B については、導入する自治体が県内で 3 分の 1(11)しかなく、なかなか進んでいません。「担い手がない」というのが自治体側の主な理由ですが、画一的な行政主導による場づくりの枠組みの中では、市民の多様で柔軟な活動を広げていくことは難しい現状も見えています。
- ⑤ 安心や安全を市民の多様な知恵と工夫で作りあげていくことがますます重要になっています。市民主体でこそ住みやすい地域づくりが可能だという問題意識のもと、生活クラブ運動グループが行う「居場所」の実践から、市民の自主的な活動を広げ、より取組みやすくするために自らの住む自治体へ声をあげていくことが必要です。地域での情報発信とお互いの情報交流を通して、多様な人びとが集う「居場所・サロン」を地域コミュニティの活動拠点としていきたいと思います。

実施団体からのコメント ～コロナ禍でも工夫して活動しました。～

●おおまる食堂(横浜市都筑区)

コロナ禍で食堂など”集まる企画”が開催できなかったのも、お弁当配布(500円相当を100円で)、親子工作キット販売を行いました。21年度にはワークショップ開催も企画しています(6月時点で1回開催済)

●ひのきごはん(横浜市鶴見区)

多世代が集まって一緒にごはんを食べることでそれぞれの居場所となる。居場所を支えるボランティアとして活動する人にとっても居場所となることを目指す。月に一度の開催。コロナ禍でスタートは遅れましたが、試行錯誤して開催を続けております。試しに始めたテイクアウトは好評で、時間内には参加不可能だった方や会食を気にする方にも利用いただいて、元々目指していた方向性から少し離れるけれど、誰かの役に立っているならそれでよしとしようという意見で一致しております。コロナ禍で楽しみが減っている中、ひのきごはんに来ておしゃべりできる事を喜んで下さる参加者の皆さんに支えられて楽しく活動しております!

●あんぐりもんぐり(横浜市中区)

- ・畑で作った野菜を参加者で収穫して食べる食事会。(コロナ感染予防のため2020年4,5月、2021年1~3月中止)
- ・蕎麦職人さんを講師に招き、蕎麦を打つところを見学したあと打ち立て蕎麦を食べる会(畑の野菜の天ぷらを付き)(上記と同じく4,5月と1,2,3月中止)
- ・お菓子を持ち寄り親子でおやつタイム
- ・春休みおむすびタイム(こどものための給食が無い日のお昼ご飯)

●NPO法人 W.Co くまさん(横浜市緑区)

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、回数は、3回、人数は制限して企画内容は、折り紙・押し花等の作品作りを実施

●W.Co パートナーメンバーと地域住民(横浜市港北区)

研修所が借りられた6月~1月は開催した。コロナ禍で台所が使用できないため、飲み物、おやつを提供を中止。コロナ対策を心掛け、朗読会、近況報告を行った。終了時間を早めた。

●NPO法人 W.Co たすけあい戸塚(横浜市戸塚区)

折り紙月1回、編み物月4回、麻雀月2回、親子サロン月1回、バザー月1回、介護相談日でしたが半年は、緊急事態宣言中は開催出来ませんでした。おりがみサロンと編み物は、対策を取りながら何とか出来たところです。

●NPO法人港南たすけあい心(横浜市港南区)

現在、麻雀、歌声喫茶、オレンジカフェは休止中。食事会はテイクアウトに変更。

※横浜市総合事業通所型サービスBを実施。

●NPO法人 W.Co グループとも(川崎市麻生区)

- ・2020年度の居場所事業は新型コロナウイルス感染防止でほとんど活動できませんでした。中止、休所が続きました。
- ・また、2012年よりもう一つの居場所として建物(はなもも)を借り、みんなの居場所「はなもも」として様々な活動をしてまいりましたが、コロナ禍で休所が続き2020年12月末、「はなもも」を返却し、活動にピリオドを打ちました。
- ・2021年からは「はなもも」で行っていた、絵手紙、麻雀、火曜カフェ(体操とおしゃべり)折り紙の会、手芸の5つの事業は、グループともが行っている「ともの家」3階で移行継続することにし

ました。

- ・以前より「ともの家」で行っていた、菜の花会、ほおずきも合わせ、7つをグループともの居場所事業として活動することとしました。

●NPO 法人 W.Co パレット(横浜市青葉区)

居場所の報告です。コロナの影響で自主事業の収入は激減していますが行政からのコロナ対策補助金で、収入は増えています。

※青葉区地域子育て支援拠点の受託のほか、家庭的(小規模)保育事業、親と子のつどいの広場等の補助事業を実施

●NPO 法人さくらの森親子サポートネットと W.Co わにわに(大和市)

【「お弁当の配布@わにわに食堂」を実施】

- ・新型コロナウイルス感染防止が長期化する中、「わにわに食堂を介してつながってきた小学生や親子とのつながりを切りたくない」また、小中学校が休校になり給食が取れない子どもや家庭を応援したいと考え、お弁当を配布した。

5月14日～6月29日まで週2回配布 利用世帯：39世帯78人 計520食配布

- ・お弁当の配布は、市の補助金対象外だったため、17万円がマイナス。
- ・3月は、お弁当形式で、予約制かつ人数制限をして「わにわに食堂」を実施。計50食配布

【子育て支援】

- ・未就学の子どもと、お母さんお父さんなど保護者の方のひろば。子どもを連れて、ゆっくり、ゆったり、のんびりできる場所、みんなで子どもを育て合う場所に。

開所日：月・水・金（祝日・お盆・年末年始はお休み）10：00～15:00

- ・新型コロナウイルス感染防止のため閉所、7月より、ひろば内10名までと人数制限し予約制として再開。

『わにわに図書』～閉所時も立ち寄る場所になるよう絵本の貸し出しをひろば前の外で行った。

●W.Co カフェ・ソーレ(綾瀬市)

コロナ禍により2020年度は企画を実施することはできなかった。しかし、通常の壁面を絵画サークルの発表の場として提供（無料）。カフェ（有料）を中心とした居場所の提供は時短で実施した。軽度認知症の人、孤食を避けたい高齢者、地域のサークル活動ができなくなった人たちのたまり場として利用された。2020年度はコロナ禍だが、サークル活動が再開されたグループの利用が（4団体あった）。一人暮らしの高齢者や体調を悪くした人等からの話し相手としての機会も多かった。

●NPO 法人 W.Co TOMO(平塚市)

平成28年6月より開始。毎月1回の開催を継続しています。デイサービスの休日に開催し、体操、音楽（楽器演奏、歌）、ゲーム、紙芝居など地域の皆さんの特技や趣味を活かし交流を図っています。2020年は新型コロナウイルス感染対策のため実施は取りやめています。一昨年までに参加された方に年3回発行のTOMOだよりを同封し、近況報告を書いたお手紙を出しています。

●みんなの食堂 おおいそテーブル(大磯町)

- ・新型コロナ感染拡大以前は月1回夜の開催で、主に幼児から中学生までの子どもとその保護者を対象として、遊びや勉強ができる居場所と夕食の提供を行ってきた。
- ・感染拡大後の2020年2月～6月まで休止（会場の公民館が閉館）。7月～12月は月2回土曜の昼に（密を避けるために）小中学生だけを対象として以前よりも学習支援に力を入れた居場所と昼食の提供を行った。2021年1月より現在まで再び休止している。

4. コミ・オプ福祉の相互連携等に関する調査

1) 調査概要

①団体別集約数

<表18>

団体名	送付数	回答数	2019 回答数	連携有	2019 連携あり	政策提案活 動有	前年比
W.Co連合会	98	79	41	58	29	23	192%
W.Co協会	2	2	1	2	1	1	100%
福祉クラブ	1	1	1	1	1	1	100%
いきいき福祉会	1	1	1	1	1	0	—
計	102	83	44	62	32	25	178.6%

i 102 の団体に送付し、83 団体から回答を得ました。

ii 単体 W.Co からの回答が大幅に増えました。W.Co 協会、福祉クラブ生協、いきいき福祉会からの回答を加え、「連携あり」と答えたところは前年より倍増しました。

②エリア別集約数

<表19>

エリア	回答数	連携有	2019連 携あり	連携あり 前年比	政策提案活 動
横浜市	38	25	10	250%	5
川崎市	10	8	2	400%	5
県央(相模原、海老名、座間、綾瀬、大和)	9	11	8	138%	7
三浦(横須賀、逗子、葉山町)	9	6	6	100%	2
湘南(平塚、茅ヶ崎)	16	11	5	220%	5
県内全体(福祉クラブ)	1	1	1	—	1
	83	62	32	194%	25

i 川崎、横浜、湘南、県央、三浦エリアの順に回答数が昨年と比べて大幅に増えました。

ii 回答した 83 団体のうち、62 団体、75%が何らかの連携があると答えています。

iii 政策提案活動は、各地域の運動グループによるローカルユニット、地域活動連携協議会等の連携団体が取りまとめて各自治体に提出しています。

2) 生活クラブ運動グループ間や他団体、市民ボランティア等との地域連携

(1) 連携の種類・概要

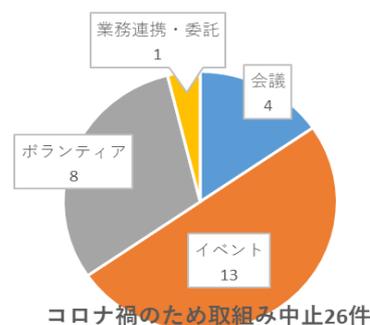
<表20>

連携の種類	内容	回答数	構成比	前年比
交流・情報連携	会議等を通じての交流・情報共有	48	41.4%	160%
イベント等の連携	イベント等の交流	11	9.5%	69%
ボランティアとの連携	ボランティアの受け入れと活動参加	11	9.5%	85%
業務提携・業務委託	サロン送迎や食事配達、親子のひろばの運営委託等	22	19.0%	169%
その他	アソシエーション形成	1	0.9%	—
政策提案を共に行う	ローカルユニットや地域連携協議会を通じた連携	23	19.8%	177%
		116	100%	

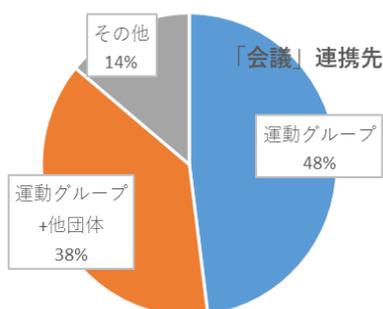
①連携の種類としては、会議での情報共有が 41.4%と最も多く、ついでイベント等の活動連携が 9.5%、業務委託・提携、政策提案活動、ボランティアの受け入れはいずれも 9.5%となっています。

②2020 年度は回答のあった全 142 件のうち、コロナ禍のため、中止を余儀なくされた件数が 26 件あ

り、全体で 116 件になりました。中止は「イベント」開催が半分を占め、ボランティアの受け入れも中止やオンラインで行ったところがありました。業務委託は地域包括支援センターの会議で食事サービス W.Co の食事提供が中止になったものです。



(2) 連携の内容



①会議連携

「地域活動連携協議会」や「ローカルユニット」等の運動グループの会議は各地域で行われ 48%を占めます。団体間の情報共有や連携した活動づくり、政策提案の取りまとめなどを行っています。

横浜西部ユニットでは、ラポール三ツ沢を身近に感じ、福祉を自分ごとと捉えることを目的に、見学や学習会を行っています。社協や地域包括支援センター、行政機関との会議も各地で行われており、

地域での連携が進められています。

また、運動グループ以外の地域の団体、社会福祉協議会や地域包括支援センターとの活動連携のための会議も 38%と活発に行われています。

②イベント等の活動連携

地域の祭りへの参加やバザーへの出店などは、2020 年度はほとんどが中止になっていますが、相模原市の W.Co はっぴーは、地域包括支援センターと連携して近くの公園で月 2 回、高齢者の健康体操を行っています。また、生活リハビリクラブ橋本では W.Co むすびってがデイサービス利用者と畑作業を行いながら地域との交流をめざしています。

③ボランティアの受け入れと運営参加

W.Co あいあいでは地域の大学のインターシップや研修の受け入れ、W.Co のぞみでは中学校の福祉体験などを受け入れてきましたが、2020 年度は実施していません。

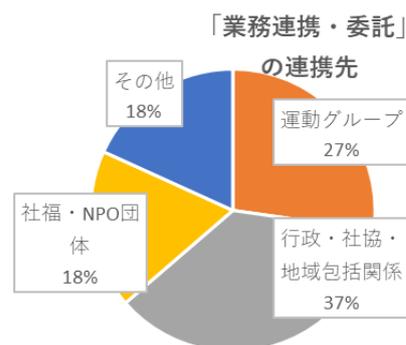
④業務委託・業務提携

逗子市の W.Co くるまやさんは葉山町の高齢者のサロン送迎サービスを町からの委託(総合事業訪問型サービス D)でおこなっています。また、食事サービス W.Co が障がい者福祉作業所、保育施設等の弁当製造や配達、地域内の W.Co が運営するデイサービスへの食事配達、送迎や、施設内の生活支援など運動グループ間での委託・提携も増えています。

その他、総合事業、子育て支援など行政独自の事業を多数受託しています。

⑤その他

湯河原町の「はたらつく・ゆがわら」での生活困窮者支援のための活動をきっかけに、W.Co 協会と生活クラブ城下町コモンズが学習支援等を行うアソシエーションをつくり活動しています。



(3) 連携先の広がり

地域生協や運動グループ、ユニットだけではなく、地域内の他の市民団体や町内会・民生委員等の人たちとの連携が多くあります。また、区や市社協、ボランティア市民活動団体、区の訪問介護

事業所連絡会等の組織の一員として連携を図ったり、自治体部局と会議等を通しての協議・連携が見られます。

3) 政策提案活動について

(1) 概要

83 団体中 25 の団体が政策提案活動を行っているとの回答がありました

(2) 政策提案のとりまとめ、窓口となる団体

①横浜エリア連携協議会、横浜ユニット連絡会、青葉福祉ユニット会議、横浜西部福祉ユニット、川崎コミュニティ・オブティマム福祉マネジメントユニット会議、ゆ・にっ・と横須賀、まちづくりユニットひらつか、まちづくりユニット茅ヶ崎、相模原地域福祉ユニット会議、ヒューマンサポートネットワークあやせ、コミュニティ・オブティマム福祉地域協議会・大和の、地域の生活クラブ運動グループが構成する 11 の団体が各団体の提案を持ち寄るなど、とりまとめと自治体への政策提案の窓口となっています。

②川崎ではユニット以外に、福祉 W.Co が全市で集う「市民福祉事業センター・かわさき」も政策提案活動を行っています。

(3) 提案の内容について

①単体 W.Co からは 79 の回答が寄せられました。そのうち運動グループとともに政策提案を行っているのは全体で 25 団体、そのうち W.Co は 23 団体あり、高齢者支援 12、子育て支援 5、移動サービス 2、食事サービス 2、その他 2 でした。

②相模原市では新型コロナウイルス感染症へのスピーディーな対応ができる体制整備、高齢者の活動の場の拡充、居場所・サロンの推進、在宅重度障害者の緊急時の対応など、大和市ではコロナ禍での乳幼児一時預かり事業補助金についてなどを提案、また、「PRTR 法において石けんを有害物質に指定しないよう求める要望書」を提出するなどの活動をしています。綾瀬市では昨年行った市長との意見交換は 2020 年度は中止になりました。

4) 課題整理

①地域で連携してコミ・オブ福祉をとともに推進しようとする活動について 2017 年度実績から調査しています。多くは地域の生活クラブ運動グループ間の情報共有や連携のための会議、社協の呼びかけによる NPO 等の連絡会等が約 37%です。地域の団体と連携して行うイベント開催やボランティアの受け入れも通常は活発に行われていますが、2020 年度はコロナ禍で多くが中止(26 件)や縮小され、オンライン開催したところもありました。

②地域では生活クラブ運動グループ間をはじめ、地域の活動団体や社会福祉協議会との会議が行われています。また業務提携では障害児・者の移動支援、デイサービスの送迎、食材の配送、食事サービスではお弁当配達などが運動グループ間や社協などで行われており、全県的に活発な地域連携が行われている様子がわかりました。湯河原では W.Co 協会と生活クラブが連携して学習支援を行うアソシエーションづくりが行われました。

③政策提案活動を行っている回答した団体は 25(W.Co 協会、福祉クラブは各 1 カウント)でした。W.Co がそのうち 23 団体ですが、コロナ禍でますます表面化してきた全世代に亘る孤立や貧困など、現場の実践から見える課題解決へ向けての提案を積極的に行っていくことが今後もさらに求められます。

④前年度の調査からも、地域の中で様々な連携が進められていることが見えていましたが、2020 年

度はコロナ禍の影響で運動グループや他団体が連携して行うイベント等が多く中止せざるを得ない状況でした。多様化・個別化する地域ニーズに対応するにはさらなる運動グループによる地域連携を生み出し、地域へのメッセージ力を強めていくことが課題となっています。

5. 日本生活協同組合連合会並びに神奈川県内6生協と生活クラブ運動グループとの実績比較

<表21> (単位:千円)

20年度実績	団体名称	日生協	県内6生協	6生協の割合	運動グループ計
	福祉事業合計	22,537,264	3,871,516	17.2%	3,360,367
実績内訳 (千円)	居宅介護	2,894,651	502,957	17.4%	422,283
	訪問介護	5,754,102	1,027,099	17.8%	797,742
	通所介護	4,444,174	869,934	19.6%	804,776
	福祉用具(貸与・販売)	1,185,197	476,539	40.2%	68,366
	小規模多機能	1,348,835	102,223	7.6%	102,223
	グループホーム	973,300	0	0.0%	0
	定期巡回	139,304	0	0.0%	0
	高齢者住宅	1,816,001	139,522	7.7%	217,355
	その他	2,629,787	452,101	17.2%	834,039
	障がい者	1,351,913	301,141	22.3%	113,583
事業高前年 比(%)	福祉事業合計 事業収入	102.3%	100.4%		97.7%
	居宅介護	101.4%	98.7%		102.6%
	訪問介護	101.2%	108.1%		104.8%
	通所介護	98.3%	97.0%		95.6%
	福祉用具(貸与・販売)	101.8%	101.5%		112.6%
	小規模多機能	118.5%	142.3%		142.3%
	グループホーム	113.9%	-		0.0%
	定期巡回	128.2%	-		-
	高齢者住宅	105.0%	107.7%		100.6%
	その他	100.7%	87.4%		90.5%
サービス事業 別構成比 (%)	居宅介護	12.8%	13.0%		12.6%
	訪問介護	25.5%	26.5%		23.7%
	通所介護	19.7%	22.5%		23.9%
	福祉用具(貸与・販売)	5.3%	12.3%		2.0%
	小規模多機能	6.0%	2.6%		3.0%
	グループホーム	4.3%	0.0%		0.0%
	定期巡回	0.6%	0.0%		0.0%
	高齢者住宅	8.1%	3.6%		6.5%
	その他	11.7%	11.7%		24.8%
	障がい者	6.0%	7.8%		3.4%

*日本生協連・県内6単協の実績は、日本生協連が各単協からデータを集約してまとめたものを使用。

*県内6単協は、生活クラブ、福祉クラブ、ユーコープ、富士フィルム、神奈川高齢者生協、パルシステム神奈川

*運動グループは、生活クラブ、福祉クラブ、W.Co 連合会3団体で、いきいき福祉会は含まず。

*「その他」には自主(制度外)事業、地域包括支援センター、子育て支援等を含む。

1) 日本生協連

<表22>

(1) 日本生協連の会員45

■収入規模別損益状況

生協の2020年度の福祉事業収入の累計は約225.3億円、2019年度は約220.3億円で、前年比102.3%でした。

収入規模別	A. 10億円以上	B. 5~10億円未満	C. 2~5億円未満	D. 1~2億円未満	E. 1億円未満	全体
生協数	9生協	5生協	10生協	10生協	11生協	45生協
前年対比 収入伸長率	102.4%	100.3%	100.6%	102.3%	124.2%	102.3%
2020年度 経常剰余率	-0.08%	-6.18%	-10.02%	-23.35%	-30.44%	-4.75%
2019年度 経常剰余率	0.88%	-4.89%	-8.28%	-19.19%	-41.76%	-3.57%

しかし、日本生協連は、2019年度までは収入規模1億円未満から10億円以上生協の経常剰余の改善が進んでいたものの、2020年度は上記の表22のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響により損益状況が悪化しているとコメントしています。

(2) 既存3事業収入前年比は居宅介護101.4%、訪問介護101.2%、通所介護98.3%でした。

(3) 一方、地域密着型サービス及び高齢者住宅の収入前年比は、小規模多機能^{※1}118.5%、グループホーム113.9%、定期巡回^{※2}128.2%、高齢者住宅105.0%と大幅に伸長しています。

※1 小規模多機能型居宅介護事業 ※2 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(4) サービス別事業の構成比では、前年比は低下しているものの訪問介護が25.5%と一番高く、通所介護19.7%、居宅介護12.8%、その他(自主事業、地域包括支援センター・子育て支援等)11.7%、障がい者6.0%の順になっています。

(5) 地域密着型サービスおよび高齢者住宅に取り組む生協は前年と変化はありませんでした。

<地域密着事業及び高齢者住宅実施生協数>

<表23>

サービス事業名	小規模多機能	認知症共同生活介護(グループホーム)	定期巡回	高齢者住宅
17年度実施生協	8	7	2	6
18年度実施生協	9	7	3	8
19年度実施生協	12	7	3	10
20年度実施生協	12	7	3	10

<2020年度神奈川県6生協及び運動グループ福祉事業実績>

<表24>(単位:千円)

*〔社福〕いきいき福祉会を除く

20年度実績	団体名称	ユーコープ	富士フイルム	神奈川高齢者生協	パルシステム神奈川	福祉クラブ生協	生活クラブ	県内6生協合計	W.Co連合会	運動グループ計
	福祉事業合計	644,739	516,438	517,572	229,704	1,401,726	561,337	3,871,516	1,397,304	3,360,367
実績内訳 (千円)	居宅介護支援	148,015	16,357	4,775	67,244	207,864	58,702	502,957	155,717	422,283
	訪問介護	252,332	58,451	221,928	111,325	275,592	107,471	1,027,099	414,679	797,742
	通所介護	60,499	79,821	130,679	0	293,491	305,444	869,934	205,841	804,776
	福祉用具(貸与・販売)	26,455	361,809	0	19,909	68,366	0	476,539	0	68,366
	小規模多機能	0	0	0	0	51,561	50,662	102,223	0	102,223
	グループホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定期巡回	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高齢者住宅	0	0	0	0	139,522	0	139,522	77,833	217,355
	その他	19,745	0	41,943	5,459	345,896	39,058	452,101	449,085	834,039
	障がい者	137,693	0	118,247	25,767	19,434	0	301,141	94,149	113,583
事業高前年比 (%)	福祉事業合計 事業収入	94.8%	95.3%	104.2%	102.1%	100.7%	107.6%	100.4%	90.3%	97.7%
	居宅介護支援	99.2%	62.8%	63.5%	101.4%	100.5%	109.2%	98.7%	103.1%	102.6%
	訪問介護	98.0%	87.7%	135.6%	104.5%	101.4%	128.1%	108.1%	102.3%	104.8%
	通所介護	94.9%	85.6%	109.0%	#DIV/0!	93.2%	100.0%	97.0%	92.9%	95.6%
	福祉用具(貸与・販売)	85.9%	101.6%	-	91.5%	112.6%	-	101.5%	-	112.6%
	小規模多機能	-	-	-	-	146.9%	138.0%	142.3%	-	142.3%
	グループホーム	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.0%
	定期巡回	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高齢者住宅	-	-	-	-	107.7%	-	107.7%	89.9%	100.6%
	その他	91.4%	-	43.6%	68.9%	98.9%	93.6%	87.4%	84.8%	90.5%
障がい者	87.7%	-	108.0%	114.9%	83.7%	-	96.5%	109.0%	103.6%	
サービス事業別 構成比(%)	居宅介護支援	23.0%	3.2%	0.9%	29.3%	14.8%	10.5%	13.0%	11.1%	12.6%
	訪問介護	39.1%	11.3%	42.9%	48.5%	19.7%	19.1%	26.5%	29.7%	23.7%
	通所介護	9.4%	15.5%	25.2%	0.0%	20.9%	54.4%	22.5%	14.7%	23.9%
	福祉用具(貸与・販売)	4.1%	70.1%	0.0%	8.7%	4.9%	0.0%	12.3%	0.0%	2.0%
	小規模多機能	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	9.0%	2.6%	0.0%	3.0%
	グループホーム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	定期巡回	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高齢者住宅	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	3.6%	5.6%	6.5%
	その他	3.1%	0.0%	8.1%	2.4%	24.7%	7.0%	11.7%	32.1%	24.8%
	障がい者	21.4%	0.0%	22.8%	11.2%	1.4%	0.0%	7.8%	6.7%	3.4%

* 日本生協連・県内6生協は日本生協連「2020年度45生協福祉事業実績」データより

* 福祉クラブ事業高には子育て支援含む

2) 県内6生協

(1) 神奈川県生協連としては福祉事業実績の集約は行っていないため、日本生協連のデータから神奈

川 6 生協の実績を集計しました。福祉事業合計で約 38.7 億円、福祉事業全体では前年比 100.4%とほぼ横ばいです。居宅介護支援を除き全ての事業が前年を上回り、小規模多機能は 142.3%と大きく前年を上回りました。

- (2) 日本生協連全体の事業高に占める県内 6 生協の割合は 17.2%(前年 17.5%)と、前年を若干下回りました。
- (3) サービス事業別の構成比は 45 生協と同様に、訪問介護が一番高く 26.5%、次いで通所介護 22.5%、その他 11.7%、居宅介護支援 13.0%、次いで福祉用具 12.3%となっています。
- (4) 福祉クラブ生協の事業高は 14 億円であり、45 生協のうち上位 5 番目変わらず、県内では規模が一番大きくなっています。次いで、ユーコープ、富士フィルム生協となっています。

3) 生活クラブ運動グループ

- (1) 運動グループ 3 団体の福祉事業合計は 33.6 億円であり、前年比 97.7%の実績でした。通所介護、自主事業を含むその他の実績が前年を下回ったことが要因です。
- (2) サービス事業別の構成比では、自主事業を含む「その他」が一番高く 24.8%、ついで通所 23.9%、訪問 23.7%、居宅介護支援 12.6%で、他生協と比較すると、制度外の自主事業が含まれる「その他」の構成比が一番高くなっているところに、運動グループの特徴が現れていると言えます。

4) 課題整理

(1) 日本生協連「福祉事業中長期戦略検討委員会」最終報告(2020 年 5 月発行)より

- ① 2025 年に向け地域包括ケアシステム構築の取組みを進める中で 2006 年に登場した地域密着型サービス、中でも小規模多機能型居宅介護サービス(以下、小多機・定員 29 名)は、利用者の状態像に合わせて包括的にサービスを提供でき、家族の介護負担軽減や事業者の事業面・財政面でも安定性があるとしています。

2020年度	45生協中 実施生協数	事業高 前年比平均
小規模多機能	12	118.5%
グループホーム	7	113.9%
定期巡回	3	128.2%
高齢者住宅	10	105.0%

※日本生協連「2020年度45生協福祉事業実績より」

- ② 全国の生協では、小多機、認知症グループホーム、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を核事業所として従来の在宅サービス等と組み合わせる「事業モデル転換」を進めてきました。2019 年までの 3 年間に上記 3 サービスは、38 事業所から 103 事業所と大幅に増加しました。生協の介護事業においては、過大な投資が赤字の要因となっていることが多い中で、この「事業モデル転換」で建築物への適正な投資が行われ、それが事業黒字のカギとなっているとコメントしています。
- ③ 日本生協連の 45 生協では、事業規模と損益状況は比例し、年間事業収入 10 億円以上の 8 生協では収支均衡、同 10 億円未満の生協では赤字が多数となっています。さらに、介護業界の事業者平均が黒字であるのに対して、生協の介護事業では全体で赤字であるのはなぜなのか…営業力の弱さや業務効率化、稼働管理等、総じて事業マネジメントの弱さが影響していると分析しています。しかし、その中で小規模多機能居宅介護事業は、介護事業者の平均(+2.8%)に比べ稼働率が高く、包括報酬制であることから、高い利益水準(+10.6%)となっていると報告しています。

(2) W.Co が主体となって運営する生活クラブ運動グループの福祉事業は概して小規模で、主に地域に住み暮らす人たちが必要性を感じて立ち上げた事業を中心にして地域密着で活動するため、小回りが利き、きめ細かい対応がその特徴と言えます。中でも W.Co 連合会に所属する W.Co のデイサービス 9 事業所の定員は 7 人から 14 人とかなり小規模で、訪問介護事業所と居宅介護支援事業所を併設しているデイサービスは 6W.Co です。訪問介護事業は大きいところで年間事業高 4,000 万

円前後、しかも昨今の人手不足に加え、メンバーの高齢化が顕著です。国は生産性の向上をめざし ICT(情報通信技術を活用したコミュニケーションを意味する言葉)の活用をすすめるようとしており、その対応も求められます。

(3) 介護人材の不足は W.Co に限らず、社会的な課題です。介護労働安定センターによる 2020 年度実態調査(2019 年 10 月～2020 年 9 月)では、施設やデイサービスなどの介護職員の離職率が 14.7% に急降下(前年 16%)しているのに対してヘルパーの離職率が 15.6%(前年 13.6%)に急上昇しました。もともと高齢者の割合が高く、不安定な訪問介護サービスのありようが、このコロナ禍で表面化したとも考えられます。

(4) これまでも報告してきたように、他生協との事業別構成比の比較では、運動グループの「その他」(コミ・オブ福祉を中心とする制度外の自主事業)割合が 24.8%と高く、それらのワークを横断的に貫いて担っている W.Co がコミ・オブ福祉を重視する基本姿勢と運営力の高さを確認できます。しかし、特に家事介護 W.Co の事業実績が年々減少していることは参加型福祉の今後の存続が大きな課題となっています。これまでもさまざまな場面で「参加型福祉」の中核を担ってきた単体 W.Co の今後のあり方は、生活クラブ運動グループ全体の共通課題であると言えます。

Ⅱ. 2022 年度福祉事業・活動計画の検討にあたって—提言—

生活クラブ運動グループが連帯し、

“全員参加の持続可能な「福祉社会」”を実現しよう！

生活クラブ運動グループ福祉事業実績報告書にあるとおり、子育て支援事業を含む生活クラブ運動グループの2020年度の福祉事業は58億円の規模となっています。

生活クラブ運動グループによる「参加型福祉」の特徴を表すものの一つとして W.Co や組合員が中心となって運営する「居場所」や子育て支援の「ひろば」があります。2020年度はコロナ禍の影響で中止や内容変更が多々ありましたが、それでもさまざま工夫しながら64ヶ所で半数近くの69の多様な企画が行われていました。

私たちの社会は、少子高齢化や、晩婚化・非婚化による単身世帯、一人親家庭の増加と世代間における貧困の連鎖、地縁・血縁による繋がり希薄化(無縁社会)による社会的孤立などの問題が広がり続けています。そして長引くコロナ禍でそれらの問題が一気に表面化しました。

孤立や分断・格差の広がりにより地域の生活福祉ニーズの個別化、複雑化、多様化は顕著になっています。新たな社会的セーフティネット形成には、生活クラブ運動グループのみならず、市民、団体等、地域に関わる多様なステークホルダーが連携・協力して“全員参加の持続可能な「福祉社会」”づくりに向け協働し、たすけあい・支えあいのコミュニティづくりを進めていくことが何より求められています。

1985年に初めての家事介護 W.Co が誕生してから40年近い月日が経とうとしています。その間、生活クラブ運動グループ福祉協議会の発足と福祉クラブ生協創設、神奈川 W.Co 連合会設立、7万人のカンパ金を基にしたラポール藤沢の開設、生活クラブ運動グループ福祉事業連合の設立、そして10年後の参加型福祉研究センターへの機能移管と、参加型福祉の社会化とその推進に向けた組織・機能をつくり、地域での活動を積み重ねてきました。

近年、組織解散等による W.Co 連合会からの脱退が増え、さらに今後の存続が大きな課題となっている現状があります。特に、家事介護やデイサービスの前年実績からの落ち込みが続いているのは、コロナ禍によるものばかりではなく、メンバー不足や高齢化が大きな要因であることはこれまでも指摘されてきたことです。W.Co はこれまでさまざまな場面で「参加型福祉」の中核を担ってきたものの、概して小規模な単体 W.Co の今後のあり方は生活クラブ運動グループ全体に共通する大きな課題だと言えます。

生活クラブ運動グループの参加型福祉事業は、これからの人口減少・超少子高齢化時代という厳しい時代において、地域の中でオルタナティブを發揮し、どういう方向性をもって立ち向かっていくのかが問われています。その中で、現在生活クラブ運動グループ12団体により「新たな組織」設立発起人会が発足し、今後、他団体の参加も得ながら来年度の事業開始に向けて動き出しています。ボランティアやアソシエーションづくりを支援する講座・研修や相談支援、広報・連帯機能づくりを行い、“全員参加の持続可能な「福祉社会」”の具体化をめざします。

<提言>

1. 地域の連携・協働で「住民主体のサービス」の拡充をすすめよう

これまでも社会的な課題として捉えられながら、このコロナ禍で一気に表面化した、生きづらさを抱える人、孤育てをする人、生活に困窮する人、外出や買い物困難な人、ヤングケアラー、ダブルケアを抱える人等々、いまや多様化し、個別化・複合化したさまざまな課題。それらに対応する公的なセーフティネットの限界がますますあらわになってきました。公助の充実とともに顔の見える身近な地域での市民の自由な発想や柔軟な取り組み、たすけあいが欠かせません。

生活クラブ運動の特徴は、活動等の中で気づいた地域のさまざまな課題を参加型で解決しようとする取組にあります。W.Coや組合員活動をとおして気づいた地域のさまざまな課題に向き合い、たすけあいや支えあいをすすめようと、コロナ禍の中でも、居場所やサロン、親子ひろばなどの活動が県内各地で行われていることが2020年度の調査でもわかりました。

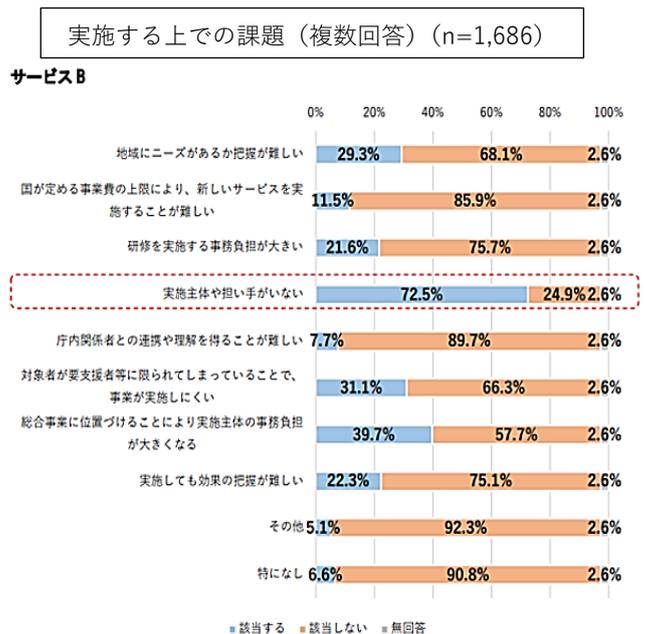
地域の人のつながりが途切れてしまうことを心配してお弁当を配ったり、内容変更や時間短縮、屋外での絵本の貸出し、密を避けて学習支援により力を入れるなどの工夫がされていました。こういった活動を絶やさず、さらに広げていくための地域での生活クラブ運動グループの連携した取り組みがいっそう求められます。

前述のとおり、国は「通いの場」を介護予防のための重要施策として位置づけており、2020年度に自治体へのインセンティブ交付金を倍増(400億円)しました。「人口1万人あたりに10ヵ所で開催する」ことや、「令和7年度(2025年度)までに参加率を8%まで高める」ことを目標に掲げています(高齢者の参加率は2018年時点で5.7%)。神奈川県では箱根町を除き32市町村で行われ、体操や茶話会、認知症予防、趣味の活動などが実施されています。2020年度、運動グループでは6つの「通いの場」事業が行われています。

一方、総合事業住民主体のサービスBについては、導入する自治体が県内で3分の1(11)であり、なかなか進んでいません。市町村保険者向けのアンケート(回答1,686市町村・回収率96.8%)では、「担い手がない」(72.5%)というのが行政側の主な理由ですが、画一的な行政主導による場づくりの枠組みの中では、市民の多様で柔軟な活動を広げていくことは難しい現状も見えています。

生活クラブ運動グループでは、通所型サービスBが3ヶ所(いずれも横浜市)、訪問型サービスBは1W.Co(逗子市)が実施しています。

また、高齢者の外出や交流が健康と深くかかわっているということが、調査報告からも明らかになっており、社会との多様なつながりがある人では、認知症発症リスクは半減するといえます。道路運送法による許可も登録も不要な、高齢者等の外出を支援する住民の互助活動が全国各地で生まれていま



す。秦野市では、訪問型サービス B を活用して買物付添いや通院付添い等の生活援助を一体的に提供する車両による移動支援が行われています。訪問型サービス B を活用すると、家賃やコーディネーター人件費、車両維持・購入費などの補助を受けやすく、活動の継続性を担保しやすいというメリットがあります。

市民主体でこそ住みやすい地域づくりが可能になり、安心や安全を市民の多様な知恵と工夫でつくりあげていくことがますます重要になっていますが、多様な活動を展開する地域の人びとの能動性を活かすためには、自治体の地域構想とコーディネート力が求められます。生活クラブ運動グループが行う「居場所」の実践から、市民の自主的な活動を広げ、より取り組みやすくするために自らの住む自治体へ声をあげ、ともに取組んでいくことが必要です。

- 生活クラブ運動グループによる地域での「居場所・サロン」「子ども食堂」「フードパントリー」「学習支援」などの自主的な事業活動は、地域に住み暮らす市民の主体的な参加の場となり、たすけあい・支え合いの関係づくりを地域に広げる実践の場となるものです。行政ヒアリングや協議テーブルなどを通じて、利用(参加)の実態や市民ニーズのデータ等をもとに自治体への周知を高めましょう。
- 「住民主体によるサービス」の拡充に市民活動の多様性・柔軟性を十分に活かすため、総合事業等に関わる行政施策についても学習を進め、実践に基づいた政策提案を強めましょう。

2. 地域の活動拠点としての小規模多機能型居宅介護事業転換へ向けた議論を深めよう

2022年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢期に入り、医療や介護の給付額が一気に高まるとされています(「2022年危機」)。これまで進められてきた病床機能の再編や入院期間の短縮などにより、地域における生活福祉ニーズは今後さらに高まり続けることは必至です。

いま、国は介護保険事業の大規模集約化によって効率化、合理化を推進しようとしています。PDCA(plan-do-check-act)サイクルによってプランニングをして効果を出すなどの専門性もより求められてくるでしょう。しかし、大規模経営の介護事業を展開する企業の標準化されたサービスでは、地域の特性や個々人のニーズといったものを汲み取るのが難しくなる可能性もあり、効率化や合理化を進めるなかで介護の質が低下するのではないかという懸念もあります。

ケアの必要な人の日常生活を支えるためには、生活圏域での単発のサービスを「点」で提供するのではなく、「面」的なしくみの構築が問われています。地域密着型サービスの一つである小規模多機能居宅介護事業(以下、小多機)は、デイサービス(通所)を中心に、訪問介護、泊りを必要に応じて柔軟に一体的に提供するものです。地域の利用者や介護する家族のライフスタイルや心身の変化に寄りそい、中・重度になっても在宅での生活継続をコーディネートすることができます。さらに、要介護者やその家族にとどまらず、多くの地域住民の相談や交流、活動の拠点として機能することも可能です。

また、地域で住み暮らす人々が集う居場所・たまり場などの活動とネットワークし、連携することで、多様な人々との関わりやつながりに結び付ける多面的な機能をもつ「地域包括ケアシステム」に欠くことのできない機能であり、事業です。

「小多機」県内整備数(2021.10)

市町村	小多機数	看護小多機数
横浜市	136	64
川崎市	48	16
相模原市	31	3
県内その他	92	21
計	307	104

小多機は、市町村の介護保険事業計画に基づいて整備されます。

横浜市では、地域密着型サービスを提供する拠点の整備が進んでいない地域があることから、2021年度から、個人や民間が所有していて福祉事業に活用することを希望する不動産の所有者と、サービスを提供する運営法人とのマッチングを図り、地域密着型サービス拠点の整備促進を図る事業を実施します。対象事業は小多機、看護小多機、認知症対応型グループホームの3つです。一定の条件がありますが、建築・改修に係る整備費、開設準備に係る経費に補助金が交付される可能性があります。

前述のとおり、日本生協連では、生協の介護事業全体では赤字である中で小規模多機能居宅介護事業は、介護事業者の平均(+2.8%)に比べ稼働率が高く、包括報酬制であることから、高い利益水準(+10.6%)となっている、と報告しています。

生活クラブ運動グループでは、生活クラブ生活リハビリクラブ葉山、福祉クラブ小規模多機能サービス菅田事業所、小規模多機能サービス池子事業所の3ヶ所があります。

※横須賀市のNPO法人W.Coサポート横須賀(2018年にW.Co連合会を脱退)は、2015年2月小規模多機能型居宅介護「サポート横須賀くごう」(定員24名)を開設。その後、地域密着型サービスの認知症対応型通所介護事業を閉所し、2019年5月に「サポート横須賀くごう」のサテライトとして小規模多機能型居宅介護「サポート横須賀さの」(定員12名)をオープンしました。公開されているサポート横須賀の年度決算書によると、2019年度、2020年度とも小多機「くごう」は当期経常増減額が200万円~300万円の黒字となり、他の自主事業(配食等)や本部経費の赤字を補填する役割を果たしていると考えられます。

厚労省の資料によると、小多機を利用することになった理由では「通い、訪問、宿泊を複合的に提供してくれるから」が53.7%で最多、直前に使っていた介護サービスでは、介護サービス未利用者を除くと、「通所介護」が26.8%で最多です。2019年3月末現在、小多機利用者は要介護1・2を合計した割合は41.0%で、要介護3・4を合計した割合の43.7%と比較してほぼ同じ。要介護5が占める割合は11.4%となっています。

一方、単体W.Coのデイサービス利用者は、総合事業利用者(要支援1・2)のほかは、要介護1・2の利用者が61%、要介護3・4が34%、要介護5は5%で、軽度と言われる利用者の割合がかなり高く、定員も7~14人、包括報酬制ではないので、事業採算的には厳しい状況であることが伺われます。

同じく、単体W.Coの訪問介護事業についても前年比はほぼ横ばいの100.6%です。地域密着型デイサービスを実施している9つの単体W.Coのうち、訪問介護事業所を併設しているW.Coは6つあり、そのうち居宅介護支援事業所も併設しているW.Coは5つ(横浜市3、川崎市2)です。

生活クラブの6つの生活リハビリクラブの地域密着型デイサービスは3つあり、訪問介護事業、居宅介護支援事業と併せて3事業を実施しているところはそのうち2か所です。福祉クラブ生協では、10のデイサービスのうち地域密着型デイサービスが8ヶ所です。

●W.Coが10年~30年以上かけて培ってきた福祉事業の経験やノウハウ、地域との関係などを活かしながら、組合員アソシエーション等による「居場所・サロン」、子育て支援拠点、親子ひろば、家事介護サービス、配食サービス、移動サービス等、多様な活動の連携による、市民による地域包括ケアシステムのコア(地域拠点)としての小規模多機能型居宅介護事業への事業転換に向け、地域の生活クラブ運動グループが連携し、その推進のためのプログラム(事業モデルシミュレーション、支援体制など)づくりへの議論が望まれます。

資 料 編

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 1. 2020 年度総合事業に関する調査のまとめ（訪問事業・通所事業）他 | p 38 |
| 2. 2020 年度生活クラブ運動グループ「居場所・サロン」調査のまとめ | p 45 |
| 3. 2020 年度コミ・オプ福祉の相互連携等に関する調査のまとめ | p 53 |
| 4. 2020 年度総合事業に関する調査票 | p 59 |
| 5. 2020 年度居場所・サロン場調査票 | p 60 |
| 6. 2020 年度コミ・オプ福祉の地域連携に関する調査票 | p 62 |

2020年度 総合事業に関する調査のまとめ (訪問事業)

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法
1	横浜市	くまさん	訪問	現行相当	有	19	介護保険同様
2	横浜市	ふれあい都筑	訪問	現行相当	有	31	介護保険同様
3	横浜市	たすけあい戸塚	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様
4	横浜市	たすけあい栄	訪問	現行相当	有	46	介護保険同様
5	横浜市	たすけあい栄	訪問	サービスA	有	64	介護保険同様
7	横浜市	みらい	訪問	現行相当	有	18	介護保険同様
8	横浜市	オリーブ	訪問	現行相当	有	8	介護保険同様
9	横浜市	たすけあいせや	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様
10	横浜市	たすけあいせや	訪問	サービスA	有	0	指定は受けたが稼働なし
11	横浜市	たすけあいぐっぴい	訪問	現行相当	有	16	包括からの依頼があれば受けています
13	横浜市	たすけあいぐっぴい	訪問	サービスA	有	0	積極的に受けてはいませんが、該当する利用者ができれば受けます。
14	横浜市	たすけあい磯子	訪問	現行相当	有	24	
15	横浜市	たすけあい磯子	訪問	サービスA	有	13	
16	横浜市	たすけあい心	訪問	現行相当	有	41	
17	横浜市	たすけあい心	訪問	サービスA	有	0	申請は出しているが、対応できるヘルパーがないため、断っている状況
18	横浜市	たすけあい皆人	訪問	現行相当	有	7	
20	横浜市	たすけあいつるみ	訪問	現行相当	有	14	
21	横浜市	たすけあいつるみ	訪問	サービスA	有	0	
22	横浜市	W. Coいずみ	訪問	現行相当	有	25	介護保険同様
23	横浜市	W. Coいずみ	訪問	サービスA	有	19	介護保険同様
24	横浜市	W.Co絆	訪問	現行相当	有	20	介護保険同様
26	横浜市	W.Co絆	訪問	サービスA	有	0	
27	横浜市	W.Coゆいまある	訪問	現行相当	有	14	介護保険同様
28	横浜市	W.Coゆいまある	訪問	サービスA	有	0	
29	横浜市	W. Coさざん	訪問	現行相当	有	12	介護保険同様
30	横浜市	W.Coエプロン・みどり	訪問	現行相当	有	24	介護保険同様
31	横浜市	W.Coエプロン・みどり	訪問	サービスA	有	1	介護保険同様
33	横浜市	W.Coここあ	訪問	現行相当	有	3	

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法
34	横浜市	W. Coいこい	訪問	現行相当	有	22	介護保険同様
35	横浜市	W. Coいこい	訪問	サービスA	有	2	介護保険同様
36	横浜市	W.Coりぼん	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様
37	横浜市	W.Coりぼん	訪問	サービスA	有	3	介護保険同様
38	横浜市	W.Coおひさま	訪問	現行相当	有	12	介護保険同様
40	横浜市	W.Coおひさま	訪問	サービスA	有	3	介護保険同様
41	横浜市	W.Coぴいす	訪問	現行相当	有	18	介護保険同様
42	横浜市	W.Coゆかり	訪問	現行相当	有	7	介護保険同様
43	横浜市	W.Coゆかり	訪問	サービスA	有	0	
44	川崎市	生活リハビリクラブ 鴨居	訪問	現行相当	有	8	介護保険同様
46	川崎市	生活リハビリクラブ 麻生	訪問	現行相当	有	25	介護保険同様
47	川崎市	生活リハビリクラブ 麻生	訪問	サービスA	有	3	介護保険同様
48	川崎市	生活リハビリクラブ 幸	訪問	現行相当	有	19	介護保険同様
49	川崎市	くるみ	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様
50	川崎市	ぱんじい	訪問	現行相当	有	28	介護保険同様
51	川崎市	たすけあいまりん	訪問	現行相当	有	5	介護保険同様、川崎では訪問型サービスという。
53	川崎市	グループとも	訪問	現行相当	有	22	介護保険同様
54	川崎市	こもれび	訪問	現行相当	有		
55	川崎市	こもれび	訪問	サービスA	有	0	事業対象者を1名受け入れたが現行相当のサービスを行う。
56	川崎市	W.Coあやとり	訪問	現行相当	有	16	介護保険同様
57	川崎市	W.Coあやとり	訪問	サービスA	有	0	
59	川崎市	W.Coほほえみ	訪問	現行相当	有	10	介護保険同様
60	川崎市	W.Coほほえみ	訪問	サービスA	有	0	
61	川崎市	W.Coさんさん	訪問	現行相当	有	17	介護保険同様
62	川崎市	W.Coさんさん	訪問	サービスA	有	0	
63	川崎市	W.Coにじ	訪問	現行相当	有	12	介護保険同様
64	川崎市	W.Coにじ	訪問	サービスA	有	0	
66	川崎市	W.Co菜	訪問	現行相当	有	20	

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法
67	川崎市	W.Co葉	訪問	サービスA	有	0	
68	相模原市	はっぴー	訪問	現行相当	有	39	介護保険同様
69	相模原市	はっぴー	訪問	サービスA	有	2	介護保険同様
70	相模原市	ベル	訪問	現行相当	有	20	介護保険同様
71	相模原市	W.Coあいわ	訪問	現行相当	有	27	介護保険同様
73	相模原市	W.Coあいわ	訪問	サービスA	有	0	介護保険同様
74	厚木市	W.Coみんなの手	訪問	現行相当	有	25	介護保険同様
75	厚木市	W.Coみんなの手	訪問	サービスA	有	0	
76	海老名市	あい	訪問	現行相当	有	26	以前からの介護保険と同様に行い、申請等は市へ提出
77	逗子市	こだま	訪問	現行相当	有	13	介護保険同様
79	逗子市	こだま	訪問	サービスB	有	2	補助金事業、1時間1400円、掃除・片付け・買い物等
80	葉山町	生活リハビリクラブ 葉山	訪問	現行相当	有	5	介護保険同様
81	葉山町	くるまやさん	移動	サービスD	有	15	4団体(15人)のサロン事業の予定に合わせコーディネートし送迎を担当 サロン参加者をサロン実施前日までに連絡いただく
82	鎌倉市	W.Coであい	訪問	現行相当	有	53	介護保険同様
83	鎌倉市	W.Coであい	訪問	サービスA	有	0	介護保険同様
84	逗子市	W.Coよつ葉	訪問	現行相当	有	33	介護保険同様
86	藤沢市	W.Coえんじょい	訪問	現行相当	有	30	介護保険同様
87	藤沢市	W.Coえんじょい	訪問	サービスA	有	0	介護保険同様
88	藤沢市	実結	訪問	現行相当	有	36	介護保険同様
89	藤沢市	実結	訪問	サービスA	有	1	介護保険同様
90	藤沢市	ラポール城南	訪問	現行相当	有	12	介護保険同様
92	平塚市	笑顔	訪問	現行相当	有	10	訪問介護・障がいサービスと同様に依頼時、対応できるヘルパーがいたら、可能な限り受けている。分配金は他の事業と同額。
93	平塚市	笑顔	訪問	サービスA	有	34	同上
94	茅ヶ崎市	一心	訪問	現行相当	有	25	介護保険同様
95	茅ヶ崎市	一心	訪問	サービスA	有	12	介護保険同様
96	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ 茅ヶ崎	訪問	現行相当	有	25	介護保険同様

2020年度 総合事業に関する調査のまとめ (通所事業)

	自治体	事業所・W.Co名	事業種別	サービス種別	実施の有無	利用者人数	運営方法
1	横浜市	生活リハビリクラブ 鴨居	通所	現行相当	有	3	介護保険同様
2	横浜市	くまさん	通所	現行相当	有	4	介護保険同様
3	横浜市	たすけあい心	通所	サービスB	有		コロナ禍で回数減、オレンジカフェ休止中
4	横浜市	たすけあい磯子	通所	現行相当	有	8	
5	横浜市	たすけあいぐっぴい	通所	サービスB	有	4	要支援対象者は4名ですがその他の方は1回に8名ぐらいの参加あり
6	横浜市	オリーブ	通所	現行相当	有	3	介護保険同様
7	横浜市	まいそる	通所	現行相当	有	20	介護保険に準ずる(2020年度利用人数減だが1回の時間数増)
8	横浜市	Dayひよし Dayにつば	通所	現行相当	有	4	介護保険同様
9	横浜市	きらり港北	通所	サービスB	有	11	2018年10月より実施。毎週水曜日、午前 要支援2人、65歳以上12人
10	横浜市	Dayふかや	通所	現行相当	有	10	介護保険同様
11	横浜市	Dayいのやま	通所	現行相当	有	7	介護保険同様
12	横浜市	Dayいのやま	通所	サービスB	有	9	
13	横浜市	デイサービスセン ターラポール西寺尾	通所	現行相当	有	4	介護保険同様
14	横浜市	W. Co協会	通所	サービスB	有	3	理事3人と事務局1名、ボランティア3人 コミュニティ食堂や各種講座もこの事業の中に 位置付けている。
15	川崎市	グループとも	通所	現行相当	有	1	介護保険同様
16	川崎市	生活リハビリクラブ 麻生	通所	現行相当	有	15	介護保険同様
17	川崎市	生活リハビリクラブ 麻生	通所	サービスA	有	0	介護保険同様
18	川崎市	生活リハビリクラブ 幸	通所	現行相当	有	2	介護保険同様
19	川崎市	Dayかしまだ	通所	現行相当	有	8	介護保険同様
20	相模原市	生活リハビリクラブ 橋本	通所	現行相当	有	5	介護保険同様
21	葉山町	生活リハビリクラブ葉 山	通所	現行相当	有	10	介護保険同様
22	鎌倉市	Day大町いしだ Dayサロンはる	通所	現行相当	有	12	介護保険同様
23	藤沢市	Dayいちいの木	通所	現行相当	有	2	介護保険同様
24	藤沢市	地域介護サービス センターラポール藤 沢	通所	現行相当	有	14	介護保険同様
25	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ 茅ヶ崎	通所	現行相当	有	3	介護保険同様
26	平塚市	TOMO	通所	現行相当	有	1	介護保険同様

2020年度 総合事業に関する調査のまとめ (その他生活支援サービス・一般介護予防)

	自治体	事業所・W.Co名	その他生活支援サービス				一般介護予防			
			栄養改善	見守り	生活支援	運営方法	事業名	登録利用者/ 月	内容	運営方法
1	横浜市	W.Coにんじんつつじが丘	4			要支援の方でケアプランにお弁当利用と記載されている方5人の利用が目安で、年間60万円の補助金交付	横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業(配食支援)			
2	逗子市	W.Coこだま					逗子市地域介護予防活動	15	・手芸・トランプ・麻雀	こだまメンバーの賛助会員で運営。2021年度は市の補助金申請はせず、会費とこだま資金で運営
3	藤沢市	ラポール城南					藤沢市地域介護予防活動支援事業	30	介護予防教室(軽体操、脳トレ)	藤沢市からの委託業務。法人内の在宅介護支援センター事業の一部として実施している。
4	川崎市	W.Coメロディー					川崎市住民主体要支援者支援事業(川崎市委託事業)			メロディーココにて実施
5	川崎市	W.Coぱんじい					川崎市住民主体要支援者支援事業(川崎市委託事業)			たまり場ぱんじい、ぱんじいひろば
6	茅ヶ崎市	生活クラブ(W.Coのびのび)					転倒予防教室(茅ヶ崎市委託事業)			

2020年度 生活クラブ運動グループ「居場所・サロン」調査のまとめ

2020年3月現在 参加型福祉研究センター

No.	実施主体	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年		事業高/年		事業高/年		合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容・備考
								(助成)	(助成元名)	(委託事業)	(委託元名)	(自主事業)	主な収入項目							
1	横浜市緑区	W.Coくまさん	花ようサロン	介護予防	高齢者	鶴居地域ケアプラザ	横浜市緑区鶴居5-29-8(地域ケアプラザ)有料	80,000	緑ふれあい助成金(緑区社協)	0			80,000	111,480	年数回・縮小し内容変更	無料	特定メンバー	1人・3h分 3人・2h分 41492円	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数は、3回、人数は制限して企画内容は、折り紙・押し花等の作品作り	
2	横浜市緑区	W.Coくまさん	くまさんサロン	交流	子ども(親子)・地域住民		横浜市緑区白山3-1-9	0			0		0	0	年数回・感染防止のため中止	有料(食事代)	希望者を募る	1回目 8370円 2回目 7864円 計16,234円	地場野菜を使ったカラーライスを大人300円・子ども100円で提供	
3	横浜市緑区	生活リハビリクラブ鶴居運営会議(組合員とW.Co(ひまわり))	鶴カフェ(日曜日の居場所)	交流	誰でも	ボランティア	横浜市緑区鶴居町2430-1	0			0		0	0	月1回・コロナ禍のため中止	有料(参加費100円・お茶代100円)	特定メンバー	無し	参加費100円、お茶代100円 地域の方のお茶のみの場合として講座(ヨガ)開催後、コーヒーを飲んでいただきます。	
4	横浜市緑区	生活リハビリクラブ鶴居運営会議(組合員とW.Co(ひまわり))	こどもごはん	子ども食堂	子ども(親子)	アソシエーション	横浜市緑区鶴居町2430-1	0			0		0	0	月1回・コロナ禍のため中止	有料(お茶・お菓子代200円) 大人300円、子ども100円	特定メンバー	無し	アソシエーションでらこや(学習支援団体)と共催で「こどもごはん」を開催。子どもと一緒に調理し、昼食をとる。	
5	横浜市緑区	緑地域協議会準備会	るるる*サロン	交流	誰でも		るるる*緑館								月1回第4日曜日AM 緊急事態宣言下は中止	有料(お茶・お菓子代200円) コロナ禍無料	組合員+ボランティア	無し	組合員・地域の方と作る「歌声広場」方へ活動を知らせる。居場所づくり	
6	横浜市緑区	緑地域協議会準備会・十日市場777プラザ	るるる*カフェオアンス	居場所	誰でも		るるる*緑館								月1回第4日曜日PM 緊急事態宣言下は中止	有料(お茶代100円) コロナ禍無料	組合員+ボランティア	無し	ケアプラザと共に企画。地域の方への居場所づくり。	
7	横浜市緑区	緑地域協議会準備会	るるる*キッチン	その他(食の広報)	誰でも		るるる*緑館								年3~4回 コロナ禍のため中止	有料(材料費)	組合員+地域の方	無し	地域に消費材の良さを知らせる	
8	横浜市青葉区	青葉連絡会議	サロン	交流	誰でも		家事介護W.Coここあ事務所								月1回	無料	リーダー層+α	無し	組合員、地域の方に活動・拠点知らせる。消費材の紹介や健康チェックも実施	
9	横浜市青葉区	W.Coバレット	青葉区子育て支援拠点ラッフルラッフルサテライト	子育て支援	子ども(親子)	横浜市・青葉区	青葉台1-4 ラッフル市ヶ尾町1152-25サテライト		70,489,088	横浜市		70,489,088	68,947,136	週4日以上	無料	全員が交代で	年間41219580円		横浜市地域子育て支援拠点事業 ・ひらば(居場所の提供) 子育て相談 ・青葉区内の子育て情報の収集と提供 ・地域で子育てを支え合うネットワークづくり ・子育てに関する研修会や講座開催を通じた人材育成 ・横浜子育てサポートシステム青葉区支部事務局 ・横浜子育てハートターと呼ばれる相談専任スタッフの配置	
10	横浜市青葉区	W.Coバレット	親と子のつどいの広場びよびよ	子育て支援	子ども(親子)	横浜市・青葉区	青葉区あざみ野南2-4-8・207 貸金庫有料	6,603,265	横浜市		90,112	利用料・イベントなど	6,693,396	6,625,948	週4日以上	有料 年間登録1000円、利用料1か月券1000円1回券200円	全員が交代で	年間3082913円		横浜市補助事業 親と子のつどいの広場 ・子育て親子の交流、つどいの場の提供 ・子育てに関する相談の実施 ・地域の子育て関連情報の収集・提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習の実施
11	横浜市青葉区	W.Coバレット	親と子のつどいの広場ふーしえすた	子育て支援	子ども(親子)	横浜市・青葉区	青葉区美しが丘1-12-18-101 貸金庫有料	6,598,000	横浜市		181,950	利用料・夏祭り・イベントなど	6,779,984	6,683,852	週4日以上	有料 年間登録1000円、利用料1か月券1000円1回券200円	全員が交代で	年間3271550円		横浜市補助事業 親と子のつどいの広場 ・子育て親子の交流、つどいの場の提供 ・子育てに関する相談の実施 ・地域の子育て関連情報の収集・提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習の実施
12	横浜市青葉区	ちかまるLabo	ちかまるlabo	交流	近隣住民	あり	カフェぐらんあみ駐車場 横浜市青葉区松風台21-9	62,000	生活クラブ神奈川居場所アソシエーション交流基金		16,528	フリーマーケット、ワークショップ参加料など	76,400	76,400	月1回	無料	メンバー4名	あり(1回300円)		フリーマーケット、防災講座(ホリ袋炊飯など)、ワークショップ(しめ縄作り)、花・苗交換会、エコワークショップ(マスクケース、新聞紙ゴミ袋作り)
13	横浜市都筑区	W.Coふれあい都筑	ふれあいサロン	交流	地域住民(高齢者・誰でも)		横浜市都筑区荏田南5-8-17(自前・貸金庫)								0	年数回・コロナ禍のため中止	無料	全員が交代	無し	近くの障害者施設で年2回コンサートなどイベントを行う
14	横浜市都筑区	W.Co 円	リフレッシュサロン	交流	高齢者・その他(ご家族・付き添い・活動ボランティアなど)		横浜市都筑区中川中央1-39-11L&S ハウス港北内(水産光臨費)	0	横浜市社協 ふれあい助成金30万円を返金		0		0	0	週1回・コロナ禍のため中止	有料(300円)	特定メンバー(60歳以上)	担当手当て 月2000円×8人	コース 手芸 映画鑑賞 脳トレ お茶の会など	
15	横浜市都筑区	おおまる食堂	おおまる食堂	子育て支援、交流	子ども(親子)、誰でも	大丸子ポー運営委員会	貸し金庫(無料) 大丸子ポー集金室 横浜市都筑区大丸22-6	100,000	生活クラブ神奈川居場所アソシエーション支援基金		40,000	イベント・企画・寄付	140,000	30,000	年数回・内容変更	無料	全員が交代で	あり	コロナ禍で食堂など「集まる企画」が開催できなかったため、お弁当配布(500円相当を100円で)、親子工作キット販売を行いました。21年度にはワークショップ開催も企画しています(6月時点で1回開催済)	
16	横浜市港北区	桃組	桃組	食食、交流	誰でも	なし	オルタナティブ生活館 横浜市港北区2-8-4								0	2020年度は実施なし				
17	横浜市港北区	W.Coパートナーメンバーと地域住民	華の会	交流	主に町会住民		横浜市港北区高田西3(高田町会研修所)	0		0			0	0	月1回・内容変更し実施	無料	参加者全員	無し	閉鎖会・体操・歌・ウクレレ・好きなこと・13時半から15時半会場費は免除されている 研修所が借りられた6月~1月は開催した。 コロナ禍で台所が使用できないため、飲み物、おやつを提供を中止。コロナ対策を心掛け、閉鎖会、近況報告、を行った。終了時間を早めた。	
18	横浜市港北区	住まいのワークス・コレクティブ+one	ほっと菊名サロン	交流	誰でも	菊名コミュニティハウス多目的室(無料)	0							0	年数回・コロナ禍のため開催見送り	有料(材料費・保険料の実費)	特定のメンバー	無し	地域の人が出ない、つながらず、健康で生き生きと暮らすお手伝いをする。交流の場を作る。2020年度は、計画をたてましたが、コロナ禍の状況のため、開催を見送りました。	
19	横浜市港北区	子育て支援 W.Co monami	わっとほーむ	子育て支援	親子		横浜市港北区新横浜2-8-4 4階 わっとほーむ	400,000	横浜市社協 ふれあい助成金		591,338	利用料・イベント参加費 他事業(託児事業)収入	991,338	528,338	週2~3回	有料 登録料年500円、利用料1回300円 その他お弁当チケット有	全員が交代で	1時間300円と交通費	季節ごとのイベント(父の日工作 敬老の日工作 ハロウィンお菓子作り クリスマスカード作りなど)	
20	横浜市港北区	W.Co路	うえるびーサロン	交流	高齢者		横浜市港北区日吉5-21-31 日吉センター	0		0	1,286,000	福祉クラブ	1,286,000	1,286,000	月10回程度以上	1000円/1回	全員が交代	720円	組合員対象、高齢世代の生き甲斐・活躍の場とした目的、企画内容により利用金額は異なる。 ※履修費、パートウォッチングや放棄等、詳しい方を講師に企画として開催している。	
21	横浜市港北区	港北地域協議会	ふく茶きりり	交流	高齢者	地域包括支援センター	きりり港北	300,000	横浜市(年間80万円)				300,000	300,000	月4回	無料	リーダー層+α	無し	横浜市総合事業通所日	

	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年		事業高/年		事業高/年		合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容・備考
							(助成)	(助成元名)	(委託事業)	(委託元名)	(自主事業)	主な収入項目							
22	横浜市港北区	港北地域協議会	カフェローズ	交流	誰でも	組合員宅					49,680	福祉クラブ	49,680	49,680	月1回	有料(100~300円)	リーダー層+α	無し	体験や講座、お茶
23	横浜市港北区	港北地域協議会	サロンみち	交流	誰でも	地域包括支援センター					49,680	福祉クラブ	49,680	49,680		有料(100~300円)	リーダー層+α	無し	体験や講座、お茶
24	横浜市鶴見区	ひのきごはん	ひのきごはん	会食	誰でも	生活クラブつるみ commons運営委員会	100,000					生活クラブ神奈川事務局アソシエーション支援基金			月1回	大人500円、こども300円	特定のメンバー	なし	多世代が集まって一緒にごはんを食べることでそれぞれの居場所となる。居場所を交えるボランティアとして活動する人にとっても居場所となることを目指す。月に一度の開催。コロナ禍でスタートは遅れましたが、試行錯誤して開催を続けております。試しに始めたテイクアウトは好評で、時間内には参加不可能だった方や会食を気にする方にも利用いただけて、元々目指していた方向性から少し離れるけれど、誰かの役に立っているならそれでよしという意見で一貫しております。コロナ禍で楽しみが減っている中、ひのきごはんに来ておしゃべりできる事を喜んで下さる参加者の皆さんに支えられて楽しく活動しております
25	横浜市鶴見区	お母ちゃん学	BOUSAIいしばしカフェ	交流	誰でも	つるみ commons 運営委員会	100,000					2019年2月に生活クラブ現場前アソシエーション支援基金			週1回 2020年度は実施なし	有料(会場費、材料費)	全員が交代で	なし	防災講座開催、災害食づくり、防災マップづくり、オンライン交流会
26	横浜市鶴見区	W.Coたすけあい つるみ	さろんえんがわ	交流	誰でも	横浜市鶴見区馬場 2-12-21	100,000						100,000	50,000	月1回 第1土曜	有料 1回100円	特定メンバー	無し	9:00~12:00 麻布・作品作り・映画会、年間経費は、主に材料費、講師謝礼
27	横浜市神奈川区	神奈川地域協議会	リアンカフェ	交流	誰でも	地域包括支援センター					64,000	福祉クラブ	64,000	64,000	月2回	有料(100円)	リーダー層+α	無し	試食や体操、健康チェック
28	横浜市神奈川区	NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会	反町カフェほらん	会食(子ども食堂、会食会、交流、認知症サポート、カフェ事業、総合相談、就労支援、横浜市就労準備の事前講座)	子ども、高齢者、生活困窮者、誰でも	生活クラブ横浜みなみ、福祉クラブ、ケアプラザ、神奈川区役所、区社協、地域の中学校、NPO法人まなひら(鶴見区で学習支援をしているがほらんではスマホ講座の講師、NPO法人精神保険福祉を推進する神奈川の会青桐茶房、NPO法人RDP横浜(依存症支援の団体)	1,800,000		300,000			横浜市健康福祉局高齢健康福祉部地域包括ケア推進課	71,240		週4日以上	有料(ランチなので基本的には有料 コミュニティ食堂)	特定のメンバー	あり(リーダーは協会の雇用、それ以外は有償ボランティア)	カフェ事業を中心とした居場所事業。横浜市就労準備支援事業の事前講座会場としても利用
29	横浜市保土ヶ谷区	W.Coくっ(SUN+W.Coむすび)いきいき福祉社会	オレンジカフェ「ミツ沢サロン」	認知症サポート	地域の高齢者とその家族	いきいき福祉社会 W.Coむすび	—	—							年5~8回・コロナ禍で中止	200~300円	特定メンバー	組織活動費800円/1時間 むすびは1000円/1時間	防災食について学んで試食 し作り、余暇活動 おしるこを食べながら談話
30	横浜市保土ヶ谷区	W.Coくっ(SUN+W.Coむすび)	ラポールラウンダー	交流	誰でも 高齢者	いきいき福祉社会 W.Coむすび	—	—							2か月に1回程度・コロナ禍で中止	150円お菓子代含む	特定メンバー	組織活動費800円/1時間	DVDを借りて上映。終了後お茶で歓談。
31	横浜市中区	あんぐりもんぐり	リトルファーム HOMMOKUもくり	会食、交流	誰でも	なか commons	100,000				89,400	食事会	189,400	183,000	月2~3回 2020年度は半年のみ	大人中心の食事会は700~800円、子ども中心の企画は無料	全員が交代で	なし	畑で作った野菜を参加者で収穫して食べる食事会。(コロナ感染予防のため2020年4.5月、2021年1~3月中止) ・蕎麦職人さんを講師に招き、蕎麦を打つところを見学したあと打ち立て蕎麦を食べる会(畑の野菜の天ぷらを付き)(上記と同じ4.5と12.3月中止) ・お菓子を持ち寄り親子でおやつタイム ・春休みおむすびタイム(こどものための給食が無い日のお昼ご飯)
32	横浜市西区	W.Coたすけあい ぐっぴい	サロン「ばあばの家あさだ」	交流	誰でも	地域ケアプラザ・西区社協・西区地域活動支援センター・第4地区社協	276,764		0		65,300	利用料・昼食代・サポート会費	342,064	789,950	週1回	有料 午前中100円、午後100円	特定メンバー	1,100円/回	多世代交流サロン
33	横浜市西区	W.Coたすけあい ぐっぴい	ぐらんまのいえ	子育て支援	親子	地域ケアプラザ・地域の子育て事業者・西区役所	3,811,000		0		59,100	利用料	4,836,680	4,702,024	週3回	有料 200円	全員が交代で	1,100円/1時間	親と子のつどいのひろば事業
34	横浜市西区	W.Coたすけあい ぐっぴい	サービSB	介護予防	高齢者	地域ケアプラザ・町内会・西区社協・西区役所	600,000		0		21,100	利用料・昼食代	621,100	621,100	週1回	有料 200円	特定メンバー	コーディネーター 1,300円/回	要支援者・高齢者の介護予防 参加費1回200円
35	横浜市栄区	W.Coたすけあい栄	たまり場	交流	正会員とOG/知人		0		0		0		0	0	月1回	無料	全員が交代で	無し	正会員と退会OG、その知人の交流の場
36	横浜市栄区	栄子育て支援W.Coスキップ	スキップひろば	子育て支援	子ども(親子)										月1回	無料(企画により材料費)	リーダー層+α	無し	親子ひろば
37	横浜市栄区	栄地域協議会	いのやまサロン	交流	高齢者	地域包括支援センター	490,220					横浜市(年間60万円)	490,220	490,220	月4回	無料	リーダー層+α	無し	横浜市総合事業通所日
38	横浜市戸塚区	W.Coたすけあい 戸塚	ふれあい広場よつば	子育て支援、交流、その他各種イベント・バザー月1回、不定期年2回	誰でも	横浜市戸塚区上倉田町391-5 T&Rハウス1階	410,000		0		0	横浜市社協 ふれあい助成金(400000円) 戸塚区社協会員加算(10000円)	410,000	1,756,000	月~金 13:00~16:00半年は実施なし	無料・有料(企画により材料費100~300円)	リーダー層・層メンバー	1,100円/回	折り紙月1回、編み物月4回、麻布月2回、親子サロン月1回、バザー月1回、介護相談日でしたが半年は、緊急事態宣言中は開催出来ませんでした。おりがみサロンと編み物は、対策を取りながら何とか出来たところまで。

	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年		事業高/年		合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・か かり方	参加スタッフのフ ーク代	企画内容・備考
							(助成)	(助成元名)	(委託事業)	(委託元名)							
39	横浜市 戸塚区	W.Coまいそる	健康マー جان の会	交流	誰でも	戸塚区上柏尾町 244番地デイサロ ン花りん(貸会場1 回500円)デ ィサービス休み時フ ィア活用	0	0			0	0	月2回・コロナ禍 のため中止	有料(フイー ィ使用料500円)	全員が交代	1,000円/回	第2 第4日曜日 健康マー JAN
40	横浜市 戸塚区	W.Coまいそる	「花りんの木 の下で」	交流	誰でも	地域包括職員 近隣民生委員	0	0			0	0	年数回・コロナ のため中止	有料 100~500円	地域福祉 担当者	1人1,000円/回	
41	横浜市 戸塚区	W.Coまいそる	フイーカーサ (高齢者専用賃 貸住宅)活用	交流	誰でも	地域の施設 民生委員	0	0	1室事務所の 無償提供	横浜市住宅 供給公社		370,000	月1回・コロナ のため中止	有料(カレー300円)	地域福祉 担当者	生活援助員 1日(9~4)3,500円	年間経費は、生活支援員人件費として年間約37万円
42	横浜市 戸塚区	W.Coみんなの家	オープンデ ィ	交流	誰でも	Dayふかや	0	0	0	0	0	0	月3回 コ ロ ナ 禍 に よ り 休 止	無料	リーダー層+α	無し	地域の居場所拠点やディサービスの紹介を通しての地域交流
43	横浜市 戸塚区	戸塚地域協議会準備会	まるごと おしゃべり カフェ	交流	誰でも	藤沢センター	0	0	0	0	0	0	月1回 コ ロ ナ 禍 に よ り 休 止	無料	リーダー層+α	無し	地域交流
44	横浜市 戸塚区	戸塚地域協議会準備会	にじいろカフェ	交流	誰でも	藤沢センター	0	0	0	0	0	0	月1回 コ ロ ナ 禍 に よ り 休 止	無料	リーダー層+α	無し	地域の子育て拠点の紹介を通しての地域交流
45	横浜市 戸塚区	ハザバ	Mommy's Union	子育て支援	子ども(親子)	あり	東戸塚デポ一集 会室	84,145	生活クラブ神奈川居 場所アシエーション 支援基金		84,145			無料	全員が交代で	なし	
46	横浜市 港南区	港南たすけあい心	コミュニテ ィルームここ	交流(誰も居 くつろげる居 場所づく り)	誰でも	横浜市介護予 防・生活支援 サービス補助事 業	2,300,000	横浜市介護予 防・生活支援サ ィサービス補助 助金	横浜市	1,000,000	3,300,000	3,200,000	コロナ禍で回数 減、オンラインカ フェ休止中	有料(教室参加費 等)	全員が交代 港 南たすけあい心 のメンバーが加 わりました	有 1時間800円	現在、麻産、歌声喫茶、オンラインカフェは休止中。食事はテイクア ウトに変更。
47	横浜市 港南区	NPO法人ワークーズ・コ レクティブ協会	居場所ほらん	就労準備講 座会場として	生活困窮者	無し	マンションの一室 を借用 横 浜市港南区港南 中央2-17-429 パークコートア ブルックコート429号	10,000	家賃1万円(水 光熱費込) 横浜市(就労準 備支援事業の 中の事前講座)				週1回	無料	リーダー層	あり(制度の中か ら)	今は講座会場のみとして利用している。
48	横浜市 金沢区	W.Coオリーブ	NOAHサロ ンミニコンサート	交流	高齢者	横浜市金沢区 柳町3-16	0	0	0	0	0	9,342	年数回・コロナ のため中止	有料(参加費200円・ その他材料費)	特定メンバー	当日1.5h×984円、 3人	レクレーション、運動、歌、ゲーム、制作等
49	横浜市 金沢区	W.Coオリーブ	NOAHサロ ン	交流	高齢者	横浜市金沢区 柳町3-16	0	0	7,900	7,900	4,231	年数回	有料(参加費200円、 その他制作の場合 は材料費)	特定のメンバー	1年を通して当日1.5 h×1012円×5日× 2人	レクレーション、運動、歌、ゲーム、制作等	
50	横浜市 磯子区	W.Coハッピーママ プロジェクト	親子のひろば だっこ	子育て支援	親子	横浜市磯子南5- 16-15 丸八ビル101	5,248,000	横浜市	77,075	5,325,075	5,325,075	週4回以上	有料 利用料1日会 員200円	全員が交代で	シフト制・時給制に よる賃金支払い	親子が安心して過ごせる居場所の提供	
51	川崎市 麻生区	W.Co こもれび	ザ・キルト	交流	パッチワーク好 きな人	麻生区東百合丘 3-2-7生活リハビ リクラブ麻生2階 会議室	0	0	0	0	0	4,928	月1回	有料(100円)	特定のメンバー	担当者1名 1000円/月	パッチワークの好きな人が集まり、おしゃべりしながら楽しく各自持ち 寄ったパッチワークを行う。地域のたまり場の役割をしている。
52	川崎市 麻生区	麻生運営会議(生活 リハビリクラブ麻生)こもれ び	カフェ ひなたぼっこ	交流	誰でも	認知症サ ポート、地域 のたまり場	0	0	0	0	0	22,600	月1回・コロナ のため中止	有料(100円と材料 費)	全員が交代、別 途担当1名	担当者:2000円/月	折り紙、ボーリング大会、バステレシヤンアート・フラダンス、流しそう めん、笑いヨガ、新聞紙でバッグを作る・カラオケ・クリスマスの飾りづ くり&ケーキを作って食べる・新春お茶会・マーメイドづくり
53	川崎市 麻生区	麻生運営会議(こもれ び)	ワイワイごはん	会食 交流	誰でも	百合丘地域包括 支援センター	0	0	0	0	0	0	隔月・コロナ のため中止	有料(大人300円、子 ども100円)	全員が交代 別 途担当者1名	無し	ちらし寿司・餃子づくり・防災クッキング・牛乳いっぱいシチュー・豆乳 鍋
54	川崎市 麻生区	麻生運営会議(こもれ び)	ワイワイカフェ	会食 交流	誰でも	百合丘地域包括 支援センター	0	0	0	0	0	0	隔月・コロナ のため中止	有料(150円)	特定のメンバー	無し	トライフル・まぜまぜデザート・どら焼き・蒸しパン・お汁粉
55	川崎市 麻生区	W.Coグループとも	居場所事業	交流	誰でも	川崎市麻生区王 禅寺西3-26-6	300,000	赤い羽根	0	58,300	358,300	1,299,677	週2~3回	有料(企画により100 ~300円)	7つある会に担 当を2~4人決 め、毎年交代し ていく仕組み	1000円/回	居場所での趣味のサークル・絵手紙・麻雀、体操、折り紙の会・手芸 の会・菓の花会・ほおずき
56	川崎市 多摩区	W.Coくるみ	くるみカフェ	交流	誰でも	地域包括支援セ ンター	0	0	0	0	0	0	月1回・コロナ のため中止	有料 200円	有志	無し	居場所での趣味のサークル、講演会、コンサート、茶話会、 折り紙、かるた、絵手紙等
57	川崎市 多摩区	W.Coくるみ	地域交流会	交流	誰でも	くるみ事務所 事務所隣の会 議室を無料で お借りする	0	0	0	0	0	0	年4回・コロナ のため中止	有料 500円	全員が交代	担当者のみ2000 円、交通費400円	フラダンス・ビンゴ大会・サンソニミニコンサート・ 手品ショー
58	川崎市 中原区	W.Coばんじい	ばんじいひろば	交流	高齢者	地域包括支援 センター	0	7,700	川崎市(住民 主体による要 支援者等支援 事業)	4,400	12,100	331,000	月1回	有料(200円)	特定のメンバー	有、実働分	季節のカレンダー(花火)、体操、脳トレ、ボーリング、テーブルゲ ーム、運動会、折り紙で作る(紫陽花、向日葵、クリスマスツリー、雪置 き・着せ) 年間経費の331,000円はたまり場、ひろばの合計。
59	川崎市 中原区	W.Coばんじい	ダブルケア カフェ	交流	誰でも	地域包括支援セ ンター	0	0	0	0	0	0	年数回・コロナ のため中止	無料	リーダー層	有、実働分	運動会、折り紙で作る(紫陽花、向日葵、クリスマスツリー、雪置

	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年			合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制-かわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容-備考						
							(助成)	(助成元名)	(委託事業)								(自主事業)	主な収入項目				
60	川崎市中原区	W.Coばんじい	たまり場ばんじい	交流	高齢者	上平間第三町会地域包括支援センター			132,000		川崎市(住民主体による要支援者等支援事業)	0	132,000		ばんじいひろばにきむ	3月回	無料	特定のメンバー	有、実働分	体操、脳トレ、カレンダー作り、教談など。年間経費はひろばと合わせて331,000円。		
61	川崎市宮前区	W.Coキャンディ学童クラブどれみキッズ	みやぎたいこどもカレッジ	子育て支援 会食 交流	誰でも	無し	キャンディ内施設や公園など	200,000			川崎市の「子ども子育て活動支援助成金」から学童事業に對し		343,650	543,650		各種イベント参加費、材料費	543,650	2月回	有料参加費	全員が交代	有	子ども達が地域に見守られながら育っていくための挑戦として、「まち全体」をキャンパスにしたと、そこに暮らす「人」や日常的な様々な地域資源を生かして、「子育て」を豊かにし、みんなで安心して子育てを楽しむまちづくりを目指していく。
62	川崎市宮前区	かわさき生活クラブ生協理事會 ふれあい広場推進協議會(キャンディ・生活クラブ)	親と子のふれあい広場・ふれあいデイ	子育て支援	親子	生活クラブ	川崎市宮前区宮崎2-1-1生活クラブ高津センター3F・屋上	0	0	54,600	第2第4木曜の広場参加費6400円 年3回の土曜イベント参加費0円		54,600	1,100		有料(親と子のふれあい広場 1組200円、ふれあいデイ イベントにより代金が平均1組800円、賛助会員は無料)	親と子のふれあい広場月2回、ふれあいデイ年3回・縮小	特定のメンバー・リーダー層	有	2020年度は、上記の予定のうち、6回のみ開催。高津センターを拠点に子育てしやすい環境を組合員が自ら考え、子育て中のママや子育てに関わる人の居場所づくりやたすけあいのネットワークを広げる事をめざし、地域の親子が楽しいコミュニケーションを図るための居場所です。 保育士による手作りおもちゃの紹介、パネルシアター、読み聞かせ、ふれあい遊びなど楽しい企画を用意しています。年間経費は材料費のみ。		
63	川崎市宮前区	W.Coオプティ連主催	ふらっとカフェ	交流	誰でも		※空き事務所(家事介護W.Coさんさん事務所並び)										月1回	無料	リーダー層+α	無し	組合員、メンバー、地域の方が交流、情報交換の場として開催。消費材の紹介や健康チェックも実施	
64	川崎市高津区	W.Coびすけっと	親子サロン	子育て支援	親子		ニ子こども文化センター川崎市高津区二子5-14-11				コロナ禍のため実施せず		0	0			月1回・コロナ禍のため中止	無料	全員が交代	保育ワークの一環として	「わらべ歌と絵本で子育て」や「救急処置講習会」等テーマを決めて外部講師を招き、10:00~11:30まで親子で過ごしてもらう。	
65	川崎市高津区	W.Coびすけっと	親子ひろば	子育て支援	親子	(高津区役所地域みまもりセンター・保育所等、地域連携一講師派遣、ニ子こども文化センター、共催団体・無料の貸し会場)	川崎市高津区溝口3-22-43 保育室びすけっと				コロナ禍のため実施せず		0	0			月1回(前期のみ)コロナ禍のため中止	5回企画のうち、企画内容により3回を有料とした。また資料代として200円。	全員が交代	あり	「絵本の読み聞かせ」や「離乳食講座」「子どもの歯と歯みがきの話」等、テーマを決めて当保育室の保育士だけでなく、高津区役所地域みまもりセンター(保育所等・地域連携)の栄養士や歯科衛生士に講師を依頼し、10:00~11:30まで子育て相談を兼ねて親子で過ごしてもらう。また、「幼稚園遊び・保育園遊び」や「親子でトミック」は参加費無料としたところ、たくさんの申込み・参加があった。	
66	川崎市高津区	高津まちづくりフォーラム	いちごカフェ	交流	誰でも		たかつデポ一運営委員会										月1回 2020年度は10月、11月、12月の3回のみ実施縮小	1人100円	全員が交代	なし	おしゃべりと手仕事(編み物など) コロナのための飲食はなし	
67	川崎市幸区	W.Coメロディー多世代の居場所メロディーココ運営協議會	多世代の居場所メロディーココ	すべて要支援者支援事業	誰でも		川崎市幸区南幸町4-21エーステート1F	2,190,000	70,000	3,600,000	かながわ生き生き市民基金エラベル100万円、こども食堂運営継続応援プロジェクト6万円、生活クラブ神奈川ワーカーズ・コレクティブ支援カンパ30万、全国職支援活動協力会、国家貸付金83万	川崎市住民主体要支援者支援事業		4,500,000	5,000,000		週4日以上	有料 ココ食堂大人300円 子ども100円、コミュニティカフェラン チ600円	その他(具体的:地域ボランティア、メンバー)	無し	ふまねっと運動、ココカルチャー、フリーマーケット、手品、寄席、健康体操、多世代のココ食堂、	
68	川崎市多摩区	W.Coかりん	かりん倶楽部	会食	高齢者		川崎市多摩区				中止						月1回・中止	有料 食事でとして500円	特定メンバー	有	体操、管で歌をうたう、手芸、折り紙など季節の行事にあわせた物を作る。	
69	相模原市	W.Coベル	茶話会	会食	誰でも		相模原市南区東林間5-6-6ベル事務所	0	ベルより	0	コロナ禍のため中止		0	0			年6回・コロナ禍のため中止		理事中心で他のメンバーも参加	1,000円/回	ハモニカ演奏、歌、健康体操、その日の催し(例 母の日なら母の思い出を語る)	
70	相模原市	W.Coはっぴー	ご近所体操はっぴー	その他(軽運動+体操+太極拳)	誰でも		相模原市緑区二本松1-17(道の湖公園)	0	0	0		0	48,000	0			月2回	無料	特定メンバー	500円/回	毎月第1・第3水曜10:00~10:30 道の湖公園で体操と太極拳を実施。	
71	相模原市	橋本運営協議會(W.Coむすびつて)	子育ててひろば「ここここ」	交流	子ども(親子)		生活リハビリクラブ橋本事務所	0	運営協議		感染対策のため中止		0	0			月1回・感染対策のため中止	有料(10~400円)	特定メンバーとリーダー層	無し	未就園児を遊ばせながら、子育て中のママがゆったりとくつした時間を過ごす。そんな中で子どもと向き合う時間を大切にしよう。	
72	相模原市	福祉クラブ生協相模原推進協議會	「ミモザの食卓」	交流	誰でも		家事介護W.Coあいわ事務所				新型コロナウイルス感染症防止により		0	0			月1第3土曜日コロナ禍により休止	無料	リーダー層+α	無し	消費材を活用した調理講座を通しての交流企画	
73	海老名市	こもれびの家	こもれびの家	交流	だれでも	あり	自前の会場海老名市中新田1-11-11	100,000		10,920	生活クラブ神奈川居場所アソシエーション支援基金(2020年2月)	10,920	110,920	67,800			週1回 2020年度は実施なし	無料	全員が交代	なし	参加者、スタッフどうのおしゃべり、折り紙等	
74	厚木市	W.Coくれよん	くれよんおやこひろば	子育て支援	子ども(親子)		オンラインで実施	100,000		0	地域育児センター事業補助金	0	100,000	120,000			月2~3回・オンラインで実施	無料	特定メンバー	有	・ベビーマッサージ(外部講師)・わらべうた・のたのいきまようつ(企画もの)・おしゃべりひろば 年間経費は、12万円+スタッフ人件費	
75	厚木市	W.Coくれよん	だがしや	小学生の土曜日の居場所	子ども(親子) 小中高生		厚木市飯山2120-1 園庭中心	0			コロナ禍のため中止		0	0			年数回・コロナのため中止	有料 駄菓子子を原価販売、無料提供おやつ有	特定メンバー	無し	小学生を中心に地域の方や幼児が気軽に集える場をつくる。駄菓子販売は集うきっかけとなれば始める。2時間程度開いていて、ボランティア(職員)による絵本の読み聞かせやDVDの上映、ボードゲームや囲碁・将棋盤などを用意。	
76	厚木市	厚木連絡協議	土曜カフェ	交流	誰でも		家事介護W.Coみんなの手事務所				新型コロナウイルス感染症防止により		0	0			月1回 コロナにより休止	無料	リーダー層+α	無し	地域交流	

No.	市町村	運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年			合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容・備考				
								(助成)	(助成人名)	(委託事業)								(委託人名)	(自主事業)	主な収入項目	
94	鎌倉市	鎌倉地域協議会	ゆうゆうカフェ	交流	誰でも		スペースゆう										毎週水曜 日午後 会場がなく休止				
95	鎌倉市	W.Coどんぐり	どんぐりひろば	子育て支援	子ども(親子)		どんぐり保育室				0						月1回 コロナ 禍により休止				
96	鎌倉市	W.Coひだまり	陽だまりクラブ	交流	誰でも		コア大町										月1回 コロナ 禍により休止				
97	鎌倉市	W.Coピアノ	ピアノサロン	交流	高齢者		鎌倉市5-2-3 鎌倉センター	0	1,070,820	福祉クラブ	1,070,820	1,153,145	月10回程度以上	1000円/1回	全員が交代	720円	組合員対象、高齢世代の生き甲斐・活躍の場とした目的				
98	藤沢市	W.Co宙	サロnde宙	交流	高齢者	藤沢センター	藤沢センター	0	-	392980	福祉クラブ	0	0	392,980	378,403	月10回程度以上	1000円/1回	全員が交代	720円	組合員対象、高齢世代の生き甲斐・活躍の場とした目的	
99	藤沢市	藤沢市地域の縁側「ばらそる」運営委員会(美緒)	ばらそる	交流	誰でも	生活科学運営・ 生活クラブ湘南 W.Co美緒・W.Co 花もめん・W.Coお れんじ	藤沢市羽鳥1-1- 60 ライフ&シニ アハウス湘南辻 堂地域交流室			藤沢市縁側 事業より委託 金有り	藤沢市						週2~3回(ばらそ るは月に12回あ りますが、美緒の 企画は月に4回 です。コロナの影 響で中止となる 事が多いです。)	有、1回500円 月1 回は食事を開催 し、その日は1000 円の活動費を美緒 より出す。交通費は 縁側委託費より出 る実費のみ	第2日曜は食事会(参加費300円) 月1回折り返し 月1回ウクレレなどの演奏、第4水曜はおしゃべり何でもできる会(コロナの影響で中止になることが多いです)		
100	藤沢市	藤沢市地域の縁側「ばらそる」運営委員会(石けんライフプロデュース W.Coおれんじ)	ばらそる	交流	誰でも	健康生活科学運 営・W.Co美緒・ W.Co花もめん・ もたちひろば	藤沢市羽鳥1-1- 60 ライフ&シニ アハウス湘南辻 堂地域交流室			藤沢市縁側 事業	藤沢市						月1回(おれんじ 企画)	材料費	全員が交代で	4時間で2000円	バスボムづくり/せっけんを知らず/エコパックづくり/アロマ・足浴・手浴/クリスマスカード&オーナメントづくり/アクリルたわしづくり
101	藤沢市	藤沢市地域の縁側「ばらそる」運営委員会(花もめん)	ばらそる	交流	誰でも	健康生活科学運 営・W.Co美緒・ W.Co花もめん・ もたちひろば	藤沢市羽鳥1-1- 60 ライフ&シニ アハウス湘南辻 堂地域交流室			藤沢市縁側 事業	藤沢市						月2~3回	有料	特定のメンバー	有り	コロナ禍でしたので、今年はマスク作りをしました。
102	藤沢市	(社福) いいき福祉社	藤沢市 地域ささえあい センター かるがも	交流	誰でも	市民パートナー (ボランティア)	藤沢市城南4-9-8 ラポール城南1F	2,600,000	藤沢市(地域支 合い事業)	4,350,000	藤沢市(生活 支援コーディネ ーター事業)	3,480,000	かるがも食堂	10,430,000	4,800,000		火~金(9:30~ 17:00) 週4日以上	有料	その他(スタッフ は橋渡し役が多 く基本的には利 用者間の交流を 主としている)	江戸寄り無料。オンラインでの開催。其間2000円/回。講座等は別途設定。地域住民のつながりや絆を大切にしながら人の和を広げ、お互いの暮らしを協力して支え合う仕組み。各種サークルの自主運営、講座の開催、イベントの開催などを地域住民が主体となって実施できるためのコーディネートを行う。またそのような活動を行っている方々が、地域の担い手として活動していけるようコーディネートしていく。かるがも食堂は、藤沢市地域ささえあいセンターかるがもをご利用の方々の活動の場として活用されています。	
103	藤沢市	W.Coはまゆう	地域の縁側事業(特定型)	交流	高齢者	藤沢センター	藤沢センター会議室			藤沢市地域の縁 側事業							月1回第3土曜日 感染拡大防止の ため休止	無料	リーダー層+α	無し	高齢独居等の方に対する地域の居場所づくり。藤沢市の高齢者保健福祉施策。(10月から半年分の助成金)
104	藤沢市	W.Coあかい実	オープンティ	交流	誰でも	Dayいちの木	Dayいちの木	0	無								月1回第3日曜日 感染拡大防止の ため休止	無料	リーダー層+α	無し	地域の居場所拠点やテイスサービスの紹介を通しての地域交流
105	藤沢市	W.Coほっとすべす	おやこひろば	子育て支援	子ども(親子)	W.Coほっとすべす	ひろば輪沼	0	無								月1回第3土曜日 感染拡大防止の ため休止	無料(企画により材料費)	リーダー層+α	無し	子育て世代のたまり場企画。小さいお子さんを持つ世代の交流機会
106	藤沢市	W.Coオプティ	福祉相談会	介護相談	その他	W.Coオプティ	ひろば輪沼	0	無								月1回 感染拡 大防止のため中 止	無料(企画により材料費)	リーダー層+α	無し	ケアマネ(オプティ)による家族の介護等に関する相談会
107	藤沢市	藤沢地域協議会	おやこひろば	子育て支援	子ども(親子)	藤沢センター	コミュニティスペース(施設開設準備室)	0	無								月1,2回 感染 拡大防止のため 休止	無料	リーダー層+α	無し	消費材の試食やハンドマッサージによる小さいお子さん世代向けの交流企画
108	藤沢市	藤沢地域協議会	福祉相談会	その他(相談)	その他(家族)	藤沢センター	コミュニティスペース(施設開設準備室)	0	無								月1回	無料	リーダー層+α	無し	ケアマネ(オプティ)による家族の介護等に関する相談会
109	藤沢市	藤沢地域協議会	昼食会(配食サービス)	食事会	誰でも	藤沢センター	コミュニティスペース(施設開設準備室)	0	無								月1回第4日曜日	無料	リーダー層+α	無し	食事サービスがつくる昼食を食べるの交流会
110	茅ヶ崎市	W.Coー心	カフェサロン心	交流	地域住民		茅ヶ崎市十間坂(らぼれっと 近所の貸家 有料600円/月)										月1回 コロナ禍 のため中止	有料(100~150円)	その他 役 割ふり	無し	ゲーム、体操、歌など
111	茅ヶ崎市	ほかほか運営会議(W.Coのひのび)	ほかほかサロン	交流	高齢者		茅ヶ崎たすけあい ひろばほかほか 2F	0	0								年数回	有料 昼食あり500 円、昼食なし200円	全員が交代 ほかほか運営会 議参加団体から 順番に1名手伝 い	有り	歌体操やおしゃべり
112	茅ヶ崎市	生活リハビリクラブ茅ヶ崎として(W.Coのひのび)	茅ヶ崎市転倒予防教室	介護予防	高齢者		生活リハビリクラブ 茅ヶ崎 フロア	0	440,000	茅ヶ崎市	0	440,000	月1回	有料200円	全員が交代	活動手当て(理事 以外のメンバー) 1000円			転倒予防教室(茅ヶ崎市からの委託事業)		
113	茅ヶ崎市	ほかほか運営会議(W.Coのひのび)	ほかほかカフェ	交流	高齢者		茅ヶ崎たすけあい ひろばほかほか2 F	0	0								年数回	有料(昼食あり500 円、なし200円)	特定のメンバー	あり	高齢者サロン:体操や小物作り、歌など。お茶と手作りの和菓子付き・健康マージャン、認知症予防の体操
114	茅ヶ崎市	W.Coたんぽぽひろば	たんぽぽはうす	交流・子育て支援	誰でも		茅ヶ崎市番川3- 4-5	90,000	茅ヶ崎市 社協	0	185,100	企画収入・ イベント	275,100	850,000			週2回	有料(昼食代・お茶 代実費)	特定メンバー	ボラ交通費、 ワーク代	①地域のフリースペース(月・木11時~14時)②小学生のフリースペース(長期休み期間数回10時半~15時)③たんぽぽカフェ(不登校のお茶会月1回)④ほか(小学生の居場所)月1回10:30~14:00

		運営主体	名称	活動目的	対象	連携先	実施場所	事業高/年		事業高/年		事業高/年		合計事業高/年	年間経費	開催頻度	参加費	スタッフの体制・かわり方	参加スタッフのワーク代	企画内容・備考
								(助成)	(助成元名)	(委託事業)	(委託元名)	(自主事業)	主な収入項目							
115	茅ヶ崎市	W.Coおたんぽぽひろば	たんぽぽはうす	子育て支援	小・中学生		茅ヶ崎市香川3-4-5			中止						夏休みのみ・中止	有料	特定メンバー	ボラ交通費、ワーク代	夏休み小学生のフリースペース(期間中数回10:30~15:00)
116	茅ヶ崎市	W.Coおたんぽぽひろば	たんぽぽカフェ	食事会	誰でも		茅ヶ崎市香川3-4-5			中止						月1回・中止	有料	特定メンバー	ボラ交通費、ワーク代	不登校児等テーマに沿ったお茶会月1回、 ぽぽ小学生の居場所(月1回10:30~14:00)
117	平塚市	W.Co TOMO	TOMO日曜サロン	交流	誰でも		平塚市山下374-2(自前)	0		感染症対策のため実施せず	0	0	10,000		月1回 (第4日曜午後) ・ 感染症対策のため実施せず	無料	特定メンバー	担当手当として年間2000円/一人	平成28年6月より開始、毎月1回の開催を継続しています。デイサービスの休日に開催し、体操、音楽(楽器演奏、歌)、ゲーム、紙芝居など地域の皆さんの特技や趣味を活かし交流を図っています。2020年は新型コロナウイルス感染症対策のため実施は取りやめですが、一昨年までに参加された方に年3回発行のTOMOだよりを同封し、近況報告を書いたお手紙を出しています。	
118	中郡二宮町	アゲイン	みんなの食堂	交流	今期は会員のみに	コモنزなかぐん	二宮町個人宅	3,000	生活クラブエコロ広場助成		12,400	会費200円×12か月=2400円/1人、 平均1回6人	15,400	6,000	月1回	参加時1人200円	特定のメンバー	なし	企画会議・情報共有など、会員同士の交流の場となった。	
119	中郡大磯町	みんなの食堂 おおいそテーブル	みんなの食堂 おおいそテーブル	会食 学習支援 交流	小中高校生	コモنزなかぐん	地域の公民館を無料で借りている。中郡大磯町東小磯台町会館	50,000	生活クラブ神奈川居場所アンソニエーション基金		8,000	参加費	58,000		月2~3回・縮小	こども100円、大人300円	コアメンバー5人と その他メンバー約15人	なし	新型コロナ感染拡大以前は月1回夜の開催で、主に幼児から中学生までのこどもとその保護者を対象として、遊びや勉強ができる居場所と夕食の提供を行ってきた。 感染拡大後の2020年2月~6月まで休止(会場の公民館が閉館)。7月~12月は月2回土曜の昼に(密を避けるために)小中学生だけを対象として以前よりも学習支援に力を入れた居場所と昼食の提供を行った。2021年1月より現在まで再び休止している。	
120	湯河原町	はたらつく・ゆがわら	居場所サロン	就労準備支援事業の一環で社会とのつながりや人との交流を築くため	生活困窮者	あり(湯河原町社会福祉協議会)	足柄下郡湯河原町宮下46-22サンブルロワイエ101			小田原保健福祉事務所就労準備支援事業に含まれる。小田原保健福祉事務所					月2回	基本ランチなので食料費として100円~200円をもらっている。	特定のメンバーとボランティア(有志の地域組合員)	あり。リーダーは雇用。それ以外は有償ボランティア	ランチとお楽しみ企画	

2020年度 コミ・オブ福祉の相互連携等に関する調査のまとめ

2020年8月

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携
1	横浜市 瀬谷区	NPO法人W.Co たすけあいせや	あり	<会議>	瀬谷区ボランティア分科会	年6回 社協でボランティア団体の情報交換	なし			
2	横浜市 磯子区	NPO法人W.Co たすけあい 磯子	あり	<会議> ①磯子区市民参加型福祉連絡会 ②磯子区NPO連絡会	①(N)ワーカーズ・コレクティブ樹 (アープレ)・磯子ねこの手・汐見台福 祉コミュニティ・磯子区社会福祉協議 会 ②NPO法人コロンブスアカデミー・N PO法人レインボータラント舎・NPO 法人ヒューマンフェロシティー・NPO 法人横浜市民アクト・NPO法人WE2 1ジャパンいそご・NPO法人こどもリ クラブ・NPO法人チーム杉劇・磯子 地域子育て支援拠点いそびヨ・アトリ エ小杉・NPO法人おもしろ科学たん けん工房・NPO法人夢・コミュニティ ネットワーク	①近況報告・情報共有・磯子区社会福祉協議会からの情報 ②近況報告・情報共有	なし			
3	横浜市鶴 見区	NPO法人W.Co たすけあいつる み	あり	<会議>	地域包括支援センター	民生委員との会議鶴見区の介護連絡会の参加				
				<イベント>コロナで実施できず <ボランティア>		通所にボランティア受け入れ				
4	横浜市 旭区	NPO法人W.Co みらい	あり	<会議> 横浜市西部福祉ユニット	・保土ヶ谷・西 commons ・旭北・旭南 commons、瀬谷 commons、 泉 commons、W.Co たすけあいぐっぴ いたすけあい皆人・たすけあいせ や・むすびくつく SUN	地域福祉サービス提供者側とニーズ発信者側で共に考えて 具体化していく活動をしている。エリア内にある特別養護老人 ホームラポールミツ沢を活用する方針を立て、施設見学、学 習回答を行っている。組合員を対象に介護保険学習会を行 い、介護保険制度を自分の事として考えるよう情報発信してい る	あり	横浜ユニット連絡会 横浜エリア連携協議会	横浜市との円卓会議 横浜市への政策提案	
				<業務提携・委託> 横浜市地域生活支援サービス事 業(移動支援) 福祉有償運送	・通学数書、余暇活動の移動介護 ・福祉有償運送サービスは介護保険 の方はゼロで、障害者の移動支援と セットで行っているのみ。					
5	横浜市神 奈川区	NPO法人ワー カーズ・コレク ティブ協会「反 町カフェぼらん」	あり	<会議>コミュニティオプティマム 福祉マネジメントユニットかながわ運 営委員会	①ワーカーズ・コレクティブはっぴい さん ②あみけるひろば横浜 ③ユニットかながわ ④福祉クラブ神奈川地域協議会 ⑤神奈川 commons	①ボランティアにメンバーが参加。カ・フェ・ぼらん近くで利用 者やメンバー募集に協力 ③カフェぼらんでの学習会の共催 ④カフェぼらんニュースを組合員に配布、組合員がイベントに 参加 ・神奈川 commons は commons の YouTube 番組でカフェぼらんを 紹介してくれた。また commons ニュースにぼらんコーナーを設けて くれた。 ・2020年度からユニットかながわに正式に参加し、毎月のユ ニット運営委員会にも出席しています。				
				<イベント> 「いまさら聞けない介護保険」学習 会	ユニットかながわに所属している団 体	・1月と2月にユニット主催で、福祉クラブのオプティ映のメン バーを講師に、カフェぼらんで学習会を開催。地域の人にも参加 した。・コロナ禍で、毎年開催していた福祉クラブの「ふくしまつ り」もユニットかながわの「みんなDEまつり」も中止になった。				
5	横浜市神 奈川区	NPO法人ワー カーズ・コレク ティブ協会「反 町カフェぼらん」	あり	<ボランティア> ①カフェスタッフ ②総合事業でのボランティア	ワーカーズ・コレクティブはっぴいさん	・ワーカーズ・コレクティブはっぴいさんメンバー3人がカフェの ボランティアに参加。また別の二人が総合事業のデイサロ ンはこのボランティア、をしている。コミュニティ食堂やスマホ講座、 映画上映会などのイベントも声にも協力してもらっている。	あり	横浜エリア連携協議会		

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携
6	横浜市港南区	NPO法人港南たすけあい心	あり	コロナ禍で連携はとれず、休止している。						
7	横浜市戸塚区	NPO法人W.Co たすけあい戸塚	あり	<会議> ・戸塚区社協市民活動推進分科会 ・戸塚区社協「社協とつか」編集会議	戸塚区社会福祉協議会	・在宅福祉活動団体との情報共有・意見交換、 ・広報紙に載せる地域の活動を取材・原稿を書く				
8	横浜市戸塚区	NPO法人W.Co まいそる	あり	<業務提携> 居宅介護支援利用契約計画書の インフォーマルサービスの位置づけ	地域包括支援センター	* 今までの利用は：掃除・話し相手1.5h~2h→変し屋食見守りの強化等が増え3hのサービスとなる。* ケアプランから：介護保険利用されている方限度額を超える自費の部分の依頼がありご夫婦の夕食の支度ほか介助等。				
9	横浜市戸塚区	(企)W.Coにんじん 東戸塚	あり	<会議><業務提携>	にこにこネットワーク	お弁当・惣菜を卸している。にこネットさんが配達をしてくれます。作る人と配達する人が上手に連携しています。				
10	横浜市栄区	NPO法人W.Co たすけあい栄	あり	<業務提携・委託> 横浜市地域生活支援事業移動支援受託、横浜市産前産後支援事業	横浜市健康福祉局					
11	横浜市緑区	NPO法人W.Coくまさん	あり		個々のボランティア団体なので団体名はなし	月1回開催しているサロンでそれぞれの活動内容で参加されている				
12	横浜市緑区	W.Coひまわり	あり	<会議>	緑区社協 NPO等分科会	情報課題の共有、活動紹介イベント				
		W.Coひまわり		<イベント>	鴨居地区社協	お祭り参加協力等				
13	横浜市緑区	(企)W.Coにんじん霧が丘	あり	<業務提携>	社会福祉協議会霧が丘支部	お弁当製造				
14	横浜市港北区	W.Coれいんぼう	あり	<スタッフ会議>	W.Co和	ハウス内の情報共有				
15	横浜市青葉区	認定NPO法人アクセス	あり	<会議> 青葉区移動情報センター推進会議 緑区移動情報センター事業者情報交換会 青葉区自立支援協議会 青葉福祉ユニット会議 麻生養護学校放課後支援事業所等連絡会 あおば支援学校 放課後等デイサービス事業所連絡会	青葉区移動情報センター、緑区移動情報センター、あおば地域活動ホームすてっぷ、青葉区内W.Co、麻生養護学校、あおば特別支援学校			青葉福祉ユニット会議		エネルギーアクション(生活クラブ生協)
				<イベント> ガイドボランティア養成研修	青葉区移動情報センター					
				<ボランティア> 横浜市ガイドボランティア事業事務取扱団体としての活動	横浜市健康福祉局 青葉区移動情報センター					
				<業務提携・委託> 横浜市地域生活支援サービス(移動介護・通学通所支援) 横浜市ガイドボランティア事業事務取扱団体	横浜市健康福祉局 青葉区移動情報センター					

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携
16	横浜市青葉区	NPO法人W.Co バレット	あり	<会議> 都筑・青葉ここクラブ	のはらネットワーク、ビッピ親子サポートネット、バレット	・保育の量と質についての情報交換・保育におけるコロナ対応の情報交換・乳幼児一時預かり事業についての情報交換と横浜市に対する要望書提出など	あり	①青葉ユニット会議(青葉区内で活動している福祉の団体、生活クラブ、ネットあおばなど) ②ランク045(横浜市で活動している団体、個人。前身はヨコハマ一万人フォーラムと拠点施設長の集まりである拠点ネット)	①コロナ時の情報共有と情報交換やIRの署名活動など ②ダブルケア勉強会、横浜市予算勉強会など	
				<ボランティア>		大学生のボランティア、インターンなどを例年は多数受け入れているが、2020年度はオンラインでの受け入れにとどめた				
17	横浜市都筑区	NPO法人W.Co ふれあい都筑	あり	<会議> 都筑相談窓口	のはらネットワーク エコアド キッチンこらふ、和 横浜北生活クラブ生協 円 福祉クラブ生協都筑	・月1回定例会開催 ・年1回フードドライブ活動を行なう(2/5～2/13)・都筑区内の住民のお困りごとの相談に答える。・2020年度はコロナ禍のため、ふれあいざろん、地域のお祭りが開催中止になりました。会の有志でマスクを手作りし、事業所前で大人用300円・こども用200円で販売し、とても好評です。				
18	横浜市都筑区	(企)W.Coにんじん 大丸	あり	<業務提携> 配食	みどり福祉ホーム、シニアサロンスマイル、デイのんな など	障がい者福祉作業所、高齢者デイサービス、幼児施設等へ昼食の提供をしています。				
19	横浜市都筑区	NPO法人W.Co 円	あり	<会議> 都筑相談窓口(都筑ユニット機能あり)	都筑相談に参加している団体…生ク、福ク、キッチンこらふ、エコ・アド、和、ふれあい都筑、れもんばーむ(6月迄)、のはらネットワーク等					
				<イベント・フォーラム> だれでもカフェ 展参加…つづき人交流 コロナ禍で中止	パネ	都筑相談窓口では相談が全くないために、イベントを通じて、2～3年前から出前的に開催。ダブルカフェの名前を変え、3～4回/回イベント的に開催しているが…				
				<ボランティア> コロナ 禍で中止	コロナ	業務委託されている関係で余り独自色出せないが、メンバーのネットワークでボランティアお願いしている。また、メンバーの高齢化で、業務から卒業しボランティアを行っている。				
20	横浜市保土ヶ谷区	ライフサポート W.Coむすび	あり	<会議> ①横浜南リーダー会議 ②住まい型部門会議 ③西部ユニット ④みんなの会	生活クラブ W.Co連合会 地域のW.Co	・W.Co説明会の手伝い ・施設内で使用するウエス用タオルのご寄付を呼び掛け、ご寄付に繋がった。	あり	西部ユニット、横浜エリア 連携協議会	定期的会議への参加、学習会、 フォーラムへの参加。署名活動、 アンケート協力	
				<イベント> 東日本大震災復興支援まつり	社福)いきいき福祉会 W.Coくつく SUN住まい型部門会議	物販・カンパの協力 オンラインによるまつり参加				
				<ボランティア>コロナ禍で受け入れ中止 学生の職場体験、地域の方々	松本中学校、保土ヶ谷中学校、三ツ沢子どもクラブ、アニマルセラビー、みんなの会、サウンドテリバーリーかのん、菊名ハイビスカス、傾聴グループ「あのね」ずんチャカバンド	職場体験説明案内、車いす清掃、縫物、草取り、入居者・利用者の楽しめる企画(音楽、ダンス、演奏)				
				<業務提携・委託> ①三ツ沢サロン(オレンジカフェ) ②技能実習生、新人職員 ③就労支援 技能実習生、新入職員のみ	社福)いきいき福祉会	W.Coについてのレクチャー、職場体験				
				<イベント>コロナ禍で中止 ラポールシアター		W.Coとして地域の方々との親睦を深めるため隔月でビデオ鑑賞とお茶タイムを設けた。W.CoくつくSUNと共催				

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携
21	横浜市 保土ヶ谷区	W.CoくっくSUN	あり	<会議> ラポールミツ沢会議(食事、防災、事故防止など)	特養ラポールミツ沢	福祉施設内での食事の配膳や、食レクなどの企画、ご入居者の様子の共有など				
				<イベント> 防災訓練・オレンジサロンは中止	桜台ハイツ自治会 特養ラポールミツ沢	防災についての研修や、スタンドパイプを使用しての実技、訓練				
				<ボランティア> 夏と冬の大掃除	特養ラポールミツ沢 W.Coむすび	半期に一度、ご入居者の共用部分や居室(ご家族)の清掃を行う				
				<業務提携・委託> 入居者の食事の準備、片付け等、食材の搬入、分配業務	特養ラポールミツ沢	朝・昼・晩の食事全般の準備、片付けや見守り業務、ナリコマ食材を各ユニットに配布				
22	横浜市 金沢区	W.Coコンパス →脱退	あり	<会議> まちづくり協議会	WE21ジャパン金沢・W.Coオリーブ・生活クラブ金沢 commons・福祉クラブ生協(W.Coれもん、りぼん、ららむーぶ金沢)	会議を隔月開催 活動報告				
23	横浜市 金沢区	NPO法人W.Co オリーブ	あり	<会議>コロナ禍により、会議が全く開けなかった ① 金沢まちづくり協議会 ② 居場所PJ	① W.Coコンパス、W.Coりぼん、W.Coれもん、WE21ジャパンかなざわ、W.Coら・らむーぶ金沢、生活クラブ金沢 commons ② W.Coコンパス、生活クラブ金沢 commons	① 二カ月に1回集まり、各団体の状況報告、情報共有を行った ② 金沢区内に居場所を作ることを目的に、空き家探しを行った。会議での情報共有、チラシまきなど デイの休業日である日曜日に、W.Coコンパスが主催する地域向けの健康マージャンを行った。(使用料を徴収)				
				<イベント>コロナ禍ですべて実施できなかった NOAHサロン コンサート、NOAHまつり	W.Coコンパス	2月に地域向けサロンとしてミニ・コンサートを実施、10月に実施のNOAHまつりのバザーで、お菓子販売のブース開設				
24	川崎市麻生区	NPO法人W.Co グループとも	あり	<会議>		「ともの家運営推進会議」を年2回開催していたが、2020年度はコロナウイルスのため、開催していない。				
				<イベント>		居場所としてともの家で開催する、絵手紙、おしゃべり会、麻雀、折り紙の会、火曜カフェ(体操とおしゃべり)、手芸を開催				
25	川崎市麻生区	NPO法人W.Co あいあい	あり	<会議> 生活リハビリクラブ麻生運営会議、地域経営会議他 W.Co連合会関連会議	生活クラブ生協・commons、W.Co W.Co連合会関連W.Co 川崎市内市民福祉事業団体	リハビリクラブ麻生運営 各種会議 活動の共有、川崎市予算要望等				
				<イベント>すべて中止 川崎ご縁楽市、麻生福祉まつり、ワイワイまつり	川崎市市民活動センター参加団体 麻生区内の福祉活動団体 地域とリハビリクラブ麻生関連団体	展示、紹介・知り合う 社協主体とした実行委員会形式での祭 お楽しみイベント、食べ物の展示販売				
				<ボランティア> 賛助会員の受入れ、実施 インターシップ生受け入れ、中止 大学生の研修受け入れ 中止	川崎市高校連合会？ 田園調布学園大学、地域包括	調理参加、配達参加 地域を知るための配達添乗・訪問 活動紹介、添乗訪問				
				<業務提携・委託> 中止 くるみの会、コロニー	地域包括支援センター 居宅・訪問事業者等 会食の昼食提供	利用者の紹介・見守り、情報の共有	あり	市民福祉事業センター・かわさき	予算要望等	

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携
26	川崎市麻生区	NPO法人W.Coこもれび	あり	<会議> 生活リハビリクラブ麻生運営会議	そよ風・あいあいこもれび・かわさき生活クラブ・のぼりとデポー・たまコモンズ・あさお東コモンズ・あさお西コモンズ	生活リハビリクラブ麻生を拠点に活動している組合員、ワーカーズが連携し、地域の参加型福祉を実践している	あり	①市民福祉事業センターかわさき ②川崎北コミュニティオプティマム福祉マネジメントユニット会議	①グループとも・そよ風・あいあい・かりん・くるみ・キャンティ・ばんじい・メロディー・こもれび②かわさき生活クラブ・のぼりとデポー・たまコモンズ・あさお東コモンズ・あさお西コモンズ・グループとも・こもれび・くるみ・そよ風・かりん ①市民福祉政策の立案や相互支援を行い、川崎市に予算要望を提出する。また、意見交換の場を持つ。 ②市民の目線から川崎市に政策提言を行う。	
27	川崎市多摩区	NPO法人W.Coくるみ	あり	<会議> 多摩区訪問介護事業所連絡会	多摩区訪問介護事業所連絡会	情報共有、合同研修会・学習会開催				
				<イベント> のぼりとミーティング、ウエルフェス	登戸内の居場所グループ	情報共有、合同研修会・学習会開催	あり	川崎ユニット会議、市民福祉事業センター・かわさき川崎市内のW.Coグループ	市民政策提言書	
28	川崎市宮前区	(企)にんじん宮前平	あり	<ボランティア> コロナ禍で依頼なし						
29	川崎市中原区	NPO法人W.Coばんじい	あり	<会議> ①川崎南部コミュニティ・オプティマム福祉マネジメントユニット会議 ②市民福祉事業センター・かわさき ③シトラス会 ④川崎市介護支援専門員連絡会・中マネット ⑤地域包括ケア連絡会議	①生活クラブ生協、W.Co連合会、福祉クラブ生協 ②W.Co他川崎市で市民福祉事業を行っている団体 ③中原区内訪問介護事業所 ④中原区内介護支援専門員 ⑤中原区の地域包括支援センター周辺の介護保険事業所・町内会・民生委員	学習会、フォーラム ①②④はコロナ禍の為、zoomや書面議決で対応 ③⑤はコロナ禍の為、中止	あり	W.Co連合会 生活クラブ生協 福祉クラブ生協	川崎市への行政ヒアリング、集会	
				<ボランティア> ①ふれあいデイばんじい ②地域交流活動(たまり場ばんじい、ばんじいひろば)		コロナ禍の為中止				
				<業務提携・委託> 川崎市住民主体による要支援者等支援事業(たまり場ばんじい、ばんじいひろば)						

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携	
30	川崎市幸区	NPO法人W.Coメロディー	あり	<会議> 幸運堂会議、南部ユニット、市民福祉事業センター・かわさき、NPO法人W.Co協会、認知症ネットワーク、多世代の居場所メロディーココ運営協議会	かわさき生活クラブ生協、かわさき・中原・幸コモンズ、福祉クラブW.Co、幸風苑地域包括支援センター、幸区社会福祉協議会、生活クラブユニオン、川崎市民石けんプラント、神奈川W.Co連合会および各W.Coメンバー	地域福祉を豊かにし安心して住み続けられるまちをつくるために活動。市民団体の情報、課題の共有を図る。市民福祉政策の立案、市への提言	あり	地域福祉計画第3ユニット	行政施策に対する川崎市全体の課題解決に向けた政策提案	防災地域リーダー 幸コモンズ 災害時も平時も、助け合える関係性づくり・地域づくりのへの第一歩。防災グッズの配布、防災に関する講座開催	
				<イベント> ・生活リハビリクラブ幸30周年記念講演会・ユニット共育フォーラム・ココ2周年バースデイウィーク	同上	・加藤彰彦氏を招き、「人がつながる豊かなまち」をテーマ日間zoomを併用の講演会開催・3ユニットで村木厚子氏を講師に迎え「女性が社会を変える！女性が活躍する社会を目指すためにできること」をテーマに講演会開催・バースデイウィーク7日間イベントを開催人と人がつながる楽しさを共有。					
				<ボランティア> 多世代の居場所メロディーココ	地域住民	カフェボランティア・多世代のココ食堂					
				<業務提携・委託> ・子ども・子育て支援事業 ・住民主体の要支援者支援事業	・川崎市子ども未来局 ・川崎市健康福祉局	・子ども、子育て家庭を社会で支援していくための環境づくり(多世代のココ食堂・学習支援) ・要介護、要支援者等への介護予防に資する住民運営の通いの場(ふまねっと運動)					
31	川崎市幸区	NPO法人W.Coゆいゆい	あり	<会議> 戸手運営委員会 *イベントは2020年度はなし	生活クラブ(理事会・幸コモンズ・かわさきコモンズ)、生活リハビリクラブ 幸運堂会議、はびふるのひろば、南部ユニット・かえるPJ						
32	横須賀市	NPO法人W.Coゴジママ	あり	<会議>	W.Co風っ子mam W.Coティンクル	横須賀市内で学童保育を運営しているW.Coが集まり、年に1回情報交換をしている。	なし				
33	横須賀市	NPO法人W.Co風っこmam	あり	<会議> ①学童保育交流会コロナ禍で書面で実施 ②ゆ・にっ・と横須賀	ゴジラのしっぽ、ゴジランド、ティンクル	①集まる場所を決めて全員が集まり、活動について話し合う。 ②活動の共有と地域福祉、市民計画の推進	あり	ゆ・にっ・と横須賀	横須賀市に対して「活動を通して見えた課題を市民提案として提出		
				<業務提携> フラウエッセン	(N)サポート横須賀	弁当の製造配達をしてもらっている					
34	横須賀市	NPO法人W.Coキッズ・ポケット	あり	<会議> ゆ・にっ・と横須賀	(N)サポート横須賀、WE21ジャパンよこすか、W.Co風っこmam、W.Coゴジママ、湘南生活クラブ生協、よこすかコモンズ、神奈川ネット、横須賀マイペースの会	情報共有、市民提案、学習会	あり	ゆ・にっ・と横須賀運営会議の団体	横須賀市へ市民提案書を提出		
				<イベント> コロナ禍で中止 おもちゃのひろば	認定NPO法人 芸術と遊び創造協会	おもちゃコンサルタントが認定NPO法人、芸術遊び創造協会からおもちゃをお借りして、良いおもちゃの紹介と遊びを提供する親子で集う広場。					
				<ボランティア>コロナ禍で中止 夏の市民活動・ボランティア体験2019	市民活動サポートセンター	「おもちゃのひろば」のボランティア受け入れ					
				<業務提携・委託> ぼっかぼかひろば	NPO法人ぼっかぼか荘	親子で集うひろば					

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携
35	逗子市	NPO法人W.Coこだま	あり	<会議> 小坪大谷戸会館運営協議会		小坪大谷戸会館の運営				
				<会議> 多様なサービス検討会	逗子市、社会福祉協議会(あゆむサービス)ずしゅぶ、地域包括支援センター	月1回程度開催。介護保険外のサービスについての検討会				
				<イベント> ご近所サロン映画会	大谷戸運営協議会 ご近所サロン大谷戸	月1回映画会を開催 今年度は無				
36	逗子市	NPO法人W.Coくるまやさん	あり	<会議> 葉山インフォーマル会議	ケアフレンズ葉山、葉山高齢社会をよくする会、コミュニティケアさくらんぼ、オアシス、W.Coのぞみ W.Coくるまやさん 葉山町社会福祉協議会、小地域福祉活動推進連絡会	情報共有				
				<業務提携・委託> 訪問型サービスDとして通所型サービスB一般介護予防事業対象サロンへの送迎 葉山町高齢者等送迎サービス	なでこ・つどいの和(葉桜自治会)・きづな(下山口自治会)・上山口(上山口自治会) 葉山町					
37	葉山町	NPO法人W.Coのぞみ	あり	<会議> ①長柄ネットワーク会議 ②はやま防災ネットワーク会議 ③インフォーマル会議 ④葉山住民福祉センター運営委員会	①長柄町内会、老人クラブ、ミニデイサロン、民生委員、社会福祉施設 ②・葉山ボランティア連絡協議会 葉山手話サークルクローバー、(N)いつでもここで 葉山手をつなぐ育成会、ライフコyun葉山、葉山はばたき ③ケアフレンズ葉山、コミュニティ・ケアさくらんぼ、(N)W.Coくるまやさん、葉山町社会福祉協議会 ④町内会連合会、民生委員児童委員協議会、小地域福祉活動推進組織、ボランティアグループ・NPO、社会福祉協議会、行政職員、福祉サービス事業所、学識経験者	①地域の社会資源や福祉ニーズ調査、アンケート作成 ②日頃の活動に防災の視点を、市民団体の連携による防災力向上を目指す ③情報交換 ④生活相談及び地域における自立生活の支援並びに住民主体による地域福祉活動の振興を図る				
				<イベント> W.Co説明会 ①湘南W.Coリーダ会議 ②湘南W.Co協議会 ③リハッピーちゃんカフェ	①湘南地域のW.Co ②湘南地域の委託W.Co ③生活リハビリクラブ葉山運営会議 W.Coりあん	ワーカー募集 説明会				
				<ボランティア>新型コロナウイルス感染拡大防止のため受け入れはありませんでした。 ①南郷中学校FGC体験学習 ②夏休み福祉体験 ③定期的に来て下さる方	①南郷中学校の生徒 ②葉山町社会福祉協議会 葉山町の中学生 ③個人、サークル等	デイサービスでのボランティア体験				
				<業務提携・委託> 生活リハビリクラブ葉山	W.Coりあん	・介護計画書作成業務 ・デイサービスの昼食作り				

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携	
38	平塚市	NPO法人W.Co 笑顔	あり	<会議> まちづくりユニット平塚	コモンズひらつか、神奈川ネットひらつか、W.Co各団体	月1回の定例会 はたらく平塚 開設に向けてパンフ配布等 周知に協力	有	まちづくりユニット	予算要望等	ひらつか地域介護システム会議 平塚市内介護事業所 研修案内	
				<イベント>今年度は無 市民市バザー	「福島の子と共」平塚	売り上げを寄付、協力					
				<業務提携・委託> 平塚市産前産後ヘルパー派遣事業	平塚市	子育て支援					
39	平塚市	W.Coごちそうさま	あり	<会議> まちづくりユニット平塚	・コモンズひらつか・ひらつか西海岸 デポ-運営委員会・W.Coデポットひらつか・神奈川ネット平塚プラチナ・WE21ジャパン平塚・(N)W.Coういず・(N)W.CoTOMO	月1回定例会 ユニット祭り開催(中止) 平塚市予算要望 市民との意見交換会(中止)学習会(中止)	あり	まちづくりユニットひらつか	予算要望		
40	茅ヶ崎市	NPO法人W.Co たんぼひろば	あり	<会議> ほかほか運営会議	ワーコレのびのび ワーコレほっぺ 茅ヶ崎デポ 茅ヶ崎コモンズ	みんなのひろばの運営などについて	あり	茅ヶ崎コモンズ ちがさきデポ-地域のお茶の間研究所・さろんど で・WE21ジャパンちがさき・W.Coのびのび 一心 ほっぺ ぶらねっと	生活クラブ運動グループを中心に、茅ヶ崎で暮らす仲間と地域の課題を共有し、地域に必要な発見を出し合い、当事者となって解決策を議論し、行政に課題解決へのアクションを促すなど、よりよいまちづくりに向けた活動をすすめる。		
				<イベント> 居場所事例報告(他W.Coにて)	茅ヶ崎市民活動サポートセンター	事例発表・事例報告					
41	茅ヶ崎市	NPO法人W.Co 一心	あり	<会議> まちづくりユニット茅ヶ崎 *コロナ禍でボランティアは特になし	NPO法人W.Coワーカーズ-心・たんぼひろば、のびのび、ほっぺ、ぶらねっと、WE21ジャパン茅ヶ崎、さろんど、生活クラブ茅ヶ崎コモンズ・デポ-	予算要望書作成、提出、見学ツアー、さろんどへ各団体賛助、(ユニット事務局事務局委託)フードパントリーポイント場所の提供 など相互協力	あり	まちづくりユニット茅ヶ崎			
42	茅ヶ崎市	NPO法人W.Co のびのび	あり	茅ヶ崎まちづくりユニット	生活クラブ茅ヶ崎コモンズ・ちがさきデポ-・W.Coほっぺ・W.Coたんぼひろば・W.Co一心・Weショップ・地域のお茶の間研究所さろんど	隔月の会議で各団体の状況の共有 ニュース配布	あり		まちづくりユニットで予算要望書提出		
43	藤沢市	石けんライフ プロデュースW.Co おれんじ	あり	<会議>ばらそる運営委員会	榊生活科学運営・W.Co実結・W.Co花もめん・ともだちひろば	ライフ&シニアハウス湘南辻堂内の地域交流室「ばらそる」で実施している藤沢市緑側事業の運営、居場所として週3回オープンし各団体が企画等を行っています。おれんじは月1回担当していますが、2020年度はコロナの緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令時は活動を休止しています。					
44	藤沢市	(企)花もめん	あり	<会議> ばらそる会議	ライフ&シニア湘南辻堂、せっけんライフプロデュースW.Coおれんじ、W.Co実結	地域交流室でのボランティア教室					
				<ボランティア> 地域交流会	ライフ&シニア湘南辻堂、せっけんライフプロデュースW.Coおれんじ、W.Co実結	マスクづくり					
45	藤沢市	NPO法人W.Co 実結	あり	<会議> 藤沢市緑側事業ばらそる運営会議	生活科学運営 生活クラブ生協湘南花もめん おれんじ	毎月のばらそるの企画の調整や運営方法など					
				<イベント> ハナミズキ		月に12回程各団体が企画を実施しています。(参加された方が自分の好きな事を行います。)刺し子(自分で材料を持ちより好きな図案で刺し子を行う)折り紙(ボランティアの講師により毎月季節にあった折り紙を行います。)					
				<業務提携>	藤沢市とばらそる運営委員会と書面で契約を交わしている。						

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携
46	湯河原町	NPO法人W.Co協会	あり	<その他>・地域資源になるアソシエーション形成・寄付品の授受・困窮者相談の問い合わせ	城下町コモンズ(湘南生活クラブ)湯河原町社協	・湯河原町社協で行っているフードドライブの食品を居場所サロンの食材として寄付してもらっている。 ・セブンイレブン閉店に伴う商品の寄贈を湯河原町社協を通して受けている。品物としては、文具・下着類・雑貨などが有り、クリスマス会の際利用者へのクリスマスプレゼントにしたり、困窮の方の生活援助として差し上げたりしている。 ・湯河原町社協に相談に来る困窮者や引きこもりの方で、生活リズムの立て直しなどで「はたらつく・ゆがわら」の講座利用について相談を受けている。 ・城下町コモンズや湯河原町の組合員などに、アソシエーション形成を呼び掛けている。これは、「はたらつく・ゆがわら」での困窮者支援で地域の方の協力をお願いしていきたいという考えを発端に呼びかけた。湯河原町では地域資源が少ないため、困窮者だけでなく地域のいろいろな方も利用できる地域資源になるものが形成されるようにと考え、今後支援をしていきたい。				城下町コモンズと地域のアソシエーション形成活動。社会資源が少ない湯河原に、社会資源が生み出されるように地域アソシエーション形成を呼びかけた。
47	相模原市	NPO法人W.Coベル	あり	<会議> 相模原地域福祉ユニット会議	W.Coはっぴー、わか、むすびって、生活クラブ、ネットさがみはら、WE21ジャパン	月1回定例会議、情報共有、イベント企画、政策提案	あり	相模原地域福祉ユニット会議	政策提案を年に1回市に提出する	
				<イベント>今年度は実施ナン「わあ！ぶりーず東林間」チャリティーバザー参加	商店街	毎年11/3東林間五穀豊穡祭の中でのチャリティーバザー			予算要望等	
48	相模原市	NPO法人W.Coはっぴー	あり	<会議> 相模原地域福祉ユニット	相模原市ワーコレ8団体 さがみ生活クラブ生協、ネット・さがみはら、W.Coわか、W.Coベル、W.Coあいわ、W.Coむすびって、WE21ジャパン相模原	ユニット参加団体の活動内容を共有し、情報交換や連携を深めるとともに、参加型福祉を広げるために地域にユニットの活動を知らせる。	あり	相模原市ワーコレ8団体 さがみ生活クラブ生協、ネット・さがみはら、W.Coわか、W.Coベル、W.Coあいわ、W.Coむすびって、WE21ジャパン相模原	1. 新型コロナウイルス感染症拡大に対して行政もスピーディーな対応ができるよう体制を整備して欲しい。 2. 緊急時に備えて安心して活動できる準備をお願いしたい。 3. 高齢者の活動の場の拡充。 4. 居場所・サロンの推進	
				<イベント> 健康体操	相原包括支援センター	月2回、事務所近くの公園にて、地域の高齢者とともに健康体操を実施しています。				
49	相模原市	W.Coむすびって	あり	<会議> 相模原ユニット会議、さがみ委託W.Co協議会、生活リハビリクラブ委託W.Co協議会、みんなの畑協議会テーブル	相模原市内の運動グループ、さがみエリアの生活クラブ委託W.Co、生活リハビリクラブ委託W.Co	ユニットでは情報交換、政策提案、さがみ生活クラブ委託W.Co協議会では共通の課題であるW.Coメンバー拡大、生活リハビリクラブ委託W.Co協議会では共通政策を生活クラブに提案	相模原市	相模原ユニット	課題解決のため市への政策提案を行う	みんなの畑 畑作業を共同で行いながら地域とデイサービスの交流を目指す
				<ボランティア> 子育てひろば「ここにこ」「いきいき百歳体操」	橋本運営会議、「橋本の福祉を考える会」	子育てママの応援・交流、100歳体操の会場貸し出し				
				<業務提携・委託> 生活リハビリクラブ橋本	生活クラブさがみ	デイサービス事業の受託				
50	相模原市	NPO法人W.Coわか	あり	<会議> 相模原ユニット	・神奈川ネットワーク相模原・WE21ジャパン・W.Coはっぴー・W.Coむすびって・W.Coベル・W.Coあいわ	月に1.回の定期的な会議をし情報の共有 2月に地域に開かれた研修を行う				

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携
51	海老名市	NPO法人W.Co どり〜む	あり	<会議> 海老名たすけあいユニット	生活クラブ海老名コモンズ 神奈川ネットワーク運動海老名 WE21ジャパン海老名 NPO法人W.Coあい、NPO法人W.Co ポケット	情報交換・広報活動(参加団体の案内パンフレット作成) 地域福祉に関わる学習会の開催				
52	厚木市	NPO法人W.Co キャリアジョイ	あり	<会議> ヒューマンサポートネットワーク厚木	厚木南地域包括支援センター・社会福祉法人 藤雪会・ケアセンターあさひ・あつぎボロボ・保育園VIVI・デイルームとんとん・NPO法人 子ども未来じゅく・学童保育ないろのたね・NPO法人W.Coくれよん・多文化とまだちセンター・認定NPO法人WEジャパン厚木・W.Coあんず・福祉クラブ生協・さがみ生活クラブ生協 厚木コモンズ	情報交換・新人研修ツアー(各団体の見学など)・施設のお祭り、行事等への協力				
53	厚木市	キャリアジョイ		<ボランティア>		キャリアジョイの企画、利用者数でのリフレッシュツアーでの付き添い、組織化はしていない。				
54	厚木市	キャリアジョイ		<業務提携・委託> ケアセンターあさひ・あつぎボロボのデイサービスでの送迎		運転手派遣				
55	大和市	NPO法人W.Co ケアびーくる	あり	<会議> コミュニティ・オプティマム福祉地域協議会 大和	さがみ生活クラブ生協大和コモンズ、さがみ生活クラブ生協、大和市民会議、NPO法人ワークス・コレクティブ 想、企業組合 たぶの木、NPO法人ワークス・コレクティブケアびーくる、NPO法人大和子どもミニデイサービスワークス・コレクティブもこもこ、NPO法人WE21ジャパン大和、NPO法人さくらの森・親子サポートネット) * 南林間デポは休会中	①参加団体による情報交換と共有を進め、それぞれの団体で情報を共有している。(毎月、運営委員が定例会を持つ) ②大和市に福祉政策を提案し、回答を受けて、必要に応じてそれぞれの担当課と意見交換している。(福祉政策提案チーム) ③地域協議体の設立に向け情報を共有しサービスづくりを検討している。(地域福祉チーム) ④参加型福祉をすすめるために学習会やフォーラム等を開催している。(学習会・フォーラムチーム)⑤会報を発行している。(広報チーム) ⑥団体相互の交流や活動資金づくりのために、大和市民まつりに参加している。2020年度は新型コロナウイルス感染防止のため開催されなかった。(市民まつりチーム) ⑦子どもたちの食の安全の視点から、市内の学校給食の食材を考えている。	あり	提出(窓口)団体名 コミ・オブ大和と構成団体として、大和市長に福祉政策提案をしている。		
		ケアびーくる		<イベント>学習会 コロナ禍で中止						
		ケアびーくる		<業務提携・業務委託>	大和市の「新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づき、市民提案型の共同事業として行っている。大和市発行の「福祉利用券」「タクシー券」使用可能な団体となっている。 ◎メンバー個人契約するという形で、市内のW.Coの保育園2団体の給食の食材を、南林間デポから各団体に配達している。					
56	大和市	NPO法人さくらの森・親子サポートネット W.Coもりのほらっぱ	あり	<会議> コミュニティ・オプティマム福祉地域協議会大和	・生活クラブ大和コモンズ・南林間デポ・大和市民会議・W.Co想・W.Coもこもこ・W.Coケアびーくる・たぶの木・WEショップ大和	・情報共有(今年はこのみ)・政策提案・学習会	①②大和市 ③国	①コミュニティオプティマム 福祉地域協議会・大和 ②大和市民会議 ③コミュニティオプティマム 福祉地域協議会・大和	①団体として政策提案をまとめ、大和市長に福祉政策提案を行った ②コロナ禍による一時預かり事業補助金について 横浜市ヒアリング⇒12月議会議員一般質問 ③「PRTR法において石けんを有害物質に指定しないよう求める要望書」	
57		もりのほらっぱ	あり	<イベント> フードバンクの分け合い	・フードバンクながわ・おてらおやつくらぶ・大和市社会福祉協議会・生活クラブ大和コモンズ光丘クラブ	・フードバンクより食品を提供してもらう・最寄りのセンターに届く食品の受け取り作業を、光丘クラブの活動として協働				

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携	
58	綾瀬市	W.Coカフェソーレ	あり	<会議><イベント> ヒューマンサポート・ネットワークあやせ有志会	ヒューマンサポート・ネットワークあやせ	情報共有の会議(不定期) このところ連携団体が少なくなり「有志の会」として、ゆるやかな連携での活動となっています。	あり	ヒューマンサポート・ネットワークあやせ	2020年度は市長との意見交換無し		
69	座間市	NPO法人W.Coたすけっと	あり	<会議> コミュニティ・オブティマム福祉ユニット座間							
				<業務提携> デイサービス送迎	W.Coごむのき						
71	座間市	NPO法人W.Coこかげ	あり	<会議> ユニット会議	生活クラブ、座間市民ネット、W.Coたすけっと、W.Co風の子W.Coごむのき	月1回ごと会議をおこない、市民提案の作成や情報共有等					
				<ボランティア>	個々のボランティアなので、団体名はなし	月1回の開催しているサロンでそれぞれの活動内容で参加されている					
72	横浜市 川崎市 鎌倉市	福祉クラブ生協	有	<会議> 福祉クラブ生協定例理事会	W.Co協会、ステップなな、港北社協、NPO月1の会、社福ラファエル会鎌倉薫風学園、一般社団法人セレニティハウス	施設フロア清掃・配膳・食器洗浄・見守り・洗濯・レク講師、看護士業務、配達ドライバー、仕分け(別紙PDFで送付している内容)	あり	神奈川県生協連の被爆者国際署名			
				ふくしまつりは新型コロナウイルスへの感染の影響から中止しました。							
				<ボランティア>		各W.Coに取り組み方針を確認している。運営に参加される場合は基本的にW.Coメンバーへ加入してもらっている。					
				<業務提携・業務委託>		W.Co協会カフェぼらんへの食材配達(神奈川区W.Coこすもす)バオバブ霧が丘への食材配達(緑区W.Co野ぼら)中原区デイサービスふれあいばんじいへの昼食届け(港北W.Coほっと)鎌倉市障がい者施設わんびいさんへの昼食届け(鎌倉W.Coキッチンかまくら)藤沢市ラポール藤沢の介護予防サロン利用者の送迎(W.Coららむーぶ藤沢)港南区放課後等デイサービス夢輪利用児童の送迎(W.Coららむーぶ港南)					
67	横浜市 藤沢市	社会福祉法人いきいき福祉会	あり	<会議> 地域活動連携協議会	W.Co連合会/WE21ジャパン/神奈川ネットワーク運動/湘南生活クラブ生協/福祉クラブ生協/まちづくりユニット茅ヶ崎/ゆ・いこつと横須賀/鎌倉ゆこつと/まちづくりユニット平塚	学習会(コロナウイルスの影響で開催できず) 政策提案活動に向けた活動					
			有	<イベント> 東日本大震災復興支援まつり	神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会/NPO法人WE21ジャパン/神奈川ネットワーク運動/地球の木/フォーラム・アソシエ/公益財団法人 共生地域創造財団/生活クラブ新生活/さんえすクラブ/福祉クラブ生協/横浜北生活クラブ/横浜みなみ生活クラブ/かわさき生活クラブ/湘南生活クラブ/さがみ生活クラブ	宮城県、福島県他現地と神奈川県内各団体がリモートで参加し、復興支援を共有した。					
			有	<ボランティア>	傾聴ボランティアあのお/サウンドテリ/パリーかのん/あらじん/菊名ハイビスカス/日本動物病院協会/よるぎや/絵画サロン/書道教室/バン粘土教室/ペン習字教室/入居者・利用者家族/その他個人ボランティア	傾聴/モダンバレエ/歌/踊り/三味線/マンドリン/大正琴/和太鼓/アニマルセラピー/フラダンス/雑物/習字/ペン習字/ピアノ/ギター/その他趣味活動等 ※新型コロナウイルスの関係で通年では受け入れ困難であった。					
			有	<業務提携・業務委託>	W.Coむすび W.CoくくSUN W.Coおれんじ	特別養護老人ホームで暮らす入居者の生活支援(掃除/洗濯/食事の準備/ボランティアコーディネート/施設行事参画等)					

	自治体名	団体名	連携の有無	連携の種類	連携団体	具体的活動内容	政策提案活動	提出窓口団体名	提案内容	地域のアソシエーションづくり支援や連携
74	相模原市	NPO法人WE21 ジャパン相模原	あり	会議名等 「コミュニティオプティマム福祉マ ネージメント相模原」(ユニット)	①W.Coはっぴー②W.Coベル③南さ がみはらコモンス④W.Coわか⑤ 緑さがみはらコモンス⑥W.Coあいわ ⑦W.Coむすびって⑧さがみ生活クラ ブ⑨神奈川ネットさがみはら	「おたがいさまのたすけあい」を基本に相模 原市内の10団体が月に一回会議を持ち、暮ら しやすい街づくりの為に情報交換を行ってい る。2020年度も市に「市民政策提案」を提出した。	有	相模原市保健福祉局へ ユニット10団体	新型コロナ・ウイルス感染症拡大 の影響と対策 緊急時に備えて安心して活動を 継続するために～NPOや市民活 動団体の緊急時の活動～ 高齢者の活動の場の拡充 居場所・サロンの推進 在宅重度障害者の緊急時の対応	
			あり	<ボランティア> 就労準備支援 市民ボランティア講座	「はたらつく・ざま」「さがみはら地域づ くり大学」 (ユニコムプラザ)	WE21ジャパン相模原の活動のレクチャーと ボランティア体験				

2020年度総合事業に関する調査票

送付先: W.Co連合会 事務局

送付締切: 6月10日(木)

E-mail: hukusi2@wco-kanagawa.gr.jp/kurashi@wco-kanagawa.gr.jp

2021年3月時点の、総合事業に関する調査にご協力下さい。

- 1) 自治体の実施の有無には、実施無有(○)無し(×)の他、「検討中」などわかっていることもお書き下さい。
- 2) 自組織の実施状況については、現時点での「実施有」(○)、申請中、「実施しない」(×)、「検討中」などお書き下さい。
- 3) 運営方法については、介護保険同様等とお書き下さい。また、地域のボランティア参加等があればお書き下さい。
- 4) その他生活支援サービスについては、運営方法欄に実施している内容もご記入下さい。
- 5) 一般介護予防については、自治体によって個別の名称がついている場合があります。各自治体の名称でご記入下さい。
補助を受けて行っている場合が多いと思われます。内容等できるだけ詳しくお書きください。

組織名 記入者 連絡先(☎)

自治体名	自治体実施の有無等	自組織の実施状況	登録利用者 /月	運営方法
訪問型サービス	訪問介護 (現行相当)			
	サービスA (緩和型)			
	サービスB (住民主体型)			
	サービスD (移動支援)			
通所型サービス	通所介護 (現行相当)			
	サービスA (緩和型)			
	サービスB (住民主体型)			
その他生活支援サービス	栄養改善			
	住民ボランティア等が行う見守り			
	自立支援に資する生活支援			
一般介護予防	①介護予防把握事業(訪問面接支援等)、②介護予防普及啓発事業(いきいき広場、介護予防各種教室、認知症予防教室等)、③地域介護予防活動支援事業(元気づくりステーション、通いの場、集いの場等)、④一般介護予防事業評価事業(ハートポイント等)、⑤地域リハビリテーション活動支援事業(サロンリハ等)があります。自組織で行っている事業についてお書きください。			
	事業名	登録利用者/月	内容	運営方法
自由記述	現状の総合事業の制度や運用についての課題や変更が必要と思われることなどについてお聞かせください。			

2020年度居場所・サロン調査票

送付先:W.Co連合会 事務局

送付締切:6月10日(木)

2021年3月末時点の状況をご記入ください。

E-mail: hukusi2@wco-kanagawa.gr.jp/kurashi@wco-kanagawa.gr.jp

- ・「居場所・サロン」という名称にこだわらず、実施されている会食会や子育て関連の親子の集い等についてもお書き下さい
- ・「居場所・サロン」等を全く実施していない場合は、実施無しに○印、団体名、記入者名、連絡先のみ記入し、送付下さい
- ・居場所・サロンを何力所で、何企画実施しているか、()の中に数をお入れください。
- ・活動目的、対象者、連携の有無、実施場所の状況、参加スタッフのワーク代、開催頻度、参加費、スタッフの体制・関わり
の欄は、○をつけて下さい。
- ・事業情報については、以下のようにお書きください。(2020年度の実績をお書きください。)
○補助金・助成金:例えば親と子の集いのひろば事業は補助金です。どこ(自治体・団体)からいくらの補助があるのか
金額と補助元の団体名(自治体名等)をお書き下さい。
●●事業と、名称がついている場合は、お手数ですがお書き下さい。
○委託事業:委託元と委託費をお書きください。「事業名」がある場合はお書き下さい。
○自主事業:補助金や助成金を受けず、参加費等だけで行っている場合の主な収入項目と概算金額。
○年間経費:家賃、光熱費、人件費含む支出概算金額
- ・実施企画が複数の場合は、企画毎に回答して下さい。

実施の有無 実施無し・実施有 ()ヶ所、()企画

団体名() 記入者名() 連絡先:TEL

基本情報	運営主体		
	名称		
	活動目的	1 子育て支援(親子) 2 会食(子ども食堂、会食会) 3 学習支援(教育) 4 交流 5 認知症サポート 6 その他 (具体的:)	1 子育て支援(親子) 2 会食(子ども食堂、会食会) 3 学習支援(教育) 4 交流 5 認知症サポート 6 その他 (具体的:)
	対象者	1 子ども(親子) 2 小中高生 3 高齢者 4 生活困窮者 5 誰でも 6 その他 (具体的:)	1 子ども(親子) 2 小中高生 3 高齢者 4 生活困窮者 5 誰でも 6 その他 (具体的:)
	連携の有無と連携先	有・無 ()	有・無 ()
	実施場所(住所)		
事業情報	実施場所の状況	1 自前の会場(事務所等) 2 貸し会場(有料) (具体的) 3 その他 (具体的) 4 空き家や空き店舗を活用しているか?(している していない)	1 自前の会場(事務所等) 2 貸し会場(有料) (具体的) 3 その他 (具体的) 4 空き家や空き店舗を活用しているか?(している していない)
	①補助金・助成金(円)		
	補助・助成元		
	②委託事業(円)		
	委託元		
	③自主事業(円)		
	主な収入項目(ハサー・イベント・企画収入等)		
①～③合計(円)			
年間経費(概算:円)			
運営情報	開催頻度	1 年数回 2 月1回 3 月2～3回 4 週1回 5 週2～3回 6 週4日以上	1 年数回 2 月1回 3 月2～3回 4 週1回 5 週2～3回 6 週4日以上

運営情報	参加費	1 無料 2 有料 (具体的に:)	1 無料 2 有料 (具体的に:)
	スタッフの体制・関わり方	1 全員が交代で 2 特定のメンバー 3 リーダー層 4 その他 (具体的に:)	1 全員が交代で 2 特定のメンバー 3 リーダー層 4 その他 (具体的に:)
	参加スタッフのワーク代	1 あり 具体的: 2. なし	1 あり 具体的: 2. なし
	企画内容		

2020年度コミ・オブ福祉の地域連携に関する調査票

送付先：参加型福祉研究センター 送付締め切り：6月10日

E-mail：sanka-fukushi@systemken.org

F A X：045-222-8721

コミ・オブ福祉の地域連携に関して、2020年度の地域連携の内容についてお聞かせ下さい。

コミ・オブ福祉を拡げていくためには、地域内での生活クラブ運動グループをはじめ、他の団体や人々との連携が必要と考えられます。その実態を具体的に教えて下さい。

自治体名

組織名

記入者

連絡先(☎)

地域の運動グループをはじめ、ボランティア等との連携の有無についてお答え下さい。		有 ・ 無し	
	名称	連携している団体名	具体的な（活動・連携）内容
会議での情報共有等	会議名等		
イベント等の活動連携	イベント、フォーラム等の名称		
ボランティアの受け入れと運営参加			
業務提携 業務委託			
政策提案活動を共に行う	提出（窓口）団体名		
地域のアソシエーションづくり支援や連携			
その他	具体的に記載して下さい。		

* ボランティア関連には、ボランティア参加・受け入れ、イベントへの講師参加、ボランティア募集・コーディネート等があります

* 業務連携には、サロンの際の食事作り、食材配達、移動支援、サロン運営等が考えられます。

* 業務委託には、「2019年度福祉事業実績報告書」でまとめたように、移動サービスに関する行政からの委託の事例等があります。

* 「政策提案活動」に関しては、参加した主な活動（調査、行政ヒアリング、集会、署名活動等）と主な提案事項をお書きください。提案書があれば送付をお願いします。

* 例えば、生活クラブ生協が進めているアソシエーションづくりへの支援や連携した活動などについてあればお書きください。

特定非営利活動法人参加型システム研究所

参加型福祉研究センター

〒231-0006 横浜市中区南中通 4-39 石橋ビル 4F

E-mail : sanka-fukushi@systemken.org

URL : <http://sanka-fukushi.org/>

発行 : 2021 年 12 月 <400 部>